資料７

令和６年度大竹市の生活交通に関するアンケート調査結果

目　次

１　調査の実施 2

２　アンケート調査結果

質問１　回答者の属性 5

質問２　普段の買い物、通院などの移動について 18

質問３　大竹市内の公共交通の利用ついて 32

（１）鉄道（ＪＲ）について 32

（２）こいこいバスについて 46

（３）その他の公共交通について 56

質問４　暮らしにおける移動環境の満足度について 63

質問５　公共交通の改善アイデアなどついて 74

調査票 76

令和６（2024）年 12 月

1　調査の実施

（1）調査の目的

大竹市民の公共交通の利用状況や満足度、ニーズ等を調査し、公共交通の維持・活性化に向けた問題・課題を把握することを目的に、アンケート調査を実施した。

（2）調査の設計

①調査対象

■調査地域　　大竹市全域
■調査対象　　市内在住の 15 歳以上
■調査標本数　2,500 世帯
■抽出方法　　無作為抽出

②調査方法・期間

■調査方法　　郵送配布、郵送・ＷＥＢ回収
■調査期間　　令和６年 10 月１日（火）～令和６年 10 月 15 日（火）

③調査項目

○回答者の属性（性別、年齢、居住地域、移動環境）
○普段の買い物、通院、その他の目的での公共交通利用実態
○市内の公共交通に対する満足度、問題点
○今後の公共交通の利用意向
○暮らしにおける移動環境の満足度
○公共交通の改善アイデア

（3）エリア別の調査対象の設定

○市内を６地域に区分し、各居住者数に比例させて調査対象数を設定した。ただし、この考え方では相対的に居住者が少ない「小瀬川沿岸地域」「栗谷地域」地域の調査対象数が非常に少なくなるため、それぞれ一定数を確保した。

（４）調査票の回収状況

■有効票　　1,203 件（有効回収率：48.1%）

表　地域ごとの配布件数・有効回答件数

地域名	配布件数（件）	有効回答	
		回収数（件）	回収率（%）
大竹地域(西)	740	337	45.5
大竹地域(東)	420	184	43.8
小方地域	680	325	47.8
玖波地域	360	173	48.1
小瀬川沿岸地域	100	50	50.0
栗谷地域	200	107	53.5
不明・無回答	—	27	—
計	**2,500**	**1,203**	**48.1**

地域名	町　名
大竹地域(西)	新町、油見、本町、白石、元町
大竹地域(東)	西栄、南栄、東栄、北栄
小方地域	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、小方ケ丘、晴海、黒川、港町、湯舟町、三ツ石町、阿多田、小方町小方、小方町黒川
玖波地域	玖波、玖波町、松ケ原町
小瀬川沿岸地域	防鹿、穂仁原、比作、安条、八丁、前飯谷、後飯谷、木野、大竹町木野
栗谷地域	栗谷町

図　地域区分

（５）本報告書の数値の取り扱い等

○図中の「Ｎ」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「Ｎ」を集計母数として算出した。
○比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（％）を表している。１人の対象者に２つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（％）の合計は、100.0％を超える場合がある。
○百分率（％）は小数第２位を四捨五入し、小数第１位までを表示した。１つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0％にならない場合がある。
○２つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
○本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

○前回調査と共通の設問については比較を行っている。参考調査の概要は下表のとおり。

表　前回調査の概要

	項目	詳細
前回調査	調査名称	平成 30 年度 大竹市の生活交通に関するアンケート調査
	調査対象	市内在住の 15 歳以上の市民　2,500 世帯
	サンプリング方法	住民基本台帳から無作為抽出
	配布回収方法	郵送配布・回収
	調査期間	平成30(2018)年８月27日(月)～９月14日(金)
	有効回収数	1,253件（有効回収率　50.1%）

２　アンケート調査結果

質問１　回答者の属性

①性別

○「女性」が 53.0%、「男性」が 45.1%となっており、女性の割合が高い。

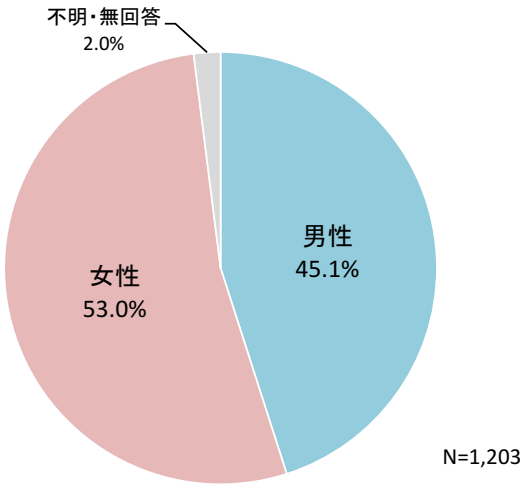


図　性別

②年齢

○「70 歳代」が 25.9%で最も多く、以下「80 歳以上」（18.4%）、「60 歳代」（15.8%）と続いており、60 歳以上をまとめると約 60%、また 70 歳以上では約 44%を占めている。

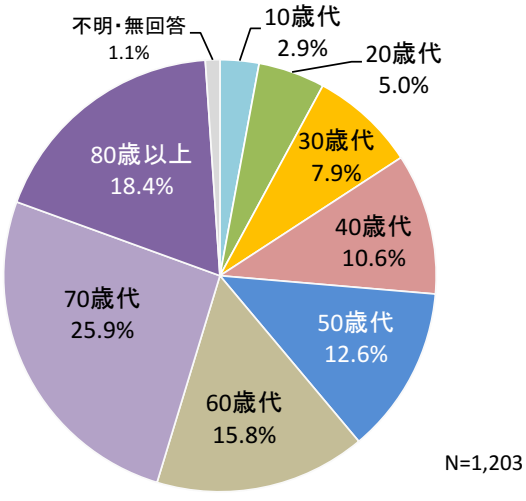


図　年齢

③居住地域

○「大竹地域(西)」が 28.0%で最も多く、以下「小方地域」(27.0%)、「大竹地域(東)」(15.3%)の順となっている。

○地域別でみると、大竹地域(東)では 50 歳代以下が過半数となっている。一方、玖波地域(50.3%)、小瀬川沿岸地域(54.0%)、栗谷地域(68.2%)では 70 歳以上が過半数を占めている。

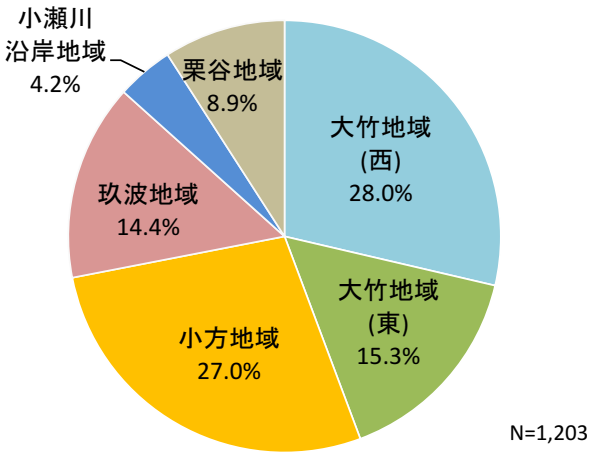


図　居住地域

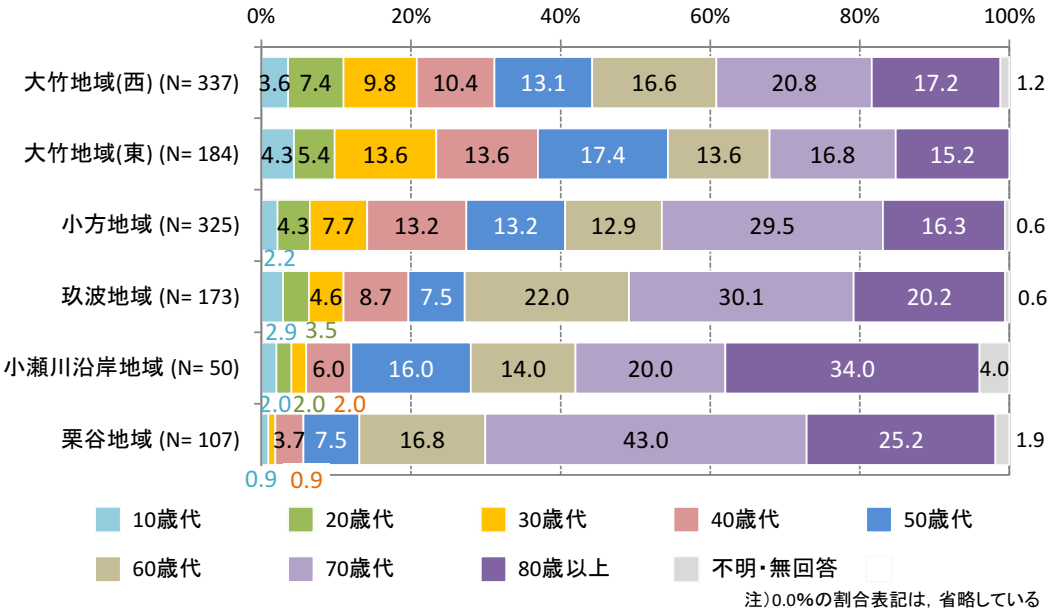


図　居住地域別年齢構成

④運転免許の保有状況

○「自動車運転免許を持っていて、適度に運転する」が 69.1%で最も多く、保有しているがほとんど運転しない人、バイク・原付限定免許のみ保有の人を含めると、『免許保有』が 77%を占めている。また、免許の返納者は 6.2%。『免許保有』の割合は、前回調査と比べて 10.6 ポイント増加している。

○居住地域別にみると、『免許保有』割合は、すべての地域で７割以上を占めている。

○性別にみると、『免許保有』割合は、男性は 84.5%であるのに対し、女性は 71.3%となっている。

○年齢別にみると、『免許保有』割合は、20～60 歳代では９割以上となっている。一方、10 歳代（14.3%）、80 歳以上（41.6%）では半数以下である。

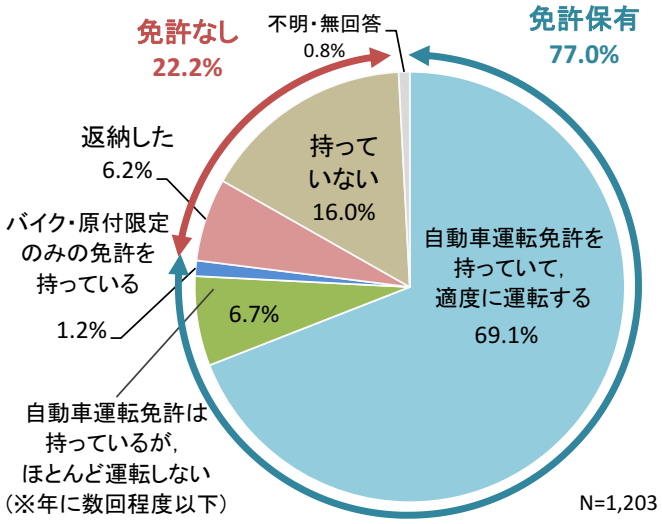
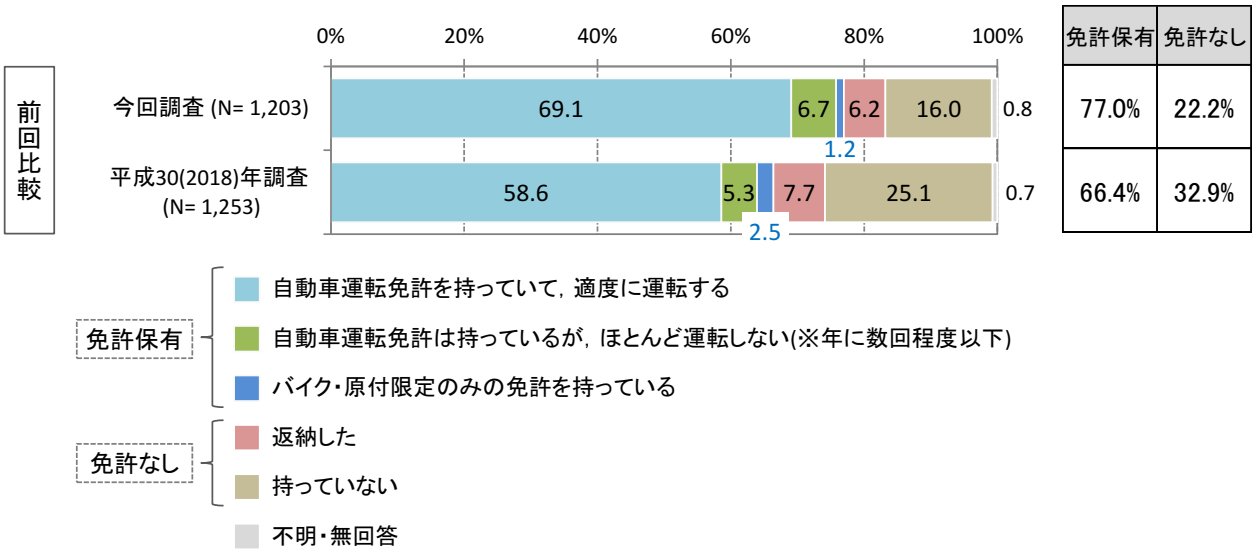
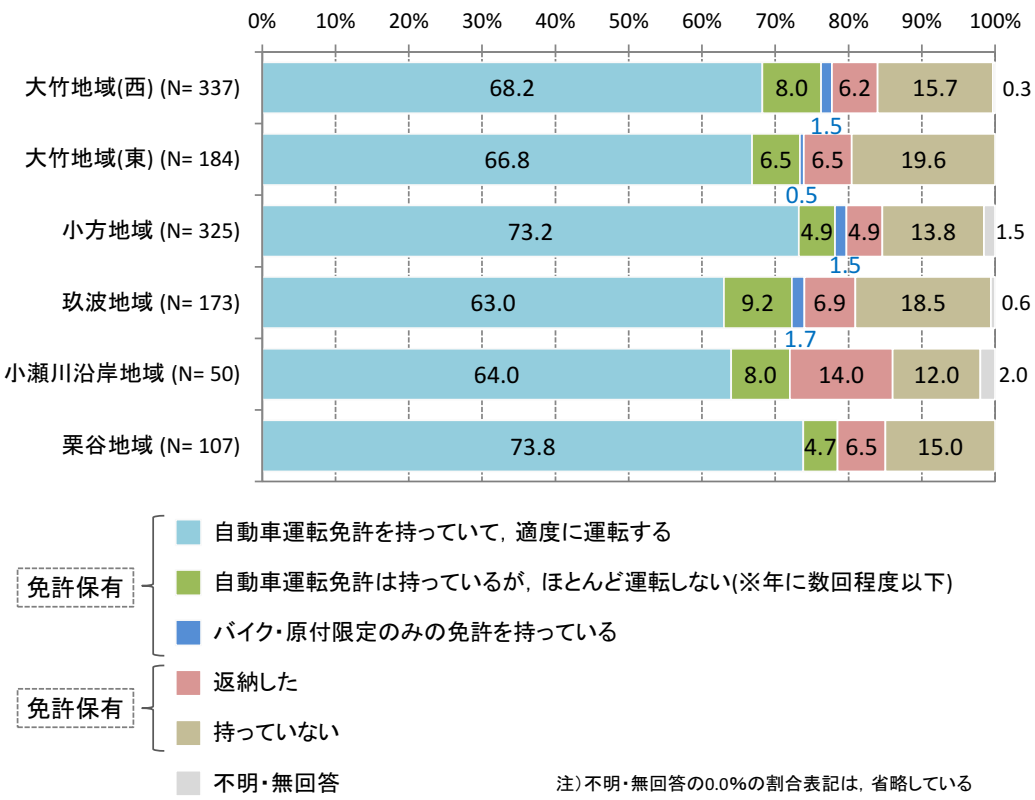


図　運転免許の保有状況



免許保有	免許なし
77.0%	22.2%
66.4%	32.9%

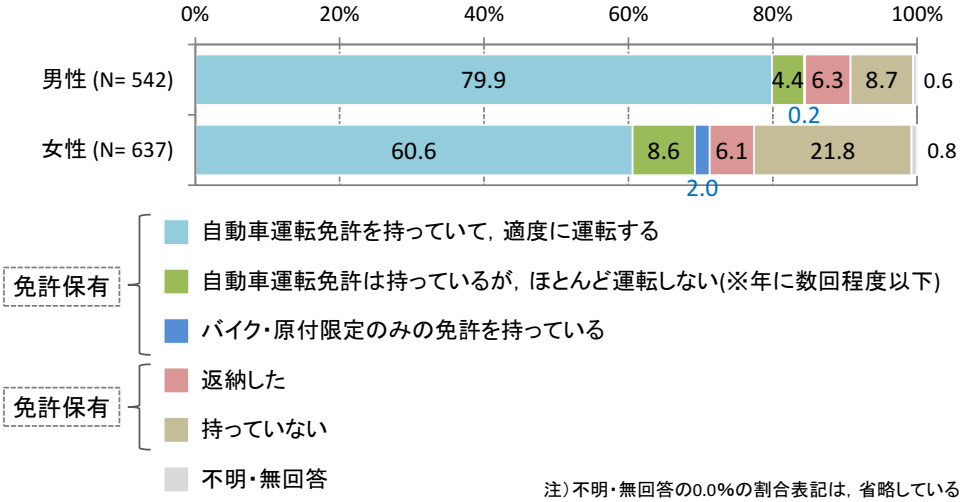
図　運転免許の保有状況［前回比較］



免許保有	免許なし
77.7%	22.0%
73.9%	26.1%
79.7%	18.8%
74.0%	25.4%
72.0%	26.0%
78.5%	21.5%

注）不明・無回答の0.0%の割合表記は，省略している

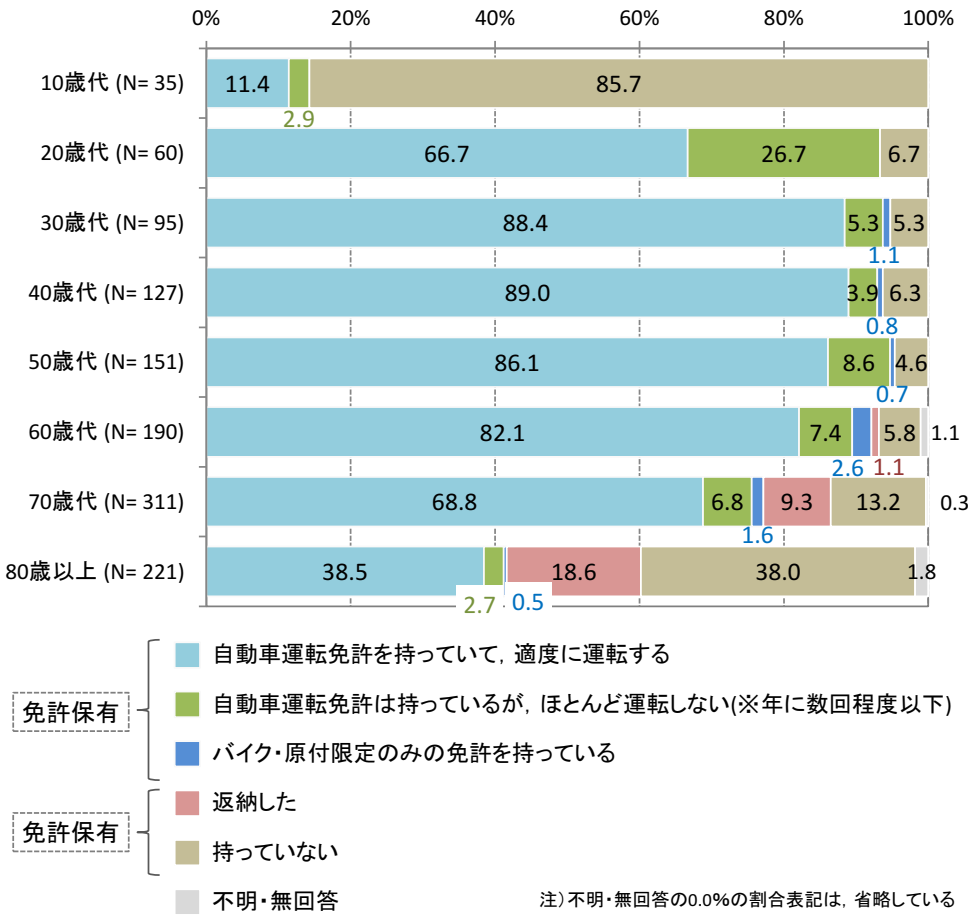
図　運転免許の保有状況（居住地域別）



免許保有	免許なし
84.5%	14.9%
71.3%	27.9%

注）不明・無回答の0.0%の割合表記は，省略している

図　運転免許の保有状況（性別）



免許保有	免許なし
14.3%	85.7%
93.3%	6.7%
94.7%	5.3%
93.7%	6.3%
95.4%	4.6%
92.1%	6.8%
77.2%	22.5%
41.6%	56.6%

注）不明・無回答の0.0%の割合表記は，省略している

図　運転免許の保有状況（年齢別）

⑤運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉

○「しばらく返納しない」が 87.5%を占めており、「数年のうちに返納する予定」は 10.9%となっている。

○居住地域別にみると、「数年のうちに返納する予定」と回答した割合は、小瀬川沿岸地域（16.7%）と玖波地域（16.4%）では約 16%となっている。一方、大竹地域(東)では約 95%が「しばらく返納しない」と回答している。

○年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「数年のうちに返納予定」と回答した割合が高くなっており、70 歳代では約２割、80 歳以上では約４割を占めている。

○市内でよく使う移動手段別にみると、こいこいバスを使う人では 21.1%、自動車(家族や知人による送迎)を使う人では 16.4%が「数年のうちに返納予定」と回答している。一方、自動車(自分で運転)を使う人は約９割が「しばらく返納しない」と回答している。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、徒歩 30 分以内の人では 17.8%が「数年のうちに返納」と回答している。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 30 分を超える人では 26.7%、徒歩 30 分以内の人では 18.2%が「数年のうちに返納」と回答している。

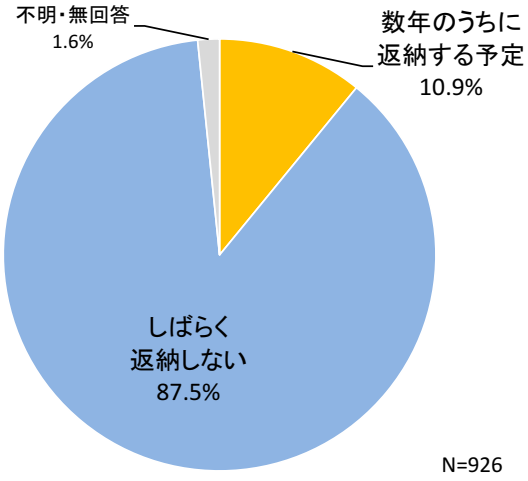
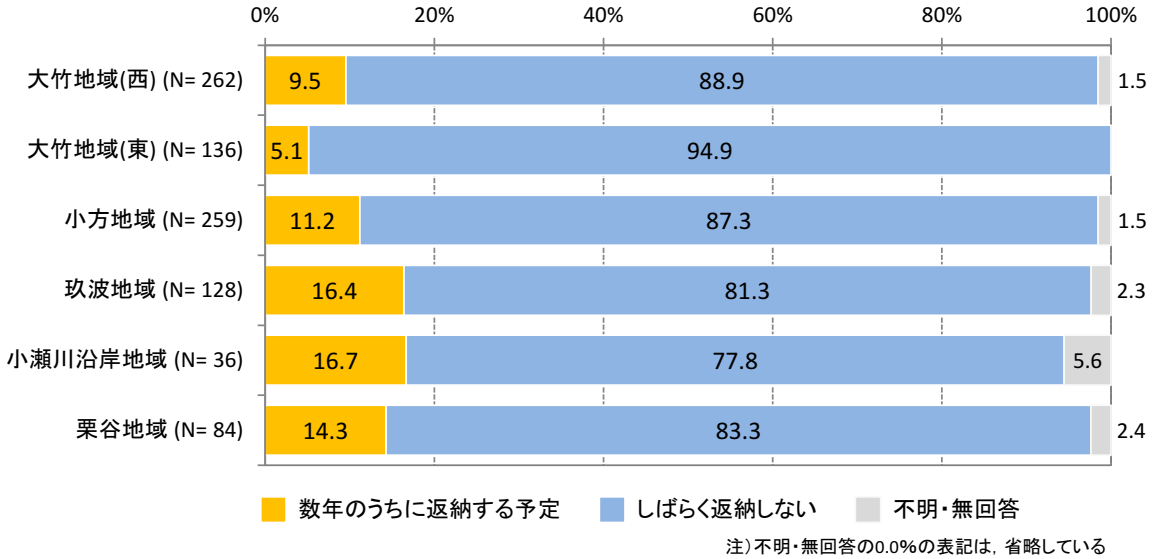
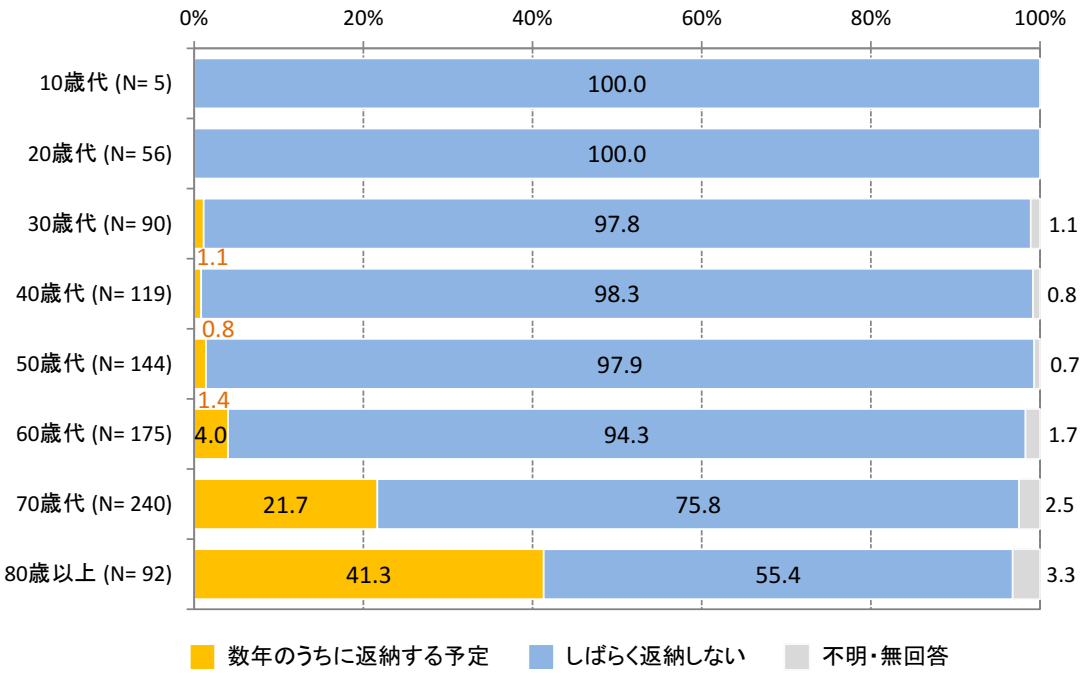


図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉



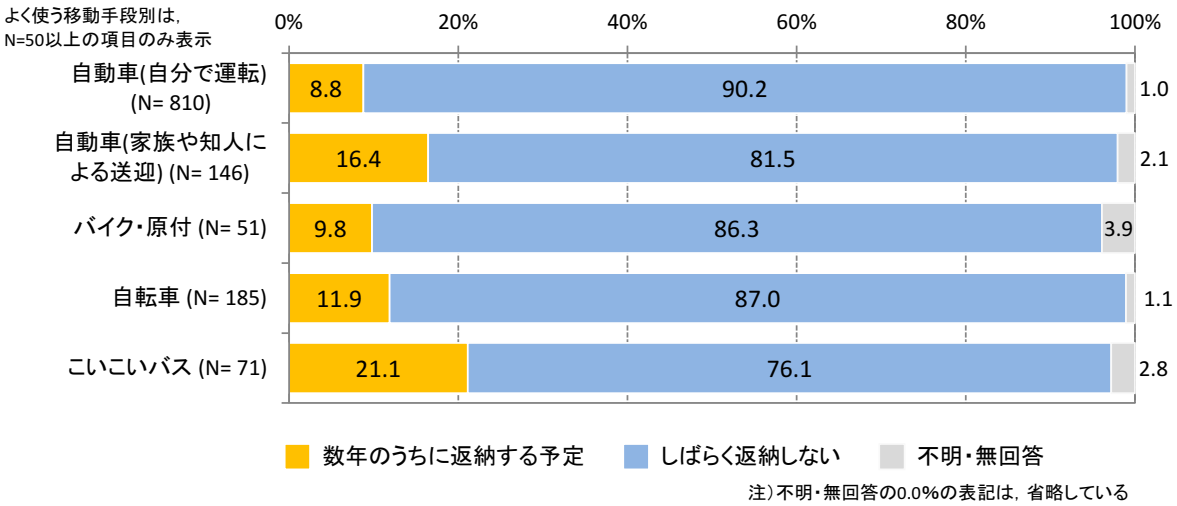
注）不明・無回答の0.0%の表記は，省略している

図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉（居住地域別）



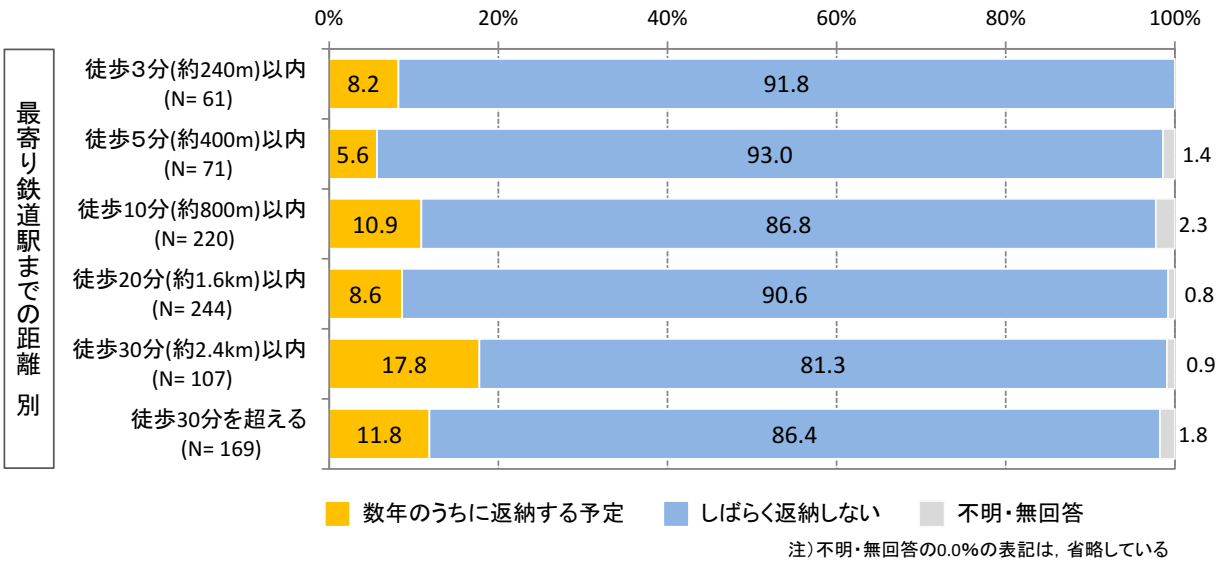
注）不明・無回答の0.0%の表記は，省略している

図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉（年齢別）



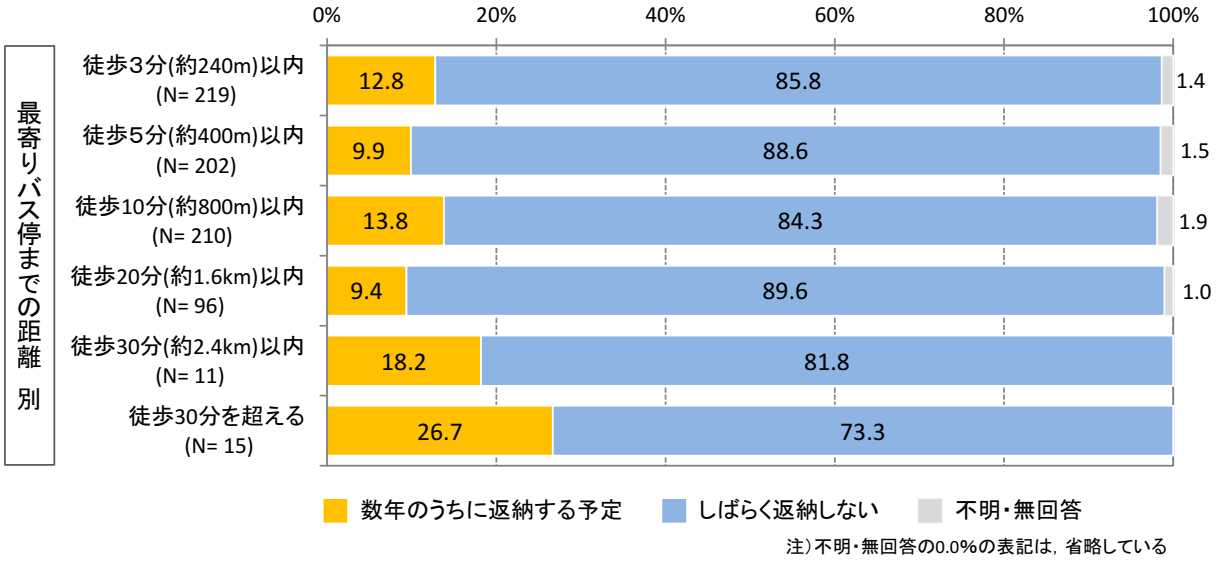
注）不明・無回答の0.0%の表記は，省略している

図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉（市内でよく使う移動手段別）



注）不明・無回答の0.0%の表記は，省略している

図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉（最寄り「鉄道駅」までの距離別）



注）不明・無回答の0.0%の表記は，省略している

図　運転免許の返納予定〈運転免許保有者のみ〉（最寄り「バス停」までの距離別）

⑥市内でよく使う移動手段（複数回答）

○「自動車(自分で運転)が 67.7%で最も多く、以下「自転車」(23.9%)、「自動車(家族や知人による送迎)」(22.6%)と続いており、自動車（自分または送迎）を移動手段としている割合が８割強を占めている。

○居住地域別にみると、すべての地域で「自動車(自分で運転)」が最も多く、次いで、小方地域・玖波地域・栗谷地域では「自動車(送迎)」(小方地域では「こいこいバス」も同率)、大竹地域(西)と大竹地域(東)では「自転車」、小瀬川沿岸地域では「坂上線バス」となっている。

○性別にみると、男女ともに「自転車(自分で運転)」が最も多いが、その割合は男性が 78.2%であるのに対し、女性は 59.5%となっている。次いで、男性では「自転車」、女性では「自動車(送迎)」となっている。

○年齢別にみると、10 歳代では「自転車」、20 歳以上では「自動車(自分で運転)」が最も多い。

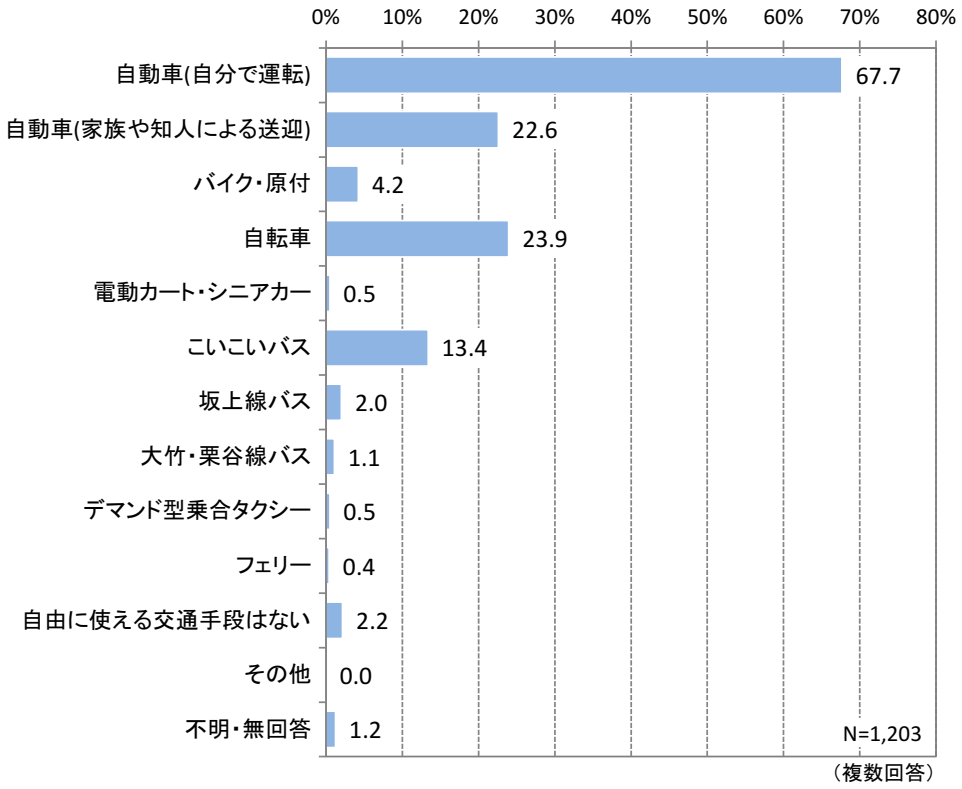


図　市内でよく使う移動手段

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	大竹地域(西)	大竹地域(東)	小方地域	玖波地域	小瀬川 沿岸地域	栗谷地域
（件数）	(N= 337)	(N= 184)	(N= 325)	(N= 173)	(N= 50)	(N= 107)
自動車(自分で運転)	66.5	65.2	69.5	66.5	64.0	72.9
自動車(家族や知人による送迎)	**20.5**	**27.7**	**19.7**	**23.7**	**18.0**	**30.8**
バイク・原付	2.7	4.9	6.2	5.2	2.0	2.8
自転車	**38.9**	**37.5**	18.8	6.9	10.0	3.7
電動カート・シニアカー	0.3	0.5	0.6	0.0	2.0	0.9
こいこいバス	12.5	9.2	**19.7**	**17.9**	6.0	2.8
坂上線バス	2.4	0.5	0.0	0.0	**30.0**	0.0
大竹・栗谷線バス	1.2	0.0	0.6	1.2	0.0	**4.7**
デマンド型乗合タクシー	0.0	0.5	0.6	0.6	0.0	1.9
フェリー	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0
自由に使える交通手段はない	2.7	2.7	2.2	2.3	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	1.2	0.0	1.5	1.7	0.0	0.0

図　市内でよく使う移動手段（居住地域別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	男性	女性
（件数）	(N= 542)	(N= 637)
自動車(自分で運転)	78.2	59.5
自動車(家族や知人による送迎)	**15.3**	**28.7**
バイク・原付	7.0	1.9
自転車	**26.2**	**21.7**
電動カート・シニアカー	0.7	0.3
こいこいバス	10.1	16.3
坂上線バス	1.3	2.4
大竹・栗谷線バス	1.1	1.1
デマンド型乗合タクシー	0.2	0.8
フェリー	0.4	0.5
自由に使える交通手段はない	1.3	2.8
その他	0.0	0.0
不明・無回答	0.2	1.9

図　市内でよく使う移動手段（性別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 **赤字**は最上位	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
（件数）	（N= 35）	（N= 60）	（N= 95）	（N= 127）	（N= 151）	（N= 190）	（N= 311）	（N= 221）
自動車(自分で運転)	**11.4**	**65.0**	**87.4**	**88.2**	**82.8**	**83.2**	**66.6**	**37.6**
自動車(家族や知人による送迎)	**60.0**	**35.0**	**31.6**	**11.8**	**15.2**	**13.7**	**22.8**	**28.1**
バイク・原付	0.0	0.0	8.4	6.3	6.0	4.7	4.5	1.4
自転車	**62.9**	**28.3**	**28.4**	**22.8**	**25.2**	**21.1**	**20.9**	**21.7**
電動カート・シニアカー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.3
こいこいバス	**11.4**	11.7	10.5	6.3	7.3	11.6	15.4	**21.7**
坂上線バス	0.0	0.0	0.0	0.8	2.6	0.0	1.3	5.9
大竹・栗谷線バス	2.9	0.0	0.0	2.4	0.0	0.5	1.3	1.4
デマンド型乗合タクシー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	0.9
フェリー	0.0	0.0	1.1	0.8	0.0	1.1	0.0	0.5
自由に使える交通手段はない	0.0	1.7	0.0	0.8	1.3	1.1	1.6	6.8
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3	3.6

図　市内でよく使う移動手段（年齢別）

⑦自宅から最寄りの「鉄道駅」「バス停」までの距離

○「鉄道駅」までの距離は、「徒歩 20 分以内」が 25.6%で最も多く、以下「徒歩 10 分以内」(23.0%)、「徒歩 30 分超」(18.4%) と続いている。居住地域別にみると、大竹地域(西)と玖波地域では「徒歩 10 分以内」、大竹地域(東)では「徒歩 10 分以内」と「徒歩 20 分以内」が同程度で多くなっている。一方、他の３地域では「徒歩 30 分を超える」が最も多くなっている。

○「バス停」までの距離は、「徒歩 10 分以内」が 22.8%で最も多く、以下「徒歩３分以内」(22.6%)、「徒歩５分以内」(20.9%) と続いている。居住地域別にみると、小瀬川沿岸地域と栗谷地域では「徒歩３分以内」、小方地域では「徒歩５分以内」、大竹地域(西)と玖波地域では「徒歩 10 分以内」が最も多くなっている。一方、大竹地域(東)では「わからない」が約４割を占めている。

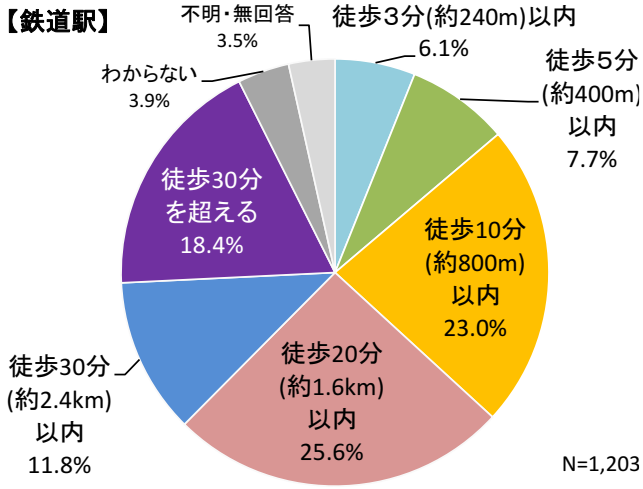


図　自宅から最寄りの「鉄道駅」までの距離

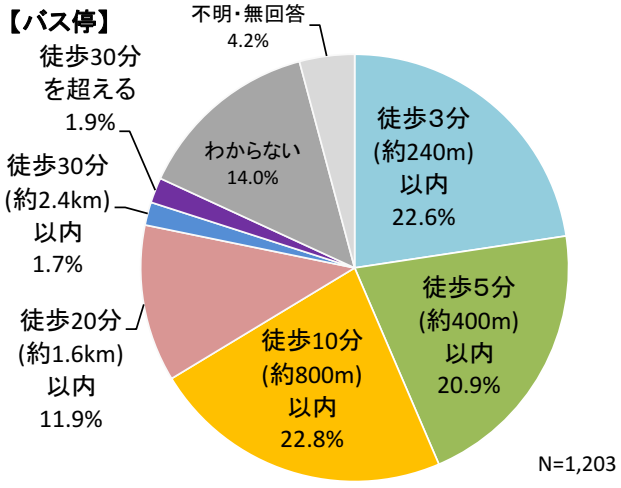


図　自宅か最寄りの「バス停」までの距離

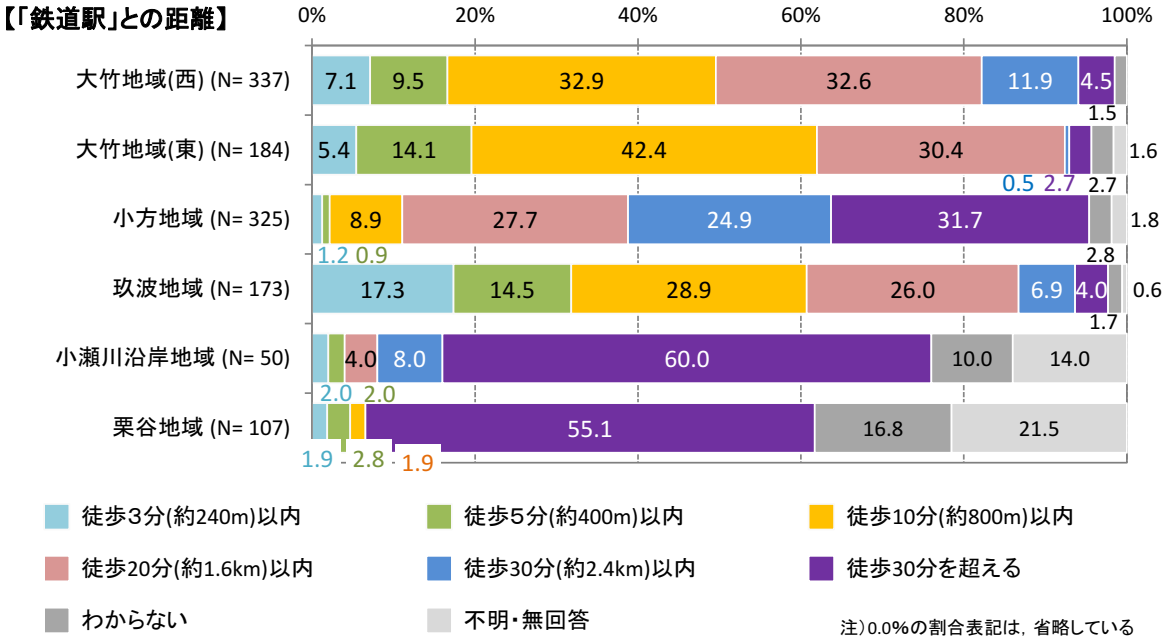


図　自宅から最寄りの「鉄道駅」までの距離（居住地域別）

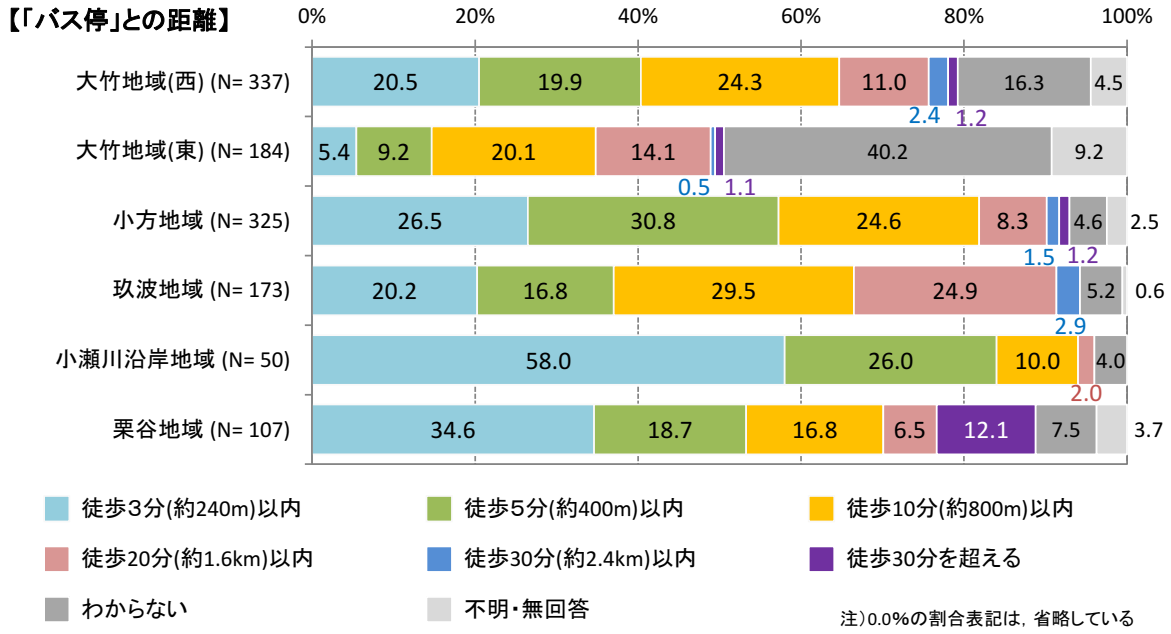


図　自宅から最寄りの「バス停」までの距離（居住地域別）

⑧ひとりでの外出の可否

○「ひとりで外出できる」が 92.9%を占めており、「介助があれば」を合わせると 96.1%が外出可能である。

○居住地域別にみると、栗谷地域では「介助があれば外出できる」、「外出できない」と回答した割合が他の地域と比べて高くなっている。

※「外出できない」（2.1%）方は、質問２～質問４の回答が困難であり、除外している。

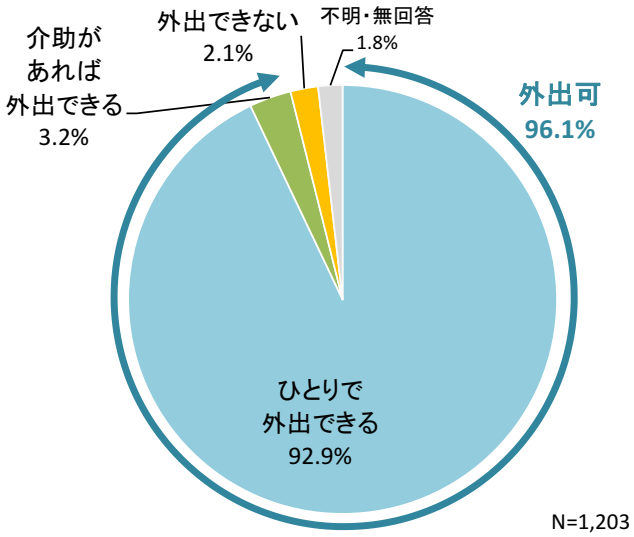
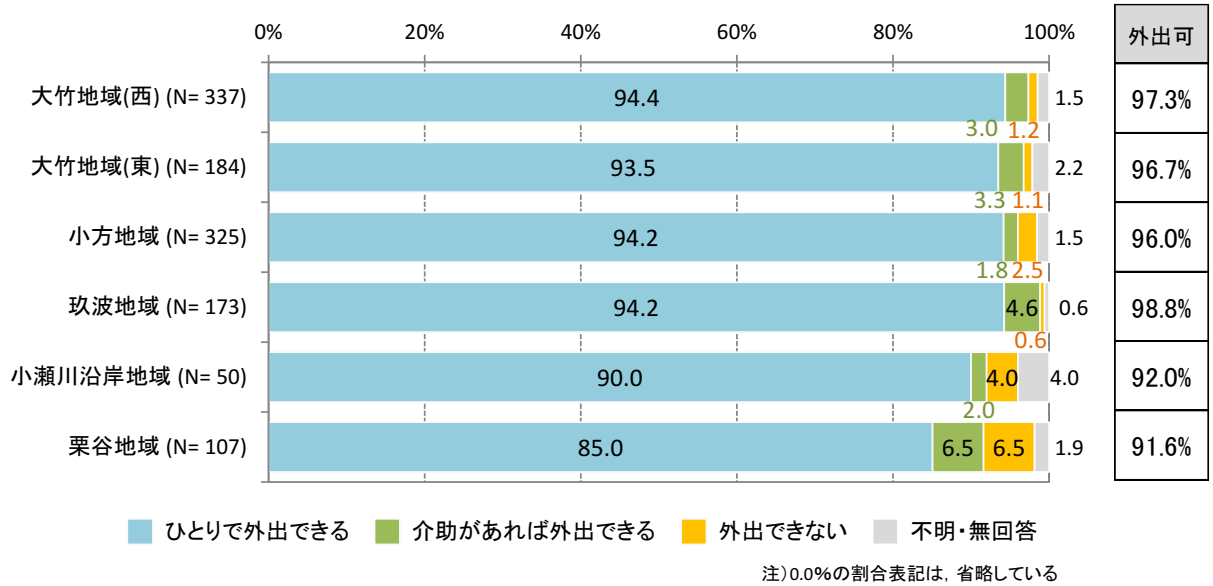


図　ひとりでの外出の可否



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　ひとりでの外出の可否（居住地域別）

質問２　普段の買い物、通院などの移動について

※「外出できない」方（25 件）は、質問2～質問4は回答していない。

①買い物時に交通手段で困ること

質問２①日常の買い物（食料品など）で、交通手段に困ることはありますか（１つに○）

○「困ることはない」が 76.8%を占めている。一方、『困ることあり』（「困ることが多い」と「困ることがたまにある」の合計）の割合は 20.1%となっており、前回調査よりもその割合が 6.9 ポイント高い。

○居住地域別にみると、『困ることあり』の割合が、小瀬川沿岸地域（37.0%）と栗谷地域（34.7%）では３割以上を占め、他の地域と比べて困る割合が高くなっている。また、玖波地域（26.3%）でも 25%以上となっている。一方、大竹地域(東)地域（8.4%）では１割未満と低い。

○性別にみると、男性では『困ることあり』が 15.6%であるのに対し、女性は 23.5%となっている。

○年齢別にみると、『困ることあり』の割合が、80 歳以上では 40.6%を占め、他の年齢と比べて困る割合が高くなっている。また、10 歳代（32.4%）でも 30%以上となっている。

○市内でよく使う交通手段別にみると、『困ることあり』の割合が、こいこいバスを使う人では 43.6%と高くなっている。また、自動車（家族や知人による送迎）が使える人も、その割合が 33.6%と高く、他者の運転に依存するため自分の都合で移動できない状況がうかがえる。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

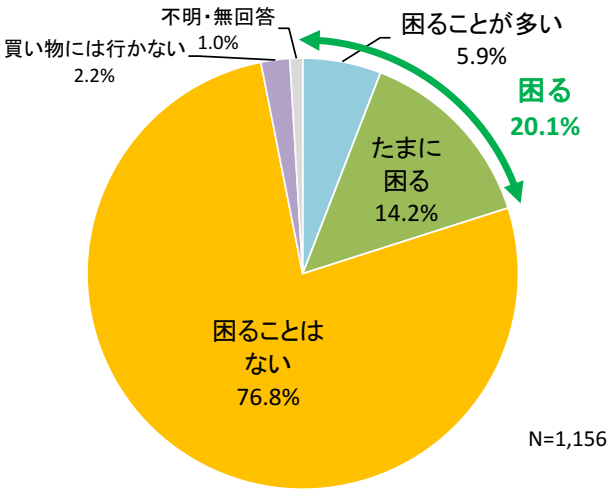


図　買い物時に交通手段で困ること

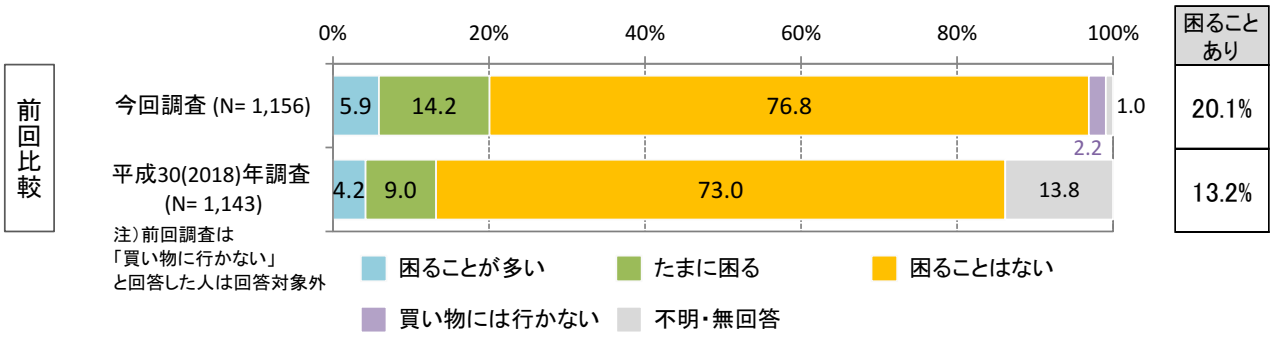
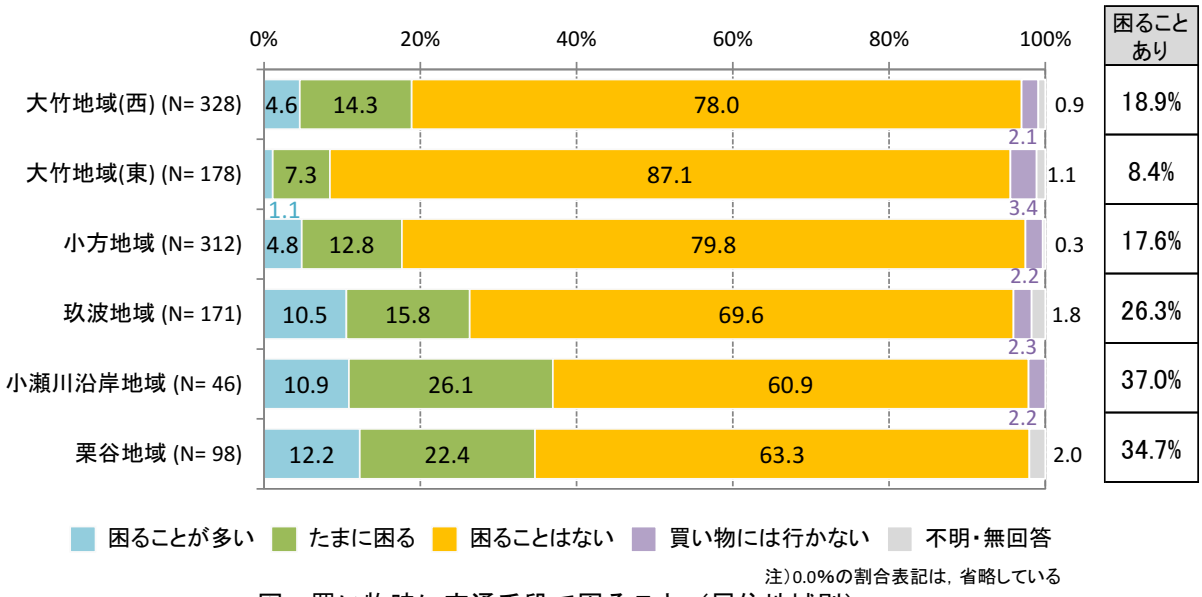
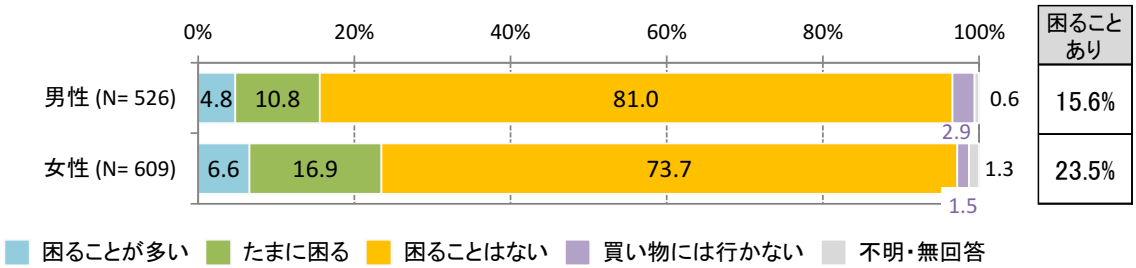


図　買い物時に交通手段で困ること［前回比較］



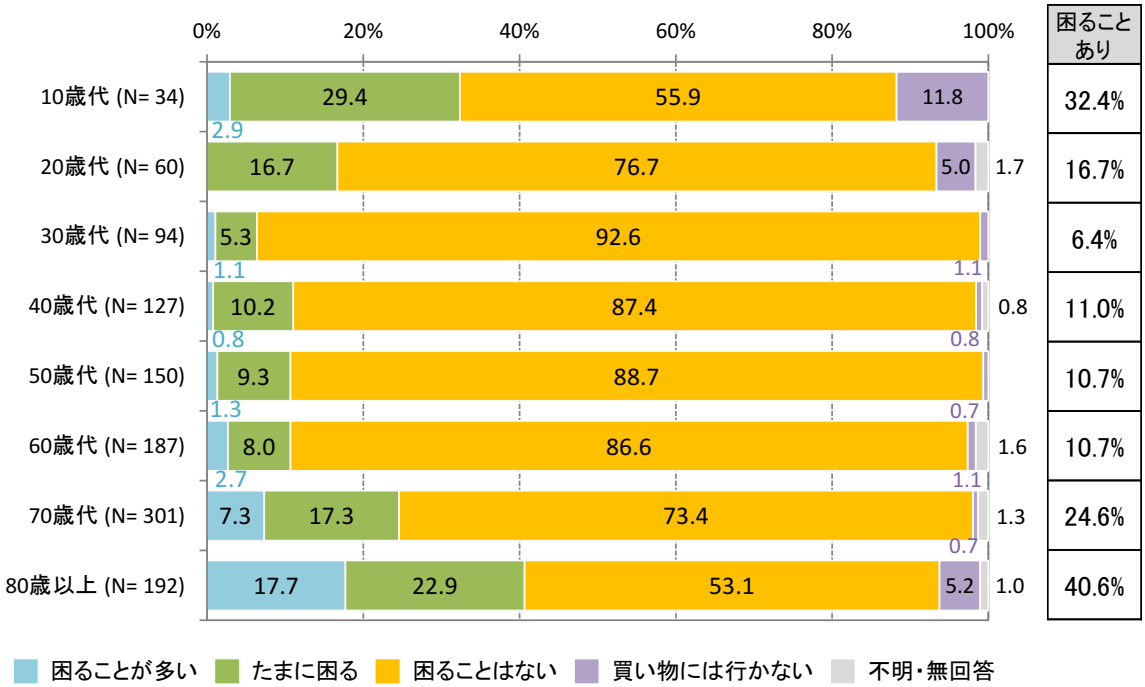
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物時に交通手段で困ること（居住地域別）



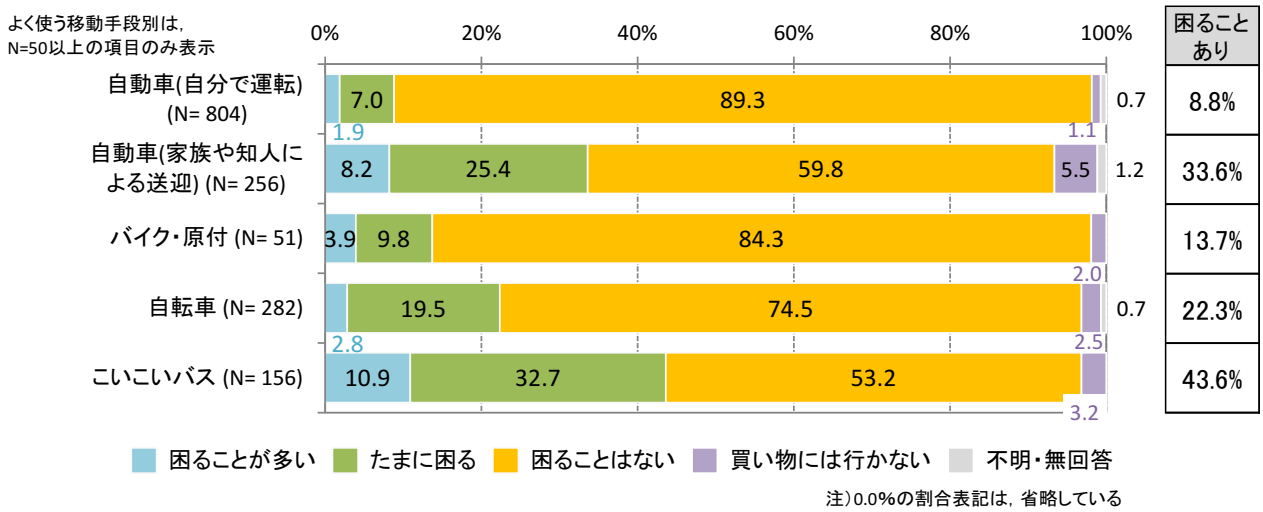
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物時に交通手段で困ること（性別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物時に交通手段で困ること（年齢別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物時に交通手段で困ること（市内でよく使う移動手段別）

②通院時に交通手段で困ること

質問２②通院で、交通手段に困ることはありますか（１つに○）

○「困ることはない」が 71.8%を占めている。一方、『困ることあり』（「困ることが多い」と「困ることがたまにある」の合計）の割合は 22.8%となっており、前回調査よりもその割合が 10.0 ポイント高い。

○居住地域別にみると、『困ることあり』の割合が、小瀬川沿岸地域（37.0%）と栗谷地域（31.6%）では、３割以上を占め、他の地域と比べて困る割合が高くなっている。

○性別にみると、男性では『困ることあり』が 19.4%であるのに対し、女性は 25.6%となっている。

○年齢別にみると、『困ることあり』の割合が、80 歳以上では 43.8%を占め、他の年齢と比べて困る割合が高くなっている。また、70 歳代（26.2%）と 20 歳代（21.7%）でも 20%以上となっている。

○市内でよく使う交通手段別にみると、『困ることあり』の割合が、こいこいバスを使う人では 48.7%と高くなっている。また、自動車（家族や知人による送迎）が使える人も、その割合が 35.5%と高く、他者の運転に依存するため自分の都合で移動できない状況がうかがえる。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

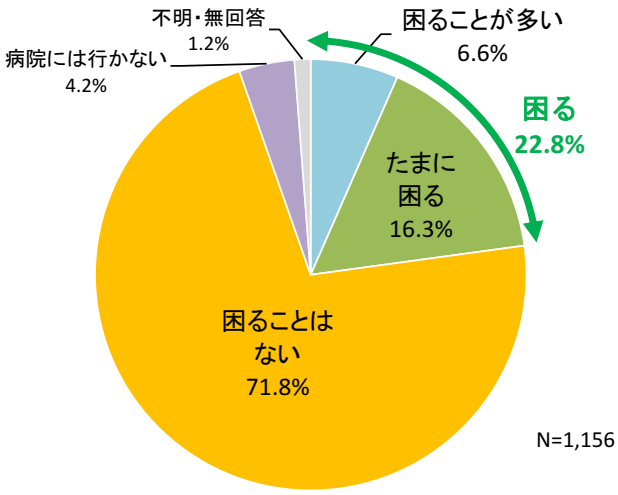


図　通院時に交通手段で困ること

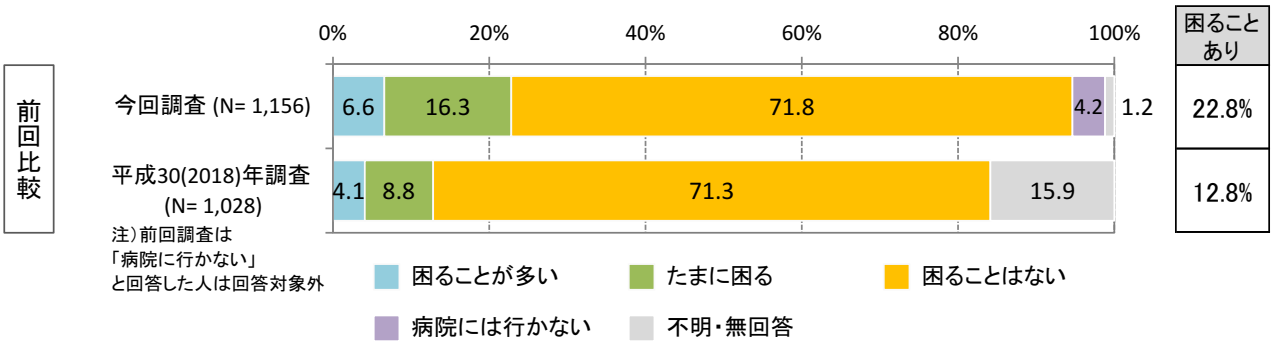


図　通院時に交通手段で困ること［前回比較］

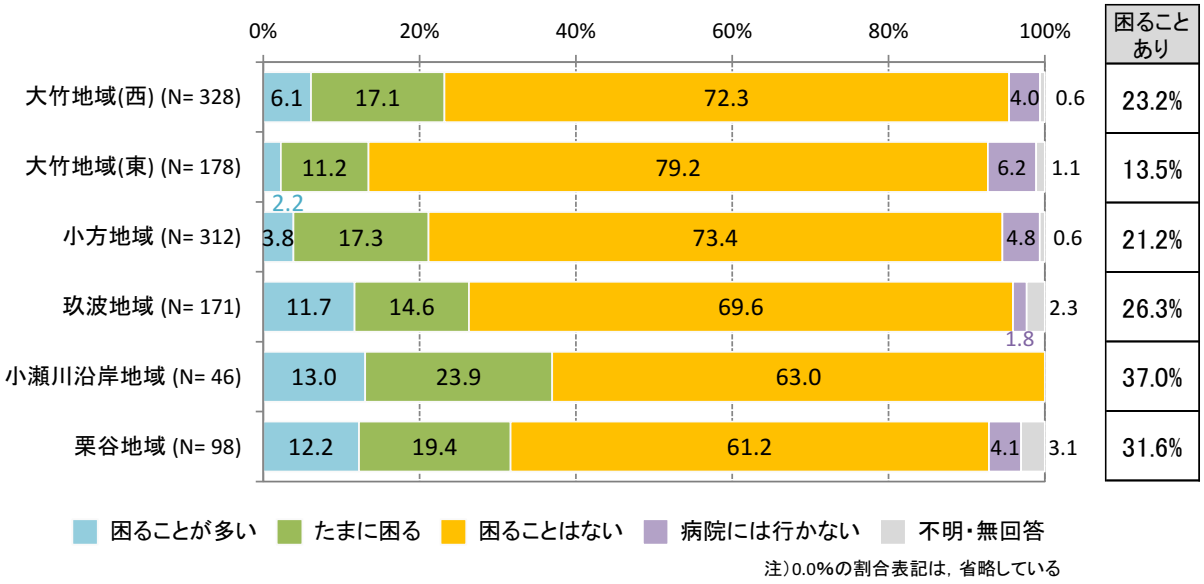


図　通院時に交通手段で困ること（居住地域別）

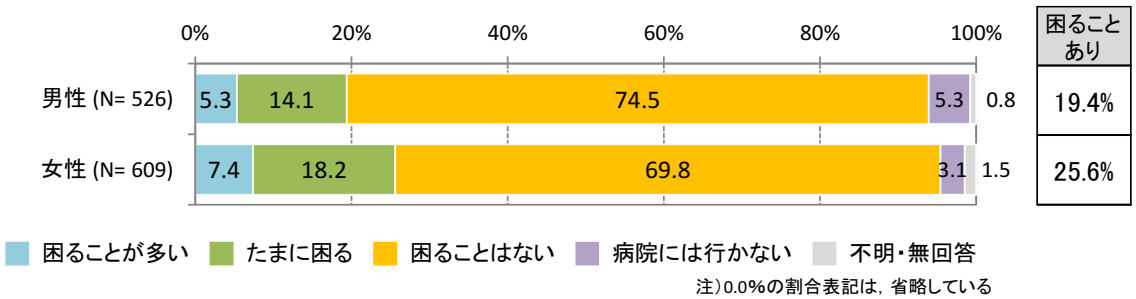
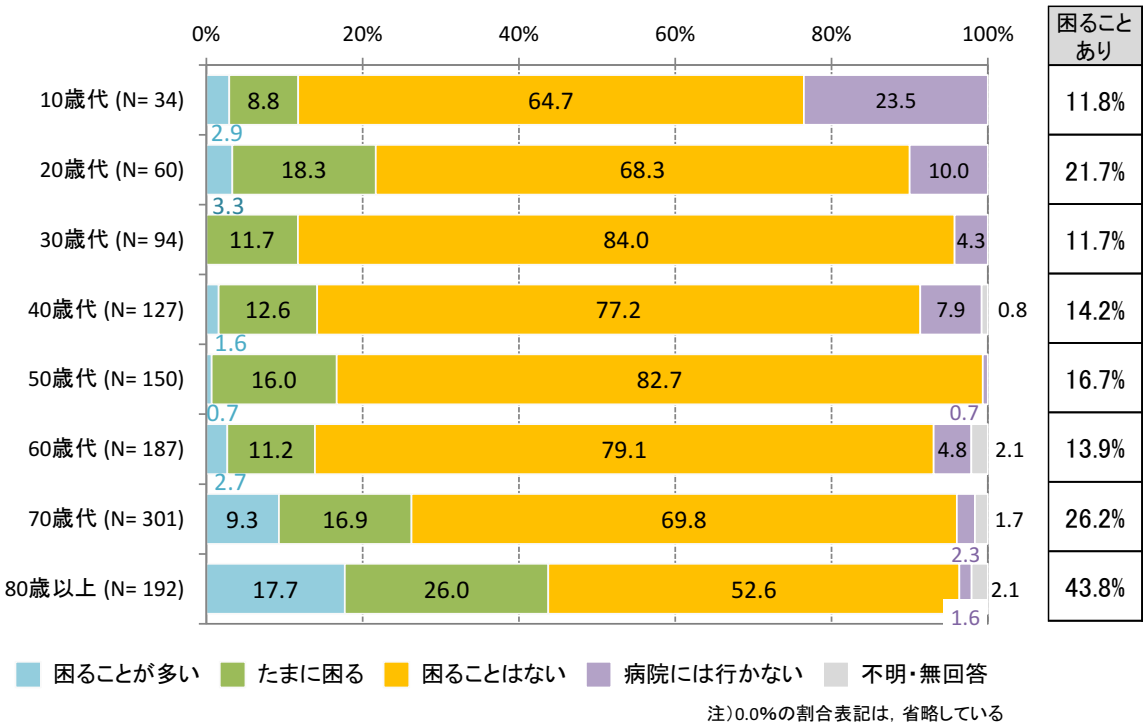
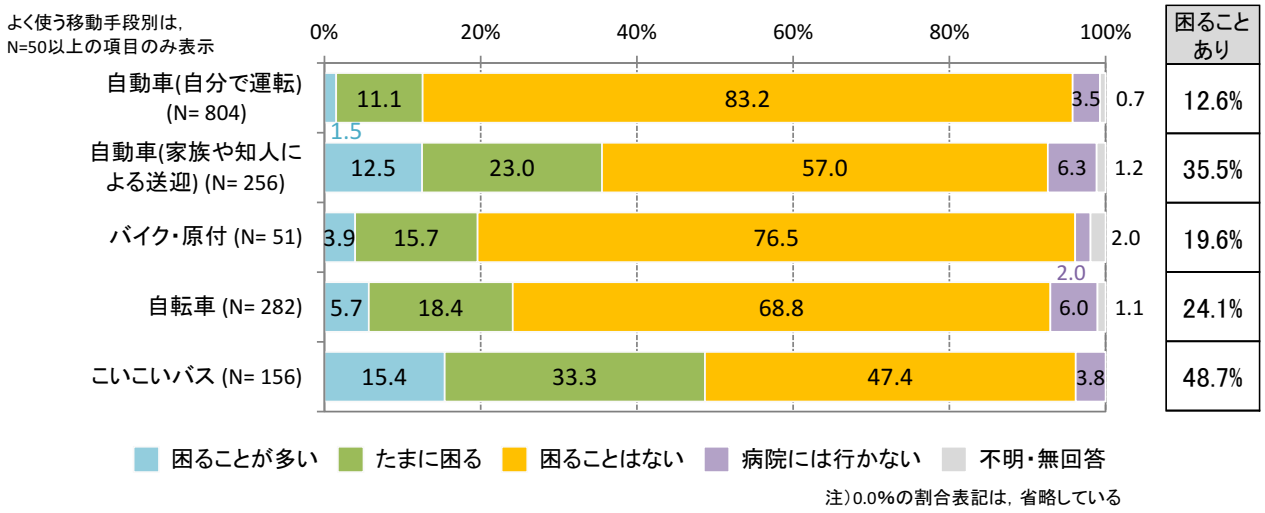


図　通院時に交通手段で困ること（性別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　通院時に交通手段で困ること（年齢別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　通院時に交通手段で困ること（市内でよく使う移動手段別）

③買い物・通院以外での外出先・困ること

質問２③ア．<u>買い物・通院以外の外出について</u>、
どこに出かけることが多いですか。（回数が多いもの、１つだけに○）

○「職場」が 39.4%で最も多く、以下「銀行・郵便局」（19.0%）、「公共施設」（11.2%）と続いている。
○居住地域別にみると、栗谷地域では「銀行・郵便局」、他の５地域では「職場」が最も多くなっている。
○性別にみると、男女ともに「職場」が最も多く、次いで「銀行・郵便局」となっている。
○年齢別にみると、10 歳代では「学校」、20～60 歳代では「職場」、70 歳以上では「銀行・郵便局」が最も多くなっている。

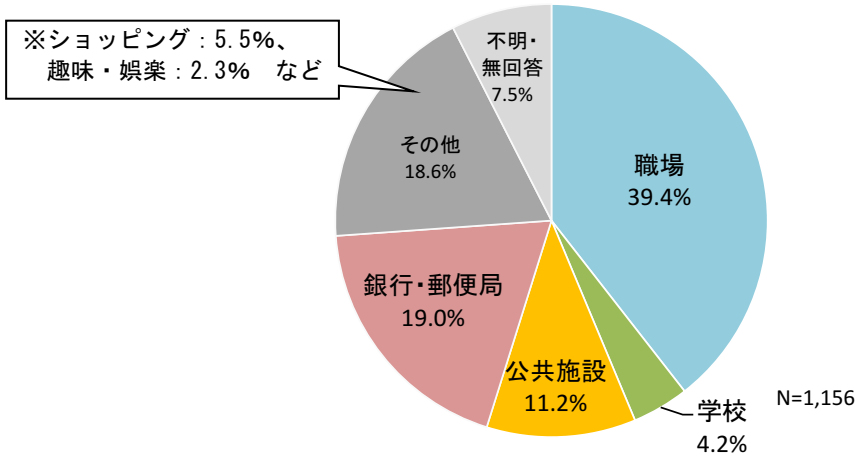
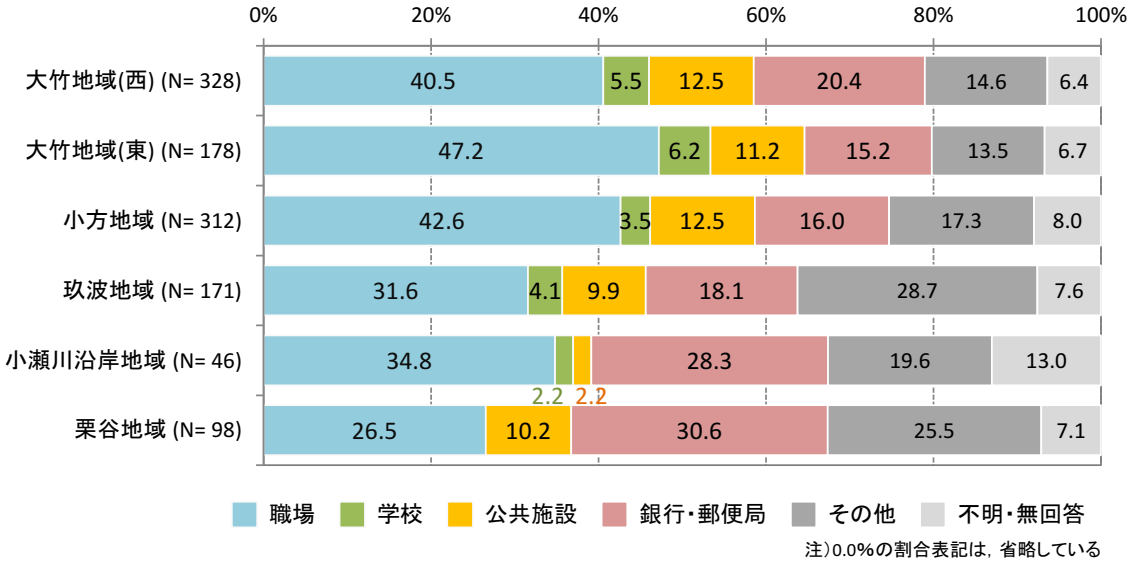
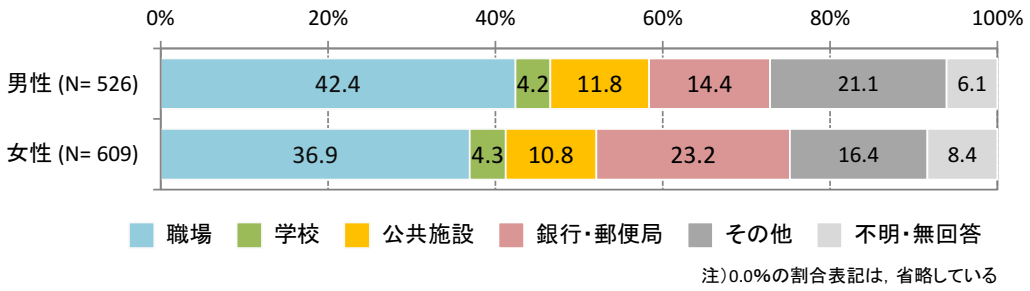


図　買い物・通院以外での外出先



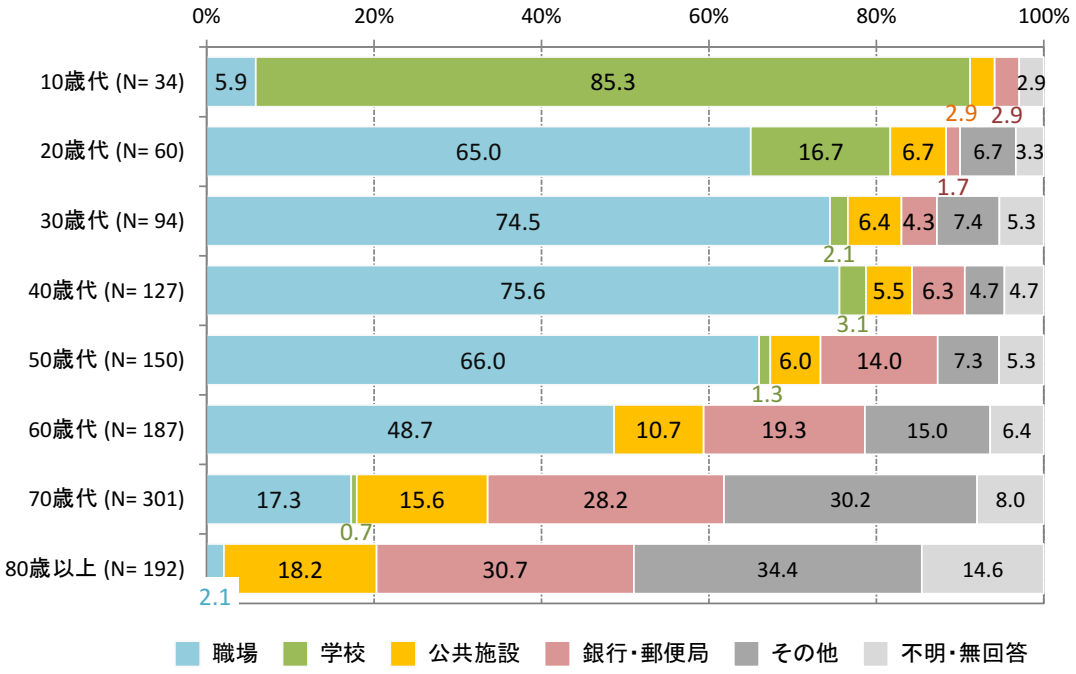
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出先（居住地域別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出先（性別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出先（年齢別）

質問２③イ．買い物・通院以外の外出について、
その行き先への外出で、交通手段に困ることはありますか。（１つだけに○）

○「困ることはない」が 72.3%を占めている。一方、『困ることあり』（「困ることが多い」と「困ることがたまにある」の合計）の割合は 24.0%となっており、前回調査よりもその割合が 14.0 ポイント高い。

○居住地域別にみると、『困ることあり』の割合が、小瀬川沿岸地域では（34.8%）と栗谷地域（31.6%）では３割以上となっている。

○性別にみると、男性では『困ることあり』が 20.5%であるのに対し、女性は 27.4%となっている。

○年齢別にみると、『困ることあり』の割合が、20 歳代（35.3%）と 80 歳以上（34.4%）では３割以上を占め、他の年齢と比べて困る割合がやや高くなっている。

○よく使う交通手段別にみると、『困ることあり』の割合が、こいこいバスを使う人では 42.9%と高くなっている。また、自動車（家族や知人による送迎）が使える人も、その割合が 34.8%と高く、他者の運転に依存するため自分の都合で移動できない状況がうかがえる。

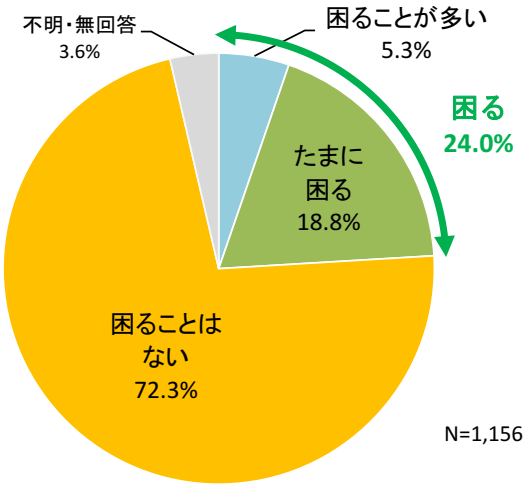


図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること

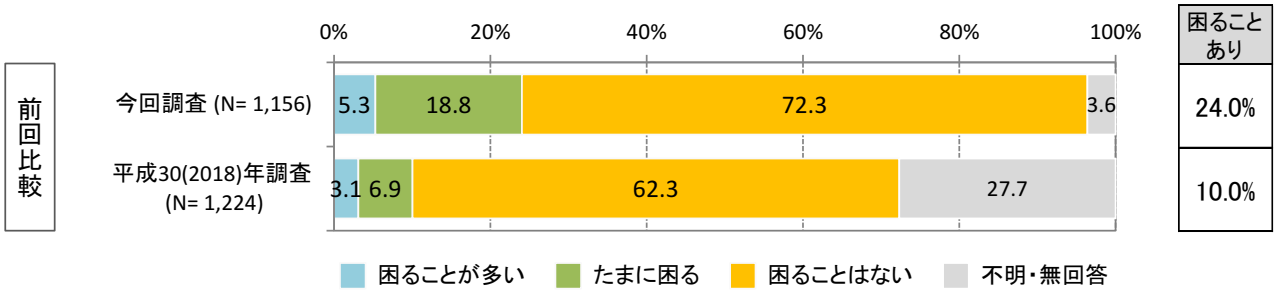
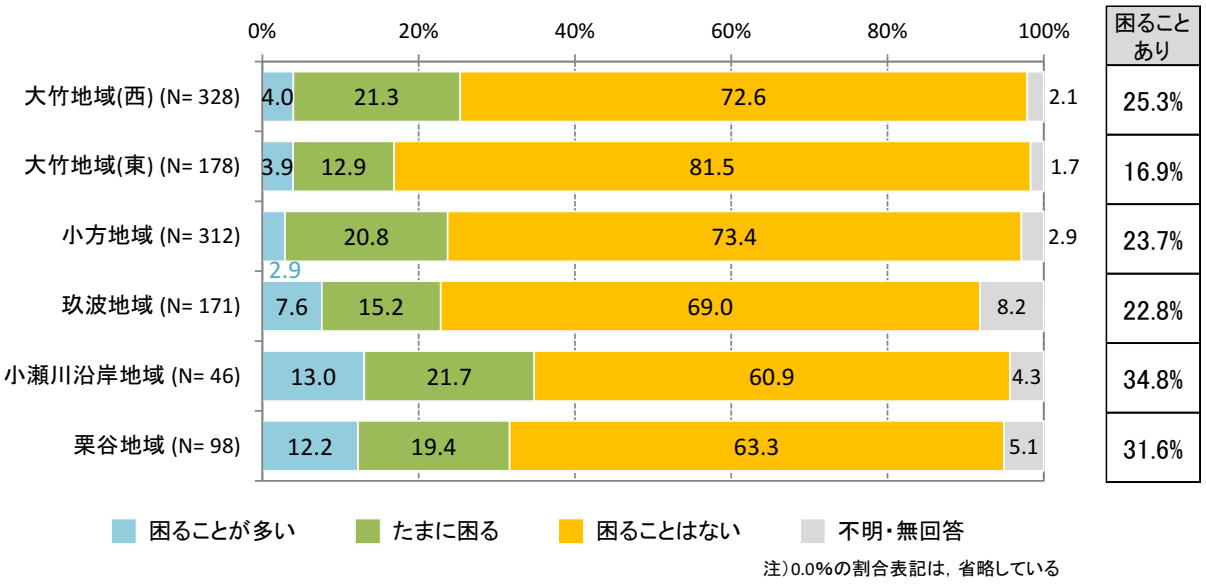
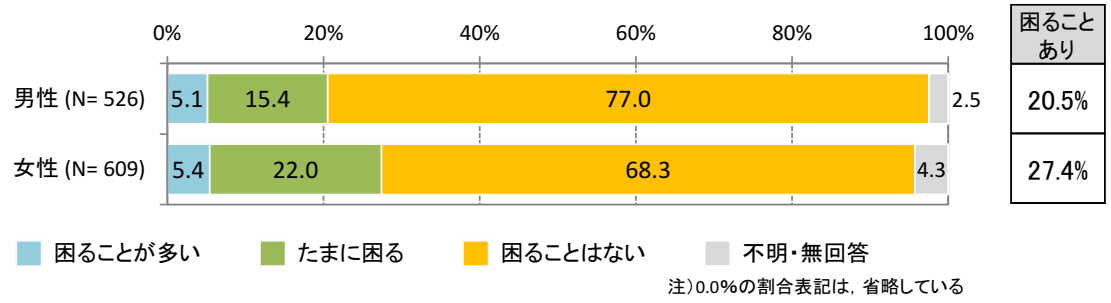


図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること［前回比較］



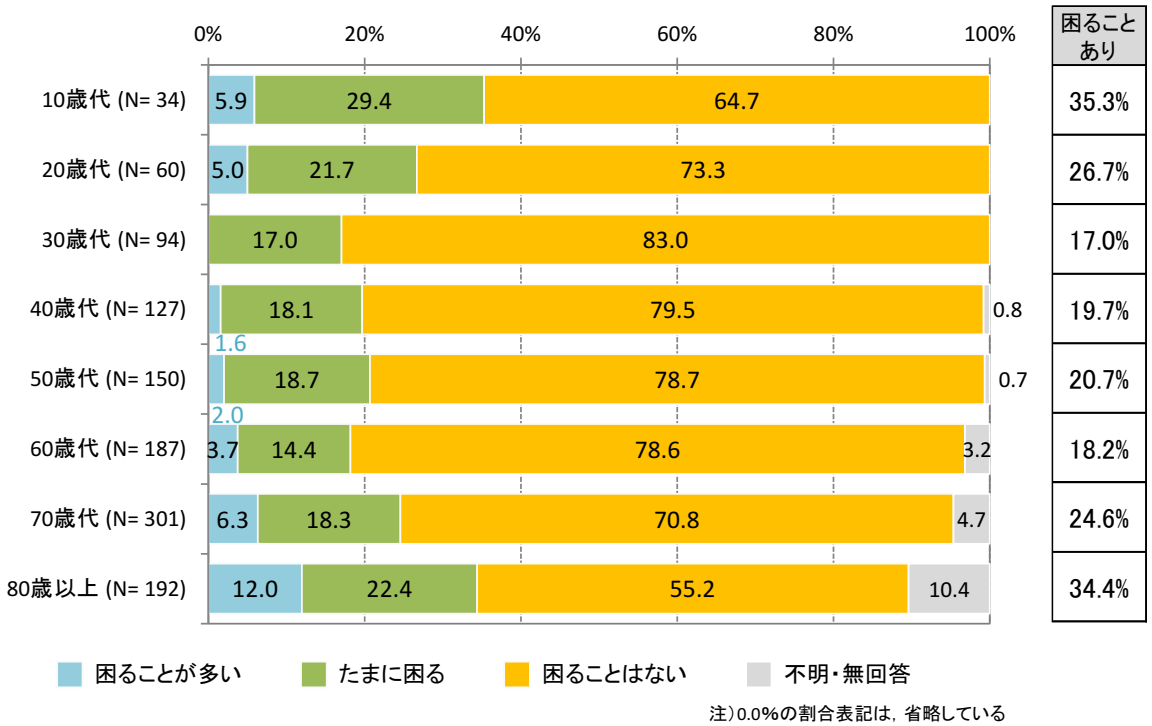
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること（居住地域別）



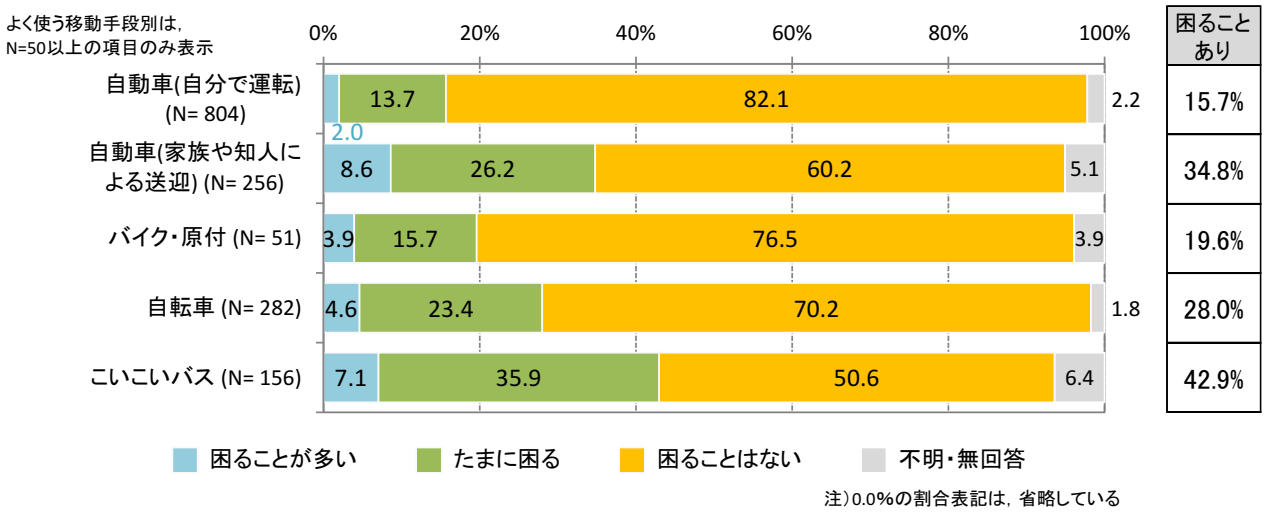
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること（性別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること（年齢別）



注）0.0%の割合表記は，省略している

図　買い物・通院以外での外出時に交通手段で困ること（市内でよく使う移動手段別）

④交通手段がなくて困る場合の対応方法〈困ることがある人のみ〉

質問２④上記の移動（①②③）で、交通手段に困る場合は、どのように対応していますか。（いくつでも）

○「家族や知人に送迎してもらう」が 50.4％で最も多く、次いで「一般タクシーを利用する」が 34.0％となっている。

○居住地域別にみると、小瀬川沿岸地域では「一般タクシーを利用する」、他の５地域では「家族や知人に送迎してもらう」が最も多くなっている。また、栗谷地域では「外出することをあきらめる」が２番目に多い方法となっている。

○性別にみると、男女ともに「家族や知人に送迎してもらう」が最も多く、次いで「一般タクシーを利用する」となっている。

○年齢別にみると、80 歳以上では「一般タクシーを利用する」、他の年齢では「家族や知人に送迎してもらう」が最も多くなっている。

○市内でよく使う交通手段別にみると、自動車が使える人では「家族や知人に送迎してもらう」、自転車が使える人では「徒歩または自転車で移動する」が最も多くなっている。一方、こいこいバスを使う人では「一般タクシーを利用する」が最も多く、次いで「公共交通のダイヤに合わせて行動する」となっている。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、距離に関わらず「家族や知人に送迎してもらう」が最も多く、徒歩 30 分以内の人では「一般タクシーを利用する」も同率で多い。また、徒歩３分以内の人では「公共交通のダイヤに合わせて行動する」の割合も比較的高い。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 30 分以内の人（回答者７人）を除き「家族や知人に送迎してもらう」が最も多くなっている。

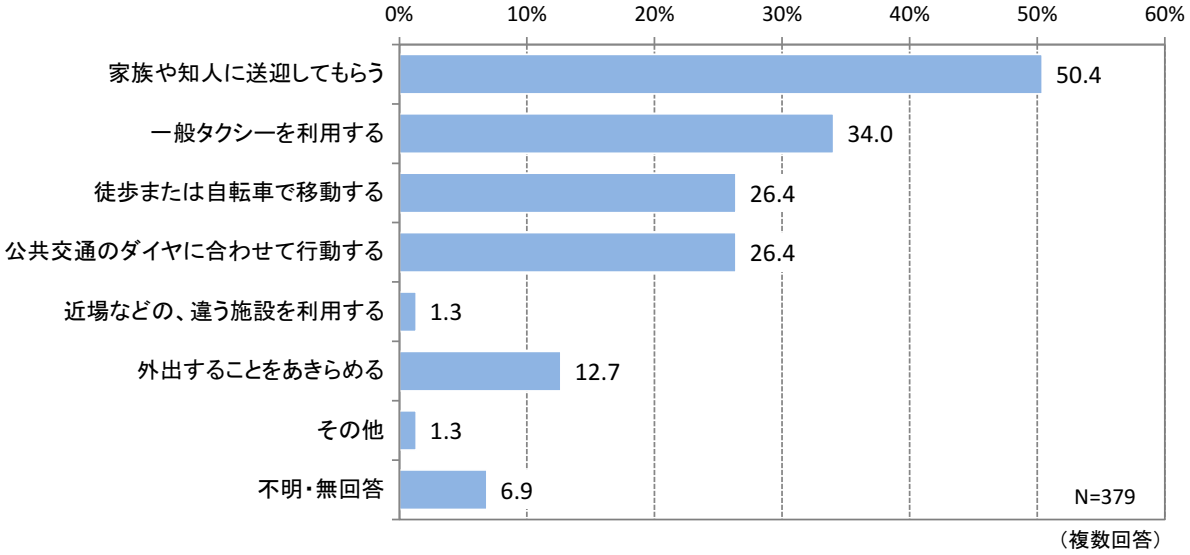


図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（「困ることが多い」または「たまに困る」と回答した人のみ）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	大竹地域(西)	大竹地域(東)	小方地域	玖波地域	小瀬川 沿岸地域	栗谷地域
（件数）	（N= 110）	（N= 42）	（N= 101）	（N= 58）	（N= 20）	（N= 42）
家族や知人に送迎してもらう	52.7	52.4	47.5	50.0	**35.0**	57.1
一般タクシーを利用する	**33.6**	**33.3**	**35.6**	**37.9**	70.0	**11.9**
徒歩または自転車で移動する	**40.0**	**28.6**	27.7	12.1	**25.0**	4.8
公共交通のダイヤに合わせて行動する	24.5	26.2	**31.7**	**32.8**	20.0	**11.9**
近場などの、違う施設を利用する	2.7	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0
外出することをあきらめる	10.0	11.9	14.9	8.6	5.0	**21.4**
その他	0.0	0.0	2.0	1.7	0.0	4.8
不明・無回答	1.8	2.4	6.9	13.8	5.0	16.7

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（居住地域）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	男性	女性
（件数）	（N= 151）	（N= 219）
家族や知人に送迎してもらう	43.7	56.2
一般タクシーを利用する	**31.1**	**35.6**
徒歩または自転車で移動する	**29.8**	24.7
公共交通のダイヤに合わせて行動する	25.8	**27.9**
近場などの、違う施設を利用する	1.3	1.4
外出することをあきらめる	7.3	16.4
その他	1.3	1.4
不明・無回答	7.9	5.0

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（性別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
（件数）	(N= 16)	(N= 18)	(N= 21)	(N= 31)	(N= 41)	(N= 45)	(N= 100)	(N= 103)
家族や知人に送迎してもらう	68.8	55.6	81.0	61.3	43.9	46.7	46.0	**45.6**
一般タクシーを利用する	6.3	22.2	9.5	16.1	**36.6**	**40.0**	**32.0**	48.5
徒歩または自転車で移動する	**18.8**	**33.3**	**42.9**	**29.0**	**39.0**	**33.3**	23.0	**18.4**
公共交通のダイヤに合わせて行動する	**43.8**	**27.8**	**42.9**	**32.3**	19.5	**33.3**	**27.0**	15.5
近場などの、違う施設を利用する	0.0	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	2.9
外出することをあきらめる	6.3	16.7	14.3	16.1	14.6	13.3	16.0	7.8
その他	0.0	5.6	0.0	3.2	0.0	2.2	1.0	1.0
不明・無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	2.2	10.0	12.6

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（年齢別）

単位：%　　よく使う移動手段別は，N=50以上の項目のみ表示

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	自動車 （自分で運転）	自動車 （家族や知人による送迎）	自転車	こいこいバス
（件数）	(N= 168)	(N= 125)	(N= 104)	(N= 98)
家族や知人に送迎してもらう	45.8	78.4	**53.8**	**44.9**
一般タクシーを利用する	22.6	**28.0**	**28.8**	51.0
徒歩または自転車で移動する	**27.4**	**30.4**	55.8	31.6
公共交通のダイヤに合わせて行動する	**23.8**	24.8	27.9	**49.0**
近場などの、違う施設を利用する	1.8	1.6	3.8	1.0
外出することをあきらめる	15.5	10.4	10.6	5.1
その他	2.4	1.6	0.0	1.0
不明・無回答	10.7	4.0	0.0	4.1

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（市内でよく使う移動手段別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	駅まで 徒歩3分以内	駅まで 徒歩5分以内	駅まで 徒歩10分以内	駅まで 徒歩20分以内	駅まで 徒歩30分以内	駅まで 徒歩30分 を超える
（件数）	（N= 13）	（N= 20）	（N= 68）	（N= 100）	（N= 54）	（N= 89）
家族や知人に送迎してもらう	61.5	50.0	55.9	48.0	48.1	48.3
一般タクシーを利用する	**30.8**	20.0	**26.5**	**32.0**	48.1	**33.7**
徒歩または自転車で移動する	15.4	**35.0**	**26.5**	**30.0**	**38.9**	22.5
公共交通のダイヤに合わせて行動する	**46.2**	**30.0**	**33.8**	**30.0**	16.7	**23.6**
近場などの、違う施設を利用する	0.0	0.0	4.4	0.0	1.9	0.0
外出することをあきらめる	0.0	5.0	11.8	12.0	3.7	21.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.4
不明・無回答	15.4	5.0	2.9	6.0	9.3	7.9

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（最寄り「鉄道駅」までの距離別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	バス停まで 徒歩3分以内	バス停まで 徒歩5分以内	バス停まで 徒歩10分以内	バス停まで 徒歩20分以内	バス停まで 徒歩30分以内	バス停まで 徒歩30分 を超える
（件数）	（N= 76）	（N= 86）	（N= 81）	（N= 67）	（N= 7）	（N= 16）
家族や知人に送迎してもらう	50.0	52.3	45.7	50.7	**28.6**	43.8
一般タクシーを利用する	**36.8**	**32.6**	**32.1**	**34.3**	57.1	**31.3**
徒歩または自転車で移動する	**26.3**	26.7	**30.9**	22.4	**28.6**	**6.3**
公共交通のダイヤに合わせて行動する	**26.3**	**30.2**	28.4	**23.9**	**42.9**	**6.3**
近場などの、違う施設を利用する	0.0	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0
外出することをあきらめる	11.8	11.6	12.3	14.9	14.3	**6.3**
その他	0.0	2.3	2.5	0.0	0.0	**6.3**
不明・無回答	7.9	3.5	6.2	10.4	0.0	25.0

図　交通手段がなくて困る場合の対応方法（最寄り「バス停」までの距離別）

質問３　大竹市内の公共交通の利用ついて

（１）鉄道（ＪＲ）について

①よく利用する駅

質問３(1)①市内でよく利用する鉄道駅は、どちらですか（１つに○）

○「大竹駅」が 64.8%、「玖波駅」が 30.9%となっている。
○居住地域別にみると、玖波地域では「玖波駅」、他の５地域では「大竹駅」が多くなっている。
○自宅から最寄り駅までの距離は、「大竹駅」では徒歩 10 以内と 20 分以内がそれぞれ約 27%、「玖波駅」では 20 分以内が約 25%、次いで、30 分超が 21%となっている。

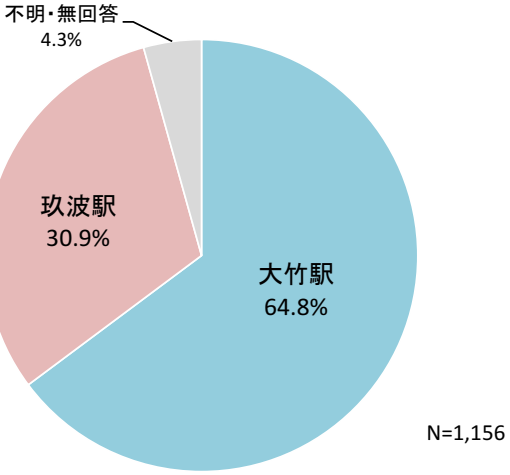


図　よく利用する駅

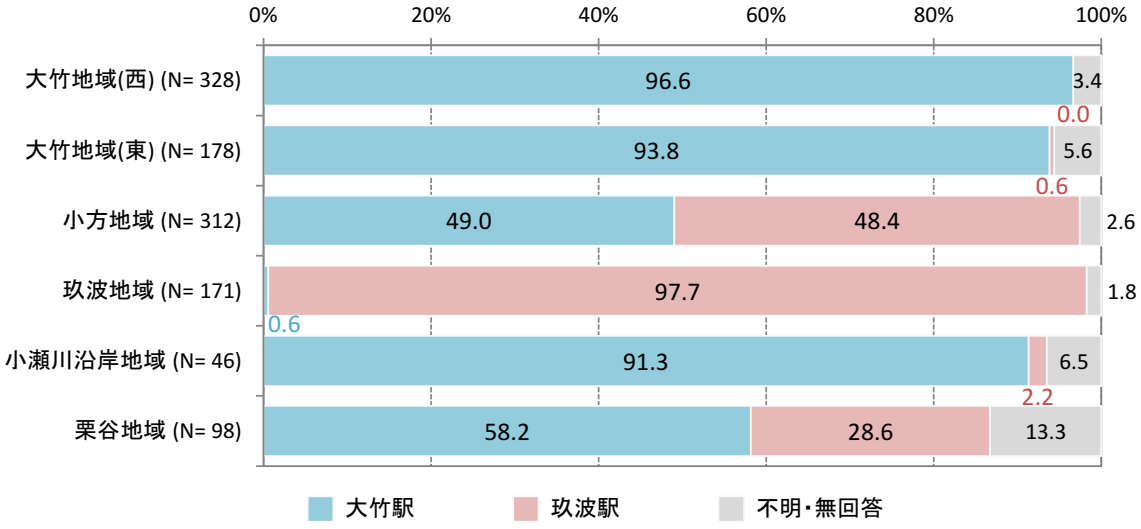


図　よく利用する駅（居住地域別）

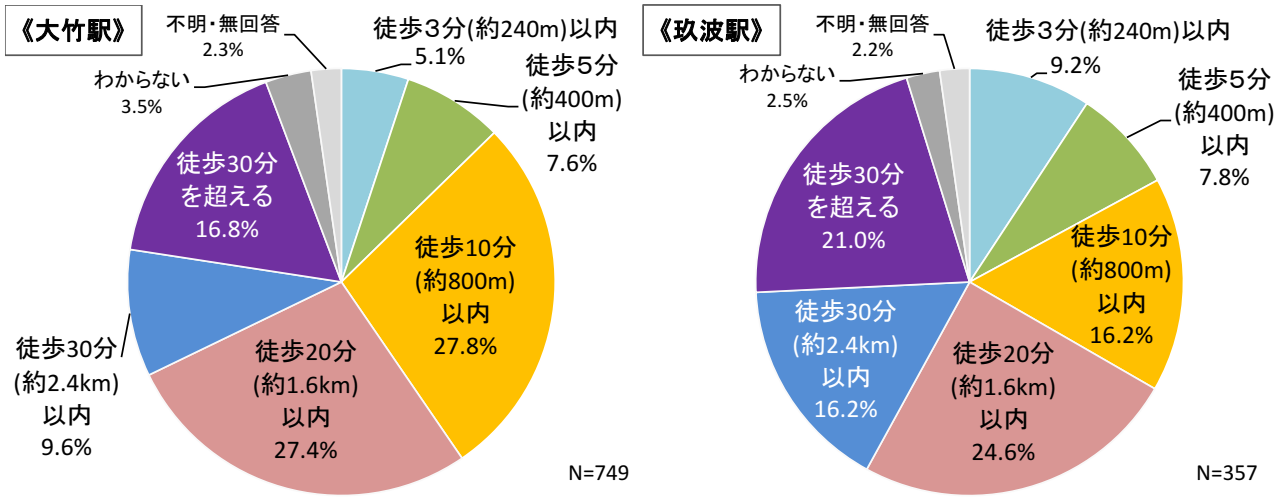


図　よく利用する駅別の自宅から最寄り駅までの距離

②鉄道（ＪＲ）の利用頻度

質問３(1)②市内における鉄道の利用頻度は（１つに○）

○「年に数回」が 41.2%で最も多く、次いで「ほとんど利用しない」が 28.5%となっている。『利用』（「ほぼ毎日」～「年に数回」の合計）している人が 68.9%を占めているが、『週１回以上』(「ほぼ毎日」と「週に数回」の合計）利用している人は約 10%にとどまっている。前回調査と比べると、『週１回以上』利用している割合は 2.6 ポイント増加している。

○『利用』の割合を居住地域別にみると、玖波地域(76.0%)、小方地域(73.4%)、大竹地域(西)(71.3%)では７割以上であるのに対し、栗谷地域では 48.0%となっている。

○『利用』の割合を年齢別にみると、概ね若い年代ほど高く、10 歳代（100.0%)、20 歳代（85.0%）では 85%以上、30～50 歳代では７割台であるのに対し、80 歳以上では約 55%となっている。

○『利用』の割合を市内でよく使う移動手段別にみると、こいこいバスをよく使う人では約 87%、自転車をよく使う人では約 78%であるのに対し、自動車(自分で運転)が使える人では約 67%となっている。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、徒歩 20 分より近い人では１割強が週に数回以上使っている。一方、徒歩 30 分を超える人では約 38%が「ほとんど利用しない」と回答している。

○よく利用する駅別にみると、『利用』の割合は、玖波駅では 74.5%、大竹駅では 70.1%となっており、玖波駅の方が利用頻度がやや高い。

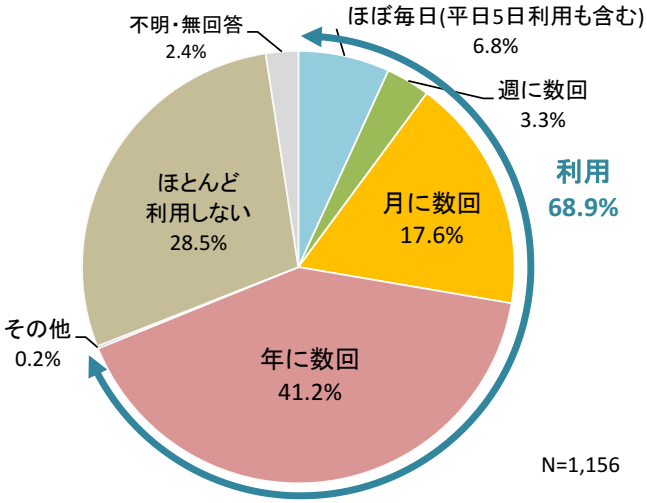


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度

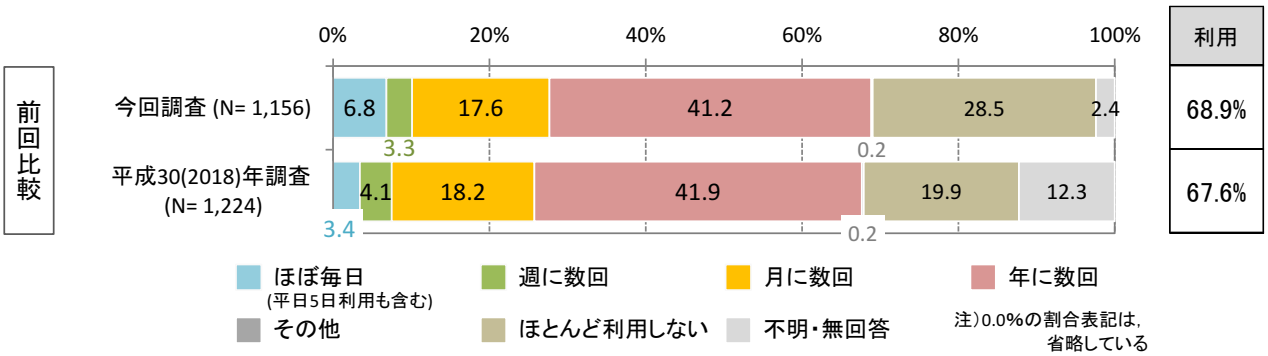


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度［前回比較］

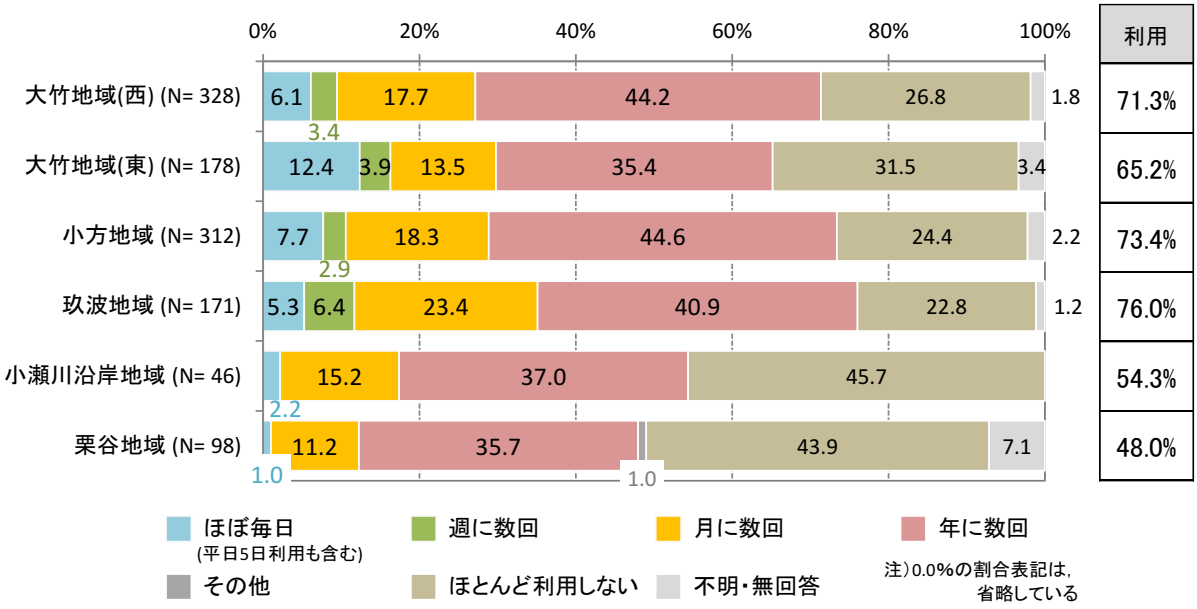


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度（居住地域別）

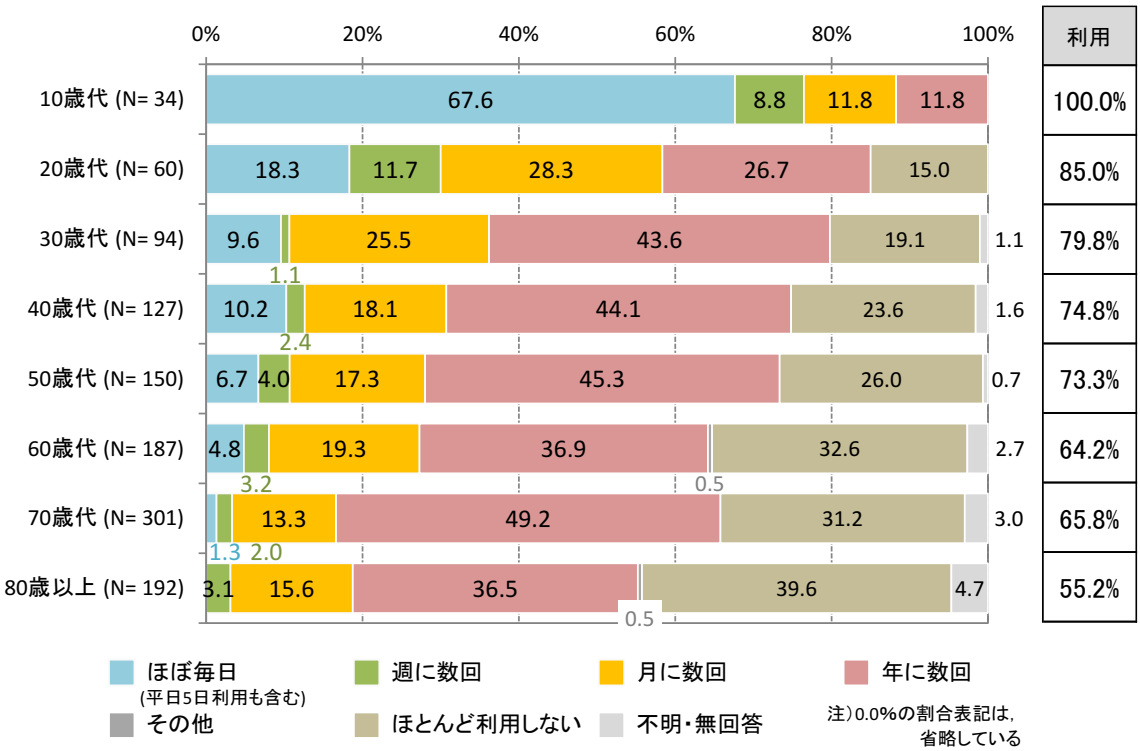


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度（年齢別）

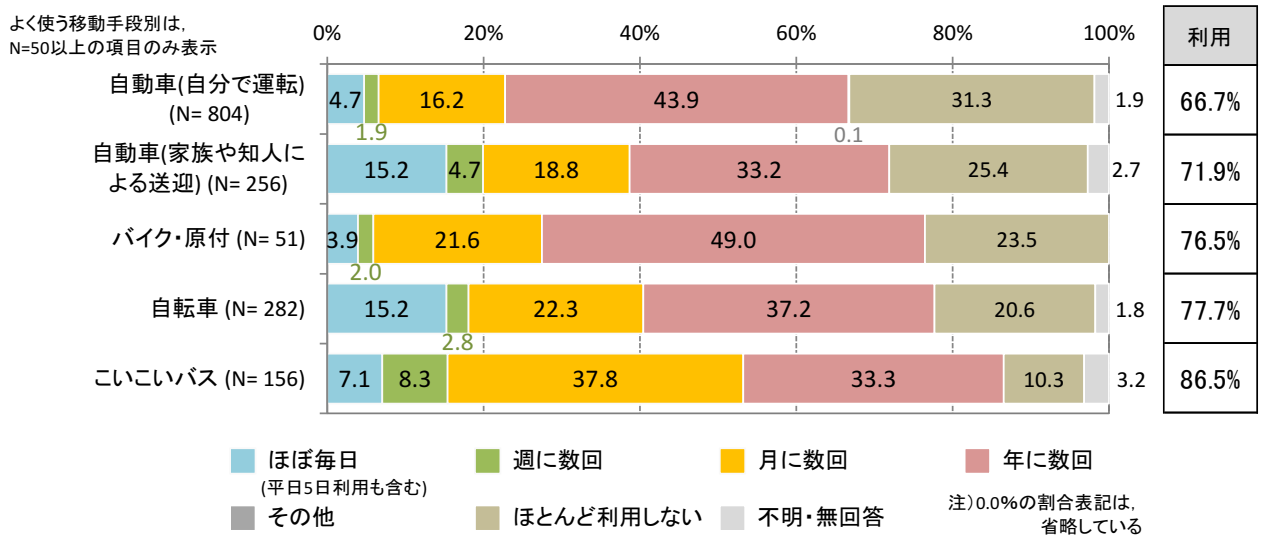


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度（市内でよく使う移動手段別）

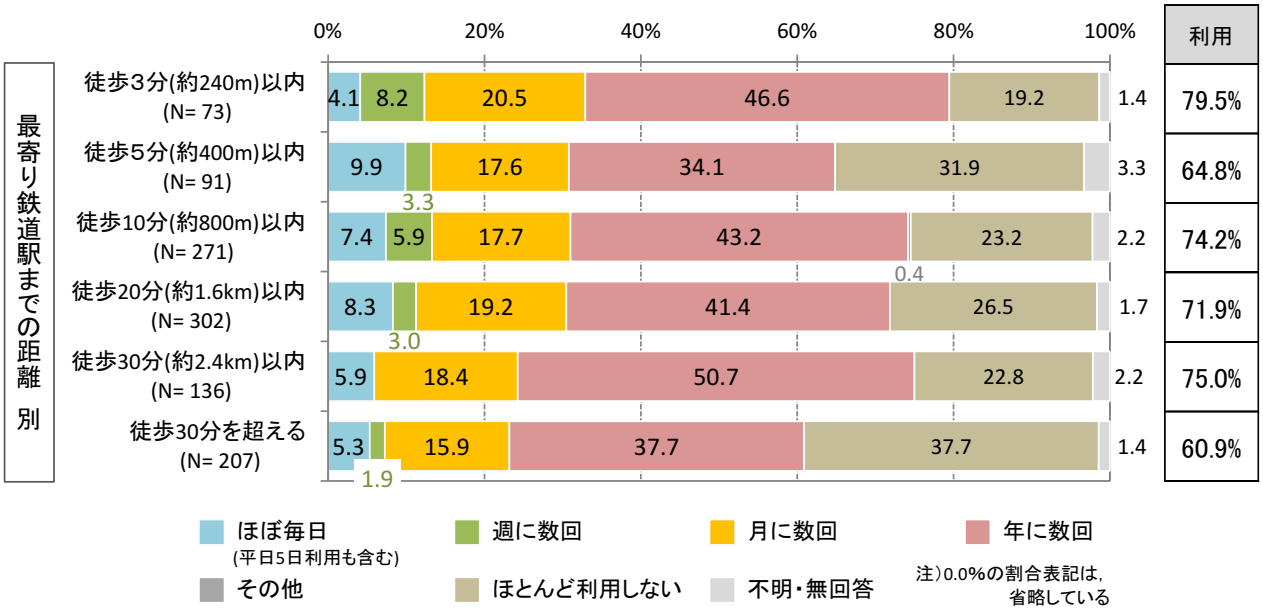


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度（最寄り「鉄道駅」までの距離別）

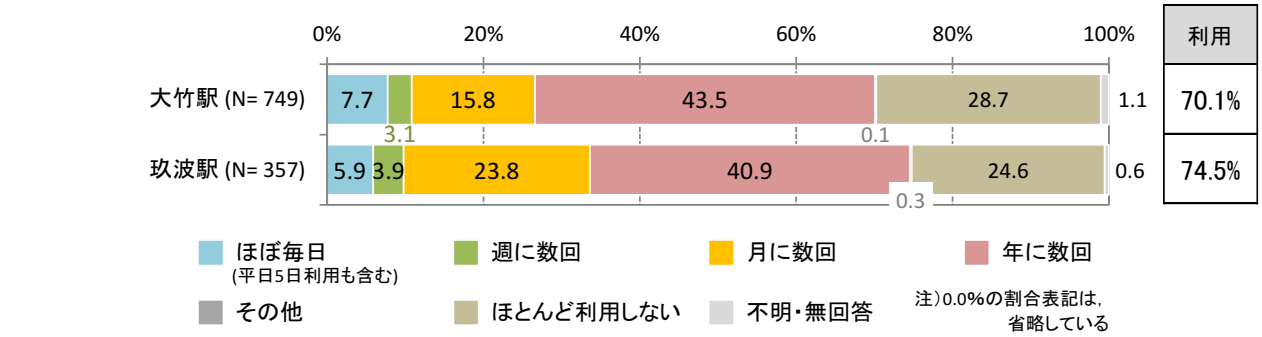


図　鉄道（ＪＲ）の利用頻度（よく利用する駅別）

③鉄道（ＪＲ）の満足度

質問３(1)③市内における鉄道の満足度は（１つに○）

○「やや満足」が 29.3%で最も多く、「満足」（25.6%）と合わせると『満足』が 54.9%となっている。一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は 17.5%である。『満足』の割合は前回調査と同程度となっている。

○居住地域別にみると、すべての地域で『満足』が『不満』を上回っており、『満足』の割合が最も高いのは大竹地域(東)（71.6%）となっている。一方、『不満』の割合が最も高いのは小方地域（29.7%）である。

○性別にみると、『満足』の割合は、男性 56.2%、女性 53.7%となっている。

○年齢別にみると、すべての年齢で『満足』が『不満』を上回っており、『満足』の割合が最も高いのは 10 歳代（85.3%）となっている。一方、『不満』の割合が最も高いのは 30 歳代（25.3%）である。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、概ね距離が近いほど『満足』の割合が高く、徒歩５分より近い人では７割強となっているが、徒歩 30 分以内の人では約 30%、徒歩 30 分を超える人では約 39%となっている。

○市内でよく利用する駅別にみると、『満足』の割合は、大竹駅では 58.0%、玖波駅では 49.4%となっており、大竹駅の方が満足度が高い。※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

○鉄道の利用頻度別にみると、利用頻度に関わらず『満足』が『不満』を上回っており、『満足』の割合が最も高いのは、ほぼ毎日の人（62.0%）となっている。一方、『不満』の割合が最も高いのもほぼ毎日の人（26.6%）である。

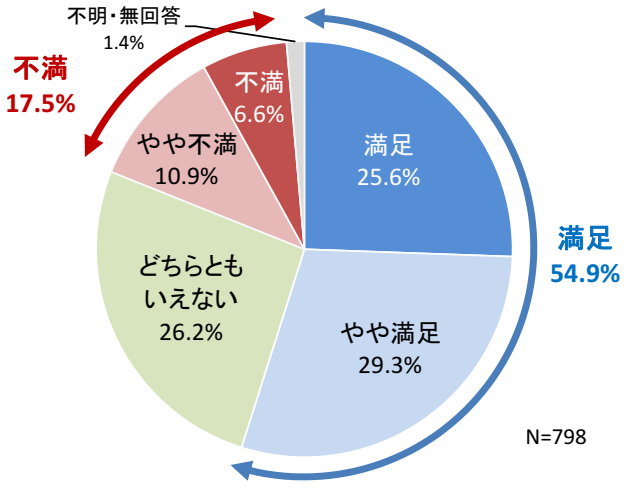
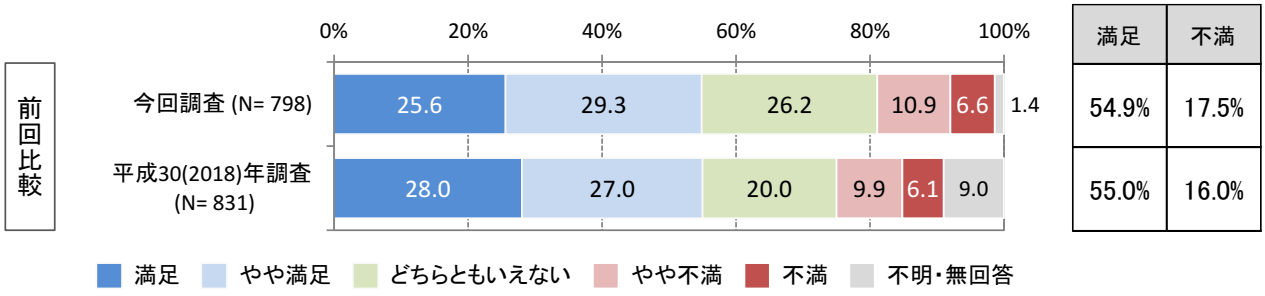
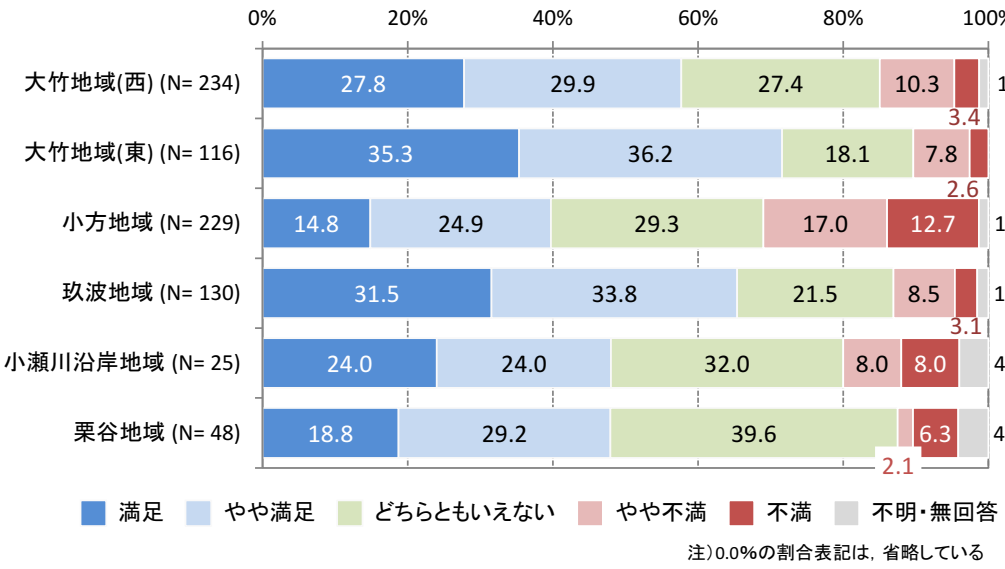


図　鉄道（ＪＲ）の満足度



満足	不満
54.9%	17.5%
55.0%	16.0%

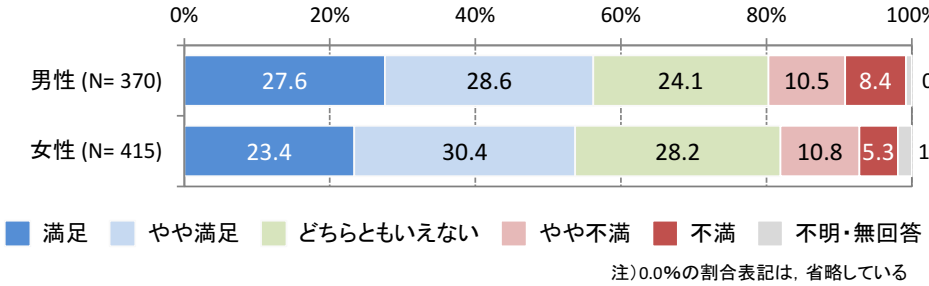
図　鉄道（ＪＲ）の満足度［前回比較］



	満足	不満
大竹地域(西) (N= 234)	57.7%	13.7%
大竹地域(東) (N= 116)	71.6%	10.3%
小方地域 (N= 229)	39.7%	29.7%
玖波地域 (N= 130)	65.4%	11.5%
小瀬川沿岸地域 (N= 25)	48.0%	16.0%
栗谷地域 (N= 48)	47.9%	8.3%

注）0.0%の割合表記は，省略している

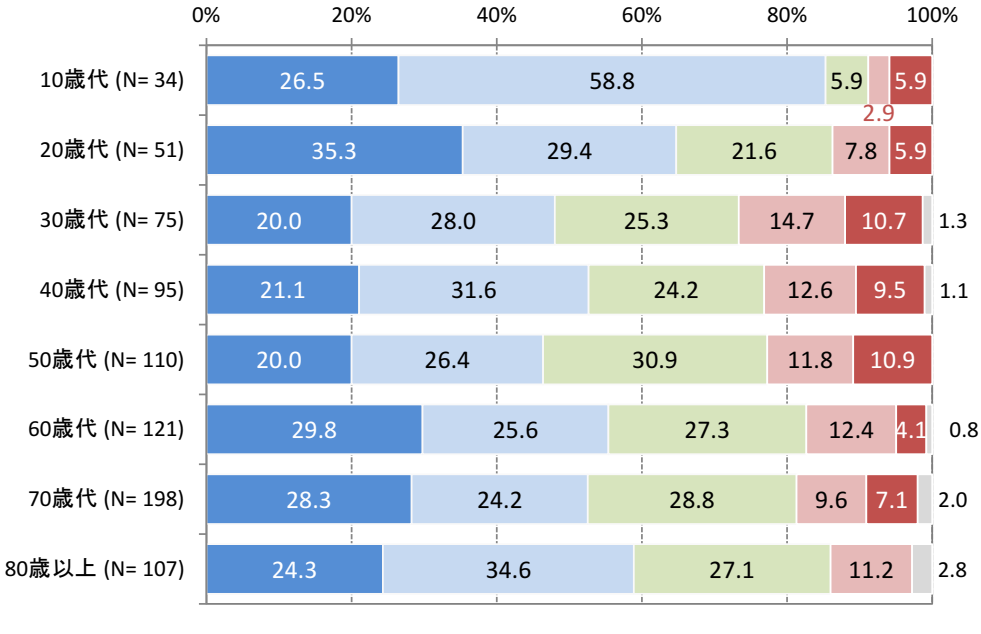
図　鉄道（ＪＲ）の満足度（居住地域別）



	満足	不満
男性 (N= 370)	56.2%	18.9%
女性 (N= 415)	53.7%	16.1%

注）0.0%の割合表記は，省略している

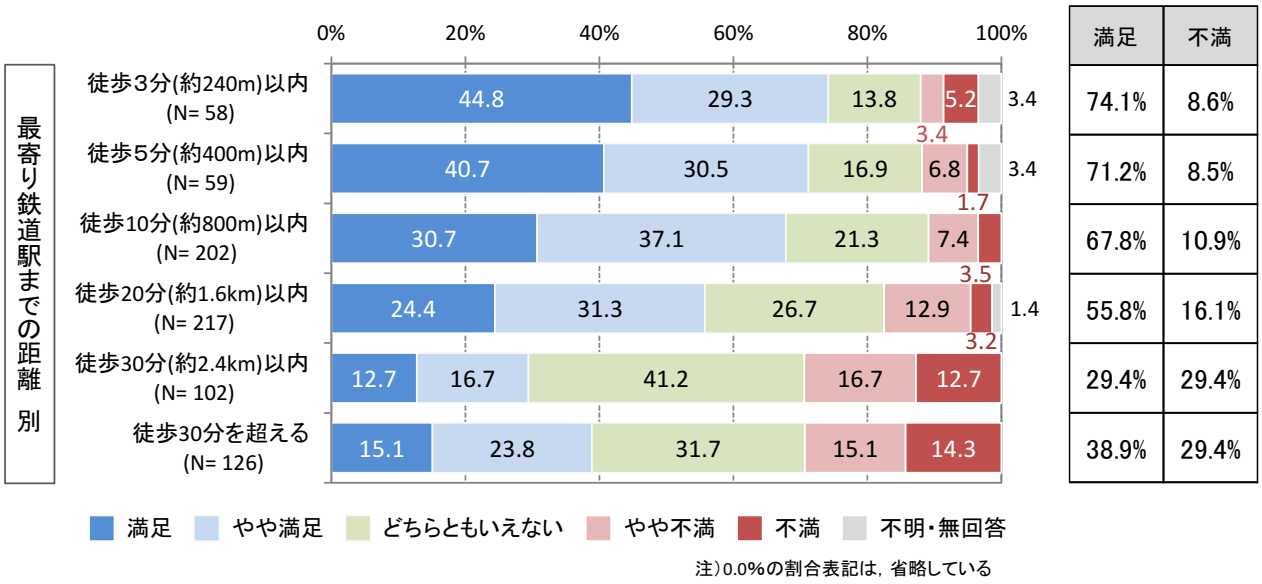
図　鉄道（ＪＲ）の満足度（性別）



	満足	不満
10歳代 (N= 34)	85.3%	8.8%
20歳代 (N= 51)	64.7%	13.7%
30歳代 (N= 75)	48.0%	25.3%
40歳代 (N= 95)	52.6%	22.1%
50歳代 (N= 110)	46.4%	22.7%
60歳代 (N= 121)	55.4%	16.5%
70歳代 (N= 198)	52.5%	16.7%
80歳以上 (N= 107)	58.9%	11.2%

注）0.0%の割合表記は，省略している

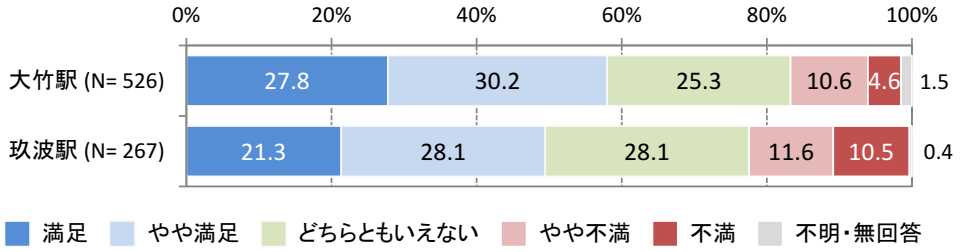
図　鉄道（ＪＲ）の満足度（年齢別）



満足	不満
74.1%	8.6%
71.2%	8.5%
67.8%	10.9%
55.8%	16.1%
29.4%	29.4%
38.9%	29.4%

注）0.0%の割合表記は，省略している

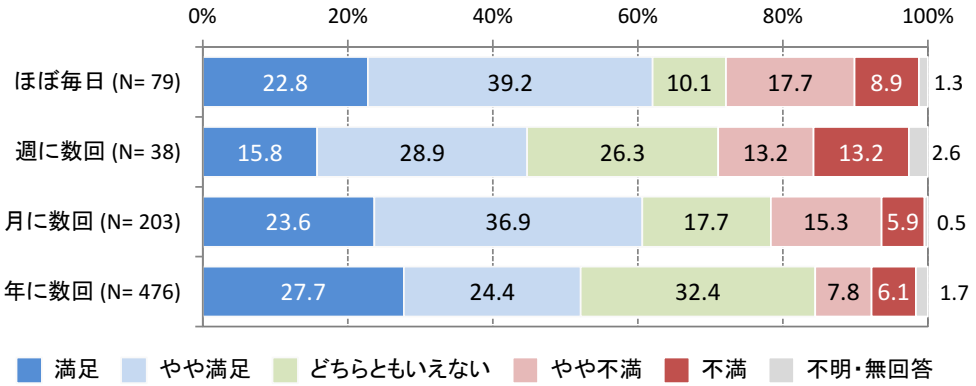
図　鉄道（ＪＲ）の満足度（最寄り「鉄道駅」までの距離別）



満足	不満
58.0%	15.2%
49.4%	22.1%

注）0.0%の割合表記は，省略している

図　鉄道（ＪＲ）の満足度（よく利用する駅別）



満足	不満
62.0%	26.6%
44.7%	26.3%
60.6%	21.2%
52.1%	13.9%

注）0.0%の割合表記は，省略している

図　鉄道（ＪＲ）の満足度（鉄道の利用頻度別）

④鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（複数回答）

質問３(1)④市内における鉄道の利用しづらい点、利用しない理由を教えてください（いくつでも）

○「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が 24.8%で最も多く、以下「最寄りの駅が遠い」（21.9%）、「駅に駐車場が少ない」（18.1%）、「特に不満はない」（16.4%）と続いている。

○居住地域別にみると、小方地域では「最寄りの駅が遠い」、小瀬川沿岸地域では「駅に駐車場が少ない」が最も多くなっている。また、栗谷地域では「最寄りの駅が遠い」と「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が同率で多い。その他の地域では「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が最も多くなっている。

○性別にみると、男女とも「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が最も多く、次いで「最寄り駅が遠い」となっている。

○年齢別にみると、20 歳代以下では「便数が少ない」、50 歳代では「駅に駐車場が少ない」、80 歳以上では「最寄り駅が遠い」が最も多い。一方、30 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳代では「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が最も多くなっている。

○最寄り駅までの距離別にみると、徒歩 30 分より遠い人では「最寄りの駅が遠い」、徒歩５分以内～徒歩 20 分以内の人では「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」が最も多くなっている。一方、徒歩３分以内の人では「特に不満はない」が最も多い。

○よく利用する駅別にみると、大竹駅では「車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない」、玖波駅では「最寄り駅が遠い」が最も多い。

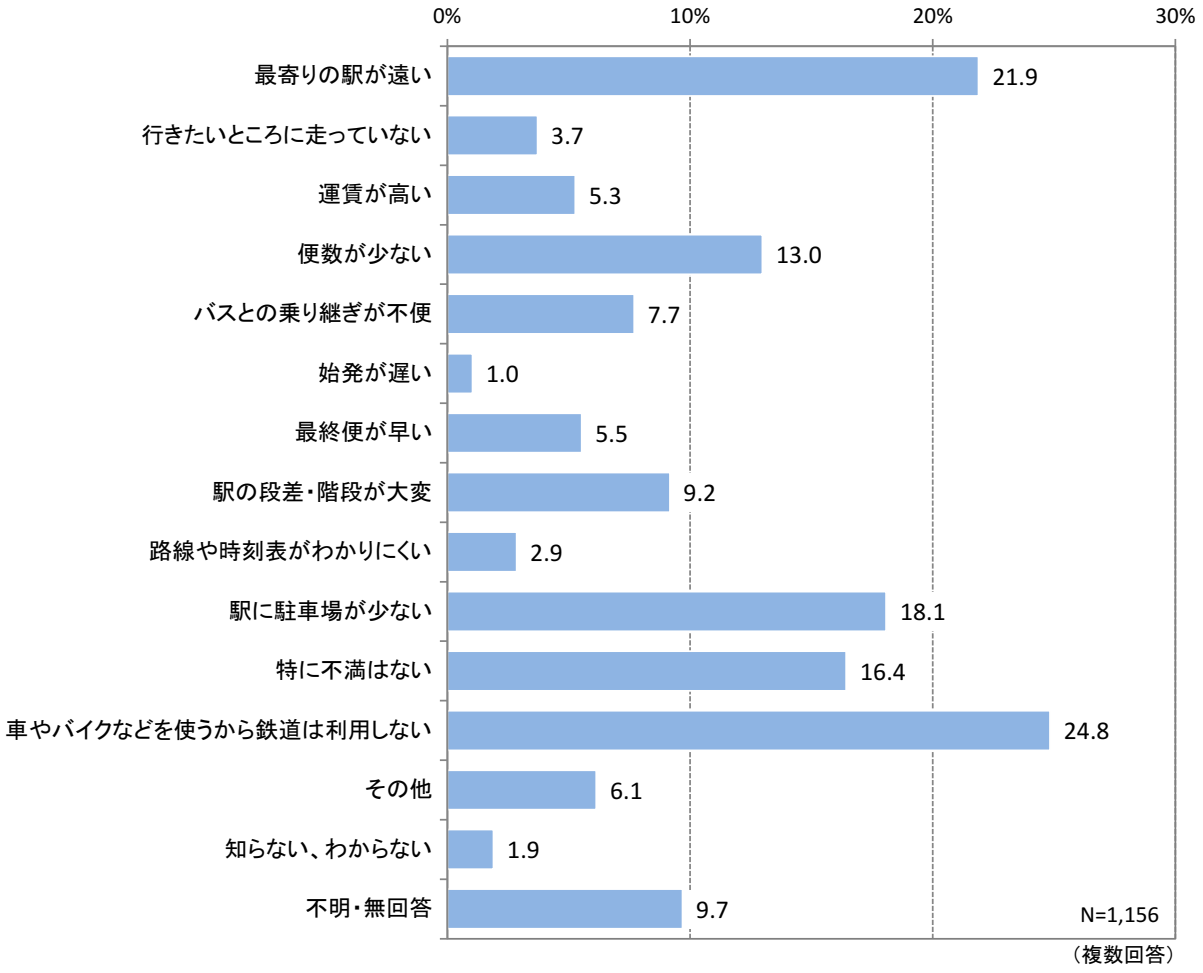


図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	大竹地域(西)	大竹地域(東)	小方地域	玖波地域	小瀬川 沿岸地域	栗谷地域
（件数）	(N= 328)	(N= 178)	(N= 312)	(N= 171)	(N= 46)	(N= 98)
最寄りの駅が遠い	10.1	5.1	**44.9**	12.3	**23.9**	**36.7**
行きたいところに走っていない	3.4	4.5	2.6	4.7	4.3	5.1
運賃が高い	7.3	5.6	4.5	4.1	4.3	4.1
便数が少ない	**16.2**	**15.2**	8.7	15.2	15.2	6.1
バスとの乗り継ぎが不便	4.6	2.8	13.5	4.7	19.6	8.2
始発が遅い	1.2	0.0	1.6	0.6	2.2	0.0
最終便が早い	5.8	4.5	7.1	5.3	2.2	3.1
駅の段差・階段が大変	6.4	6.2	9.0	**18.7**	10.9	6.1
路線や時刻表がわかりにくい	4.3	2.2	2.2	1.2	4.3	4.1
駅に駐車場が少ない	13.1	11.2	**26.3**	12.9	**37.0**	**22.4**
特に不満はない	**22.0**	**21.3**	10.6	**20.5**	8.7	5.1
車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない	**24.7**	**28.1**	**19.2**	**22.2**	**30.4**	**36.7**
その他	5.5	9.0	4.2	6.4	8.7	4.1
知らない、わからない	2.1	3.4	1.3	1.2	2.2	2.0
不明・無回答	11.3	10.1	8.0	11.1	2.2	11.2

図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（居住地域別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	男性	女性
（件数）	（N= 526）	（N= 609）
最寄りの駅が遠い	**21.7**	**22.2**
行きたいところに走っていない	3.8	3.3
運賃が高い	4.8	5.6
便数が少ない	13.9	12.3
バスとの乗り継ぎが不便	8.2	7.2
始発が遅い	0.6	1.5
最終便が早い	6.3	4.6
駅の段差・階段が大変	8.7	9.7
路線や時刻表がわかりにくい	2.9	3.0
駅に駐車場が少ない	**19.2**	**17.4**
特に不満はない	16.5	16.4
車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない	**24.7**	**24.6**
その他	5.9	6.2
知らない、わからない	1.7	1.8
不明・無回答	9.9	9.9

図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（性別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
（件数）	(N= 34)	(N= 60)	(N= 94)	(N= 127)	(N= 150)	(N= 187)	(N= 301)	(N= 192)
最寄りの駅が遠い	**20.6**	**18.3**	**27.7**	**26.0**	**24.7**	17.6	**22.6**	18.8
行きたいところに走っていない	2.9	5.0	4.3	4.7	5.3	4.3	2.7	2.6
運賃が高い	8.8	10.0	7.4	3.9	12.7	6.4	1.7	2.1
便数が少ない	38.2	30.0	**28.7**	16.5	14.0	13.4	5.6	3.1
バスとの乗り継ぎが不便	0.0	10.0	4.3	5.5	12.7	9.6	7.0	6.3
始発が遅い	0.0	0.0	2.1	2.4	2.0	1.1	0.3	0.5
最終便が早い	2.9	15.0	14.9	10.2	8.0	4.8	1.3	0.5
駅の段差・階段が大変	8.8	3.3	4.3	3.9	12.7	9.6	9.0	**14.6**
路線や時刻表がわかりにくい	0.0	3.3	0.0	0.8	4.0	1.6	5.3	2.6
駅に駐車場が少ない	8.8	13.3	19.1	15.7	29.3	**19.8**	**19.6**	10.4
特に不満はない	**23.5**	**23.3**	14.9	**18.9**	10.0	**19.8**	15.9	**14.6**
車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない	2.9	**18.3**	30.9	27.6	**28.7**	26.7	27.9	**16.1**
その他	5.9	3.3	5.3	5.5	6.7	6.4	4.7	9.4
知らない、わからない	0.0	0.0	1.1	0.8	0.0	2.1	2.0	5.2
不明・無回答	2.9	5.0	1.1	3.1	3.3	8.0	15.6	17.7

図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（年齢別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	駅まで 徒歩3分以内	駅まで 徒歩5分以内	駅まで 徒歩10分以内	駅まで 徒歩20分以内	駅まで 徒歩30分以内	駅まで 徒歩30分 を超える
（件数）	（N= 73）	（N= 91）	（N= 271）	（N= 302）	（N= 136）	（N= 207）
最寄りの駅が遠い	1.4	3.3	3.7	**17.5**	**46.3**	**53.1**
行きたいところに走っていない	2.7	5.5	3.0	3.6	5.9	1.9
運賃が高い	5.5	6.6	6.6	4.6	4.4	5.3
便数が少ない	**15.1**	**16.5**	**16.2**	13.9	12.5	8.7
バスとの乗り継ぎが不便	2.7	3.3	2.2	6.0	12.5	17.4
始発が遅い	2.7	0.0	0.7	1.7	0.7	1.0
最終便が早い	8.2	6.6	7.0	4.3	5.1	6.3
駅の段差・階段が大変	11.0	8.8	10.3	10.3	8.1	7.7
路線や時刻表がわかりにくい	1.4	0.0	3.0	3.0	5.1	2.9
駅に駐車場が少ない	5.5	5.5	12.9	**20.9**	**25.7**	**26.1**
特に不満はない	**35.6**	**26.4**	**24.0**	15.6	7.4	4.8
車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない	**17.8**	**29.7**	**25.1**	**24.5**	**20.6**	**26.6**
その他	8.2	1.1	7.4	7.6	5.1	3.9
知らない、わからない	0.0	3.3	2.2	1.7	0.7	2.4
不明・無回答	8.2	8.8	10.3	9.9	7.4	7.2

図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（最寄り「鉄道駅」までの距離別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	大竹駅	玖波駅
（件数）	（N= 749）	（N= 357）
最寄りの駅が遠い	17.1	**33.1**
行きたいところに走っていない	3.2	3.9
運賃が高い	5.6	4.8
便数が少ない	13.8	12.3
バスとの乗り継ぎが不便	7.2	9.2
始発が遅い	1.1	1.1
最終便が早い	5.6	5.9
駅の段差・階段が大変	7.2	14.0
路線や時刻表がわかりにくい	3.5	1.7
駅に駐車場が少ない	**17.2**	**21.8**
特に不満はない	**18.8**	13.2
車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない	**27.0**	**19.3**
その他	6.4	5.6
知らない、わからない	2.1	1.1
不明・無回答	8.3	8.7

図　鉄道（ＪＲ）の利用しづらい点、利用しない理由（よく利用する駅別）

（２）こいこいバスについて

①こいこいバスの利用頻度

質問３⑵①「こいこいバス」の利用頻度は（１つに○）

○「ほとんど利用しない」が 72.0%で最も多く、次いで「年に数回」が 14.6%となっている。『利用』（「ほぼ毎日」～「年に数回」の合計）している人は 23.7%、『週１回以上』（「ほぼ毎日」と「週に数回」の合計）利用している人は 2.8%にとどまっている。『利用』している割合は、前回調査と同程度となっている。

○『利用』の割合を居住地域別にみると、小方地域が 41.0%で最も高く、次いで、玖波地域が 23.4%となっている。一方、栗谷地域では 7.1%にとどまっている。

○『利用』の割合を年齢別にみると、 80 歳以上では約 33%であるのに対し、20 歳代では約 18%、60 歳代では約 19%となっている。

○『利用』の割合を市内でよく使う移動手段別にみると、こいこいバスをよく使う人では約 94%であるのに対し、自動車(自分で運転)が使える人では約 14%にとどまっている。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 30 分を超える人では月に数回より多く利用している人はいない。

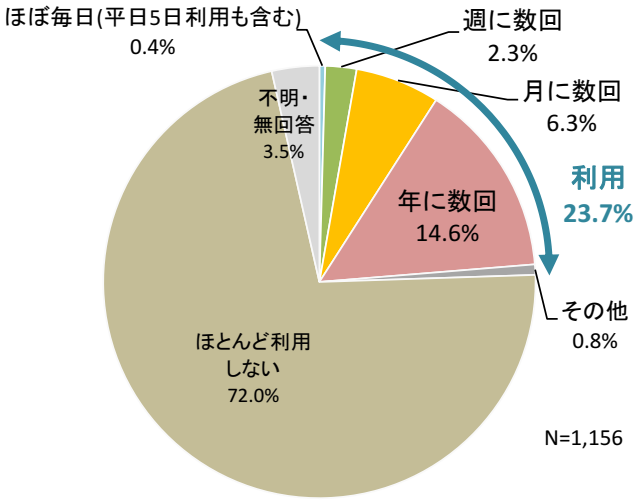


図　こいこいバスの利用頻度

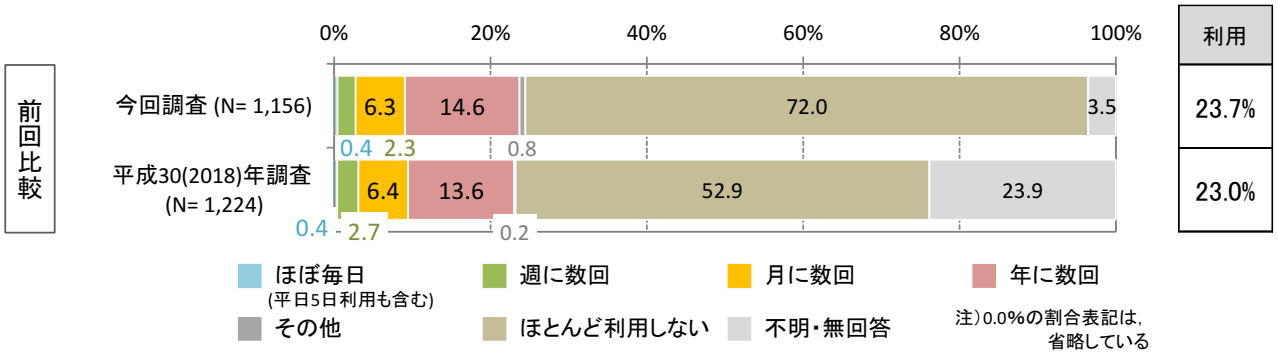


図　こいこいバスの利用頻度［前回比較］

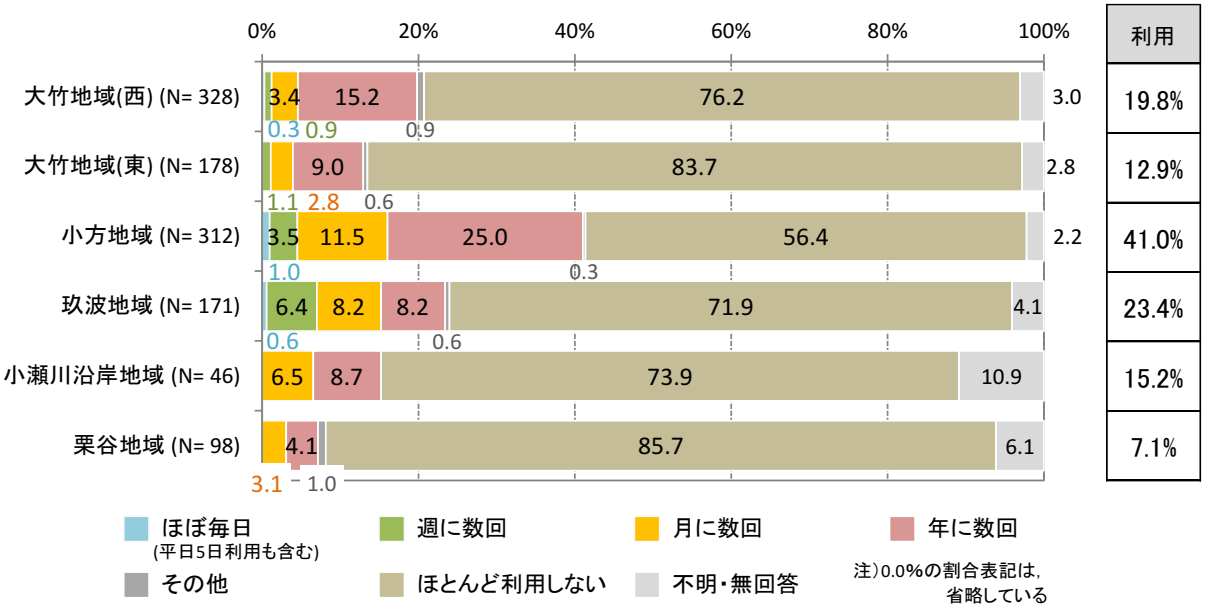


図　こいこいバスの利用頻度（居住地域別）

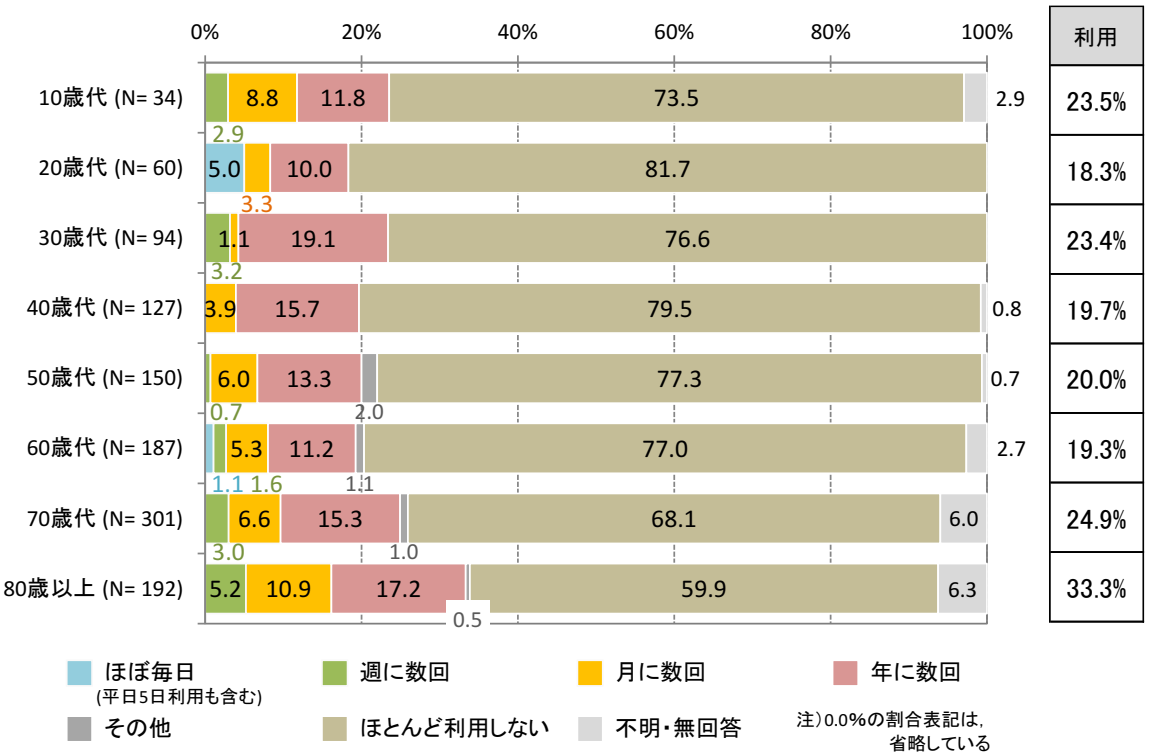


図　こいこいバスの利用頻度（年齢別）

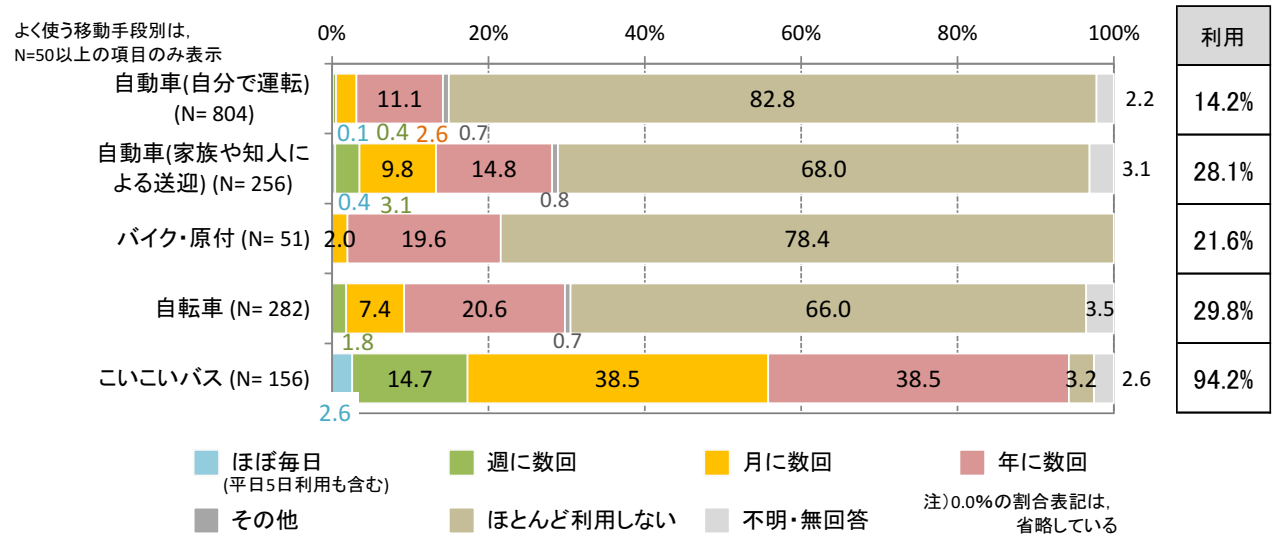


図　こいこいバスの利用頻度（市内でよく使う移動手段別）

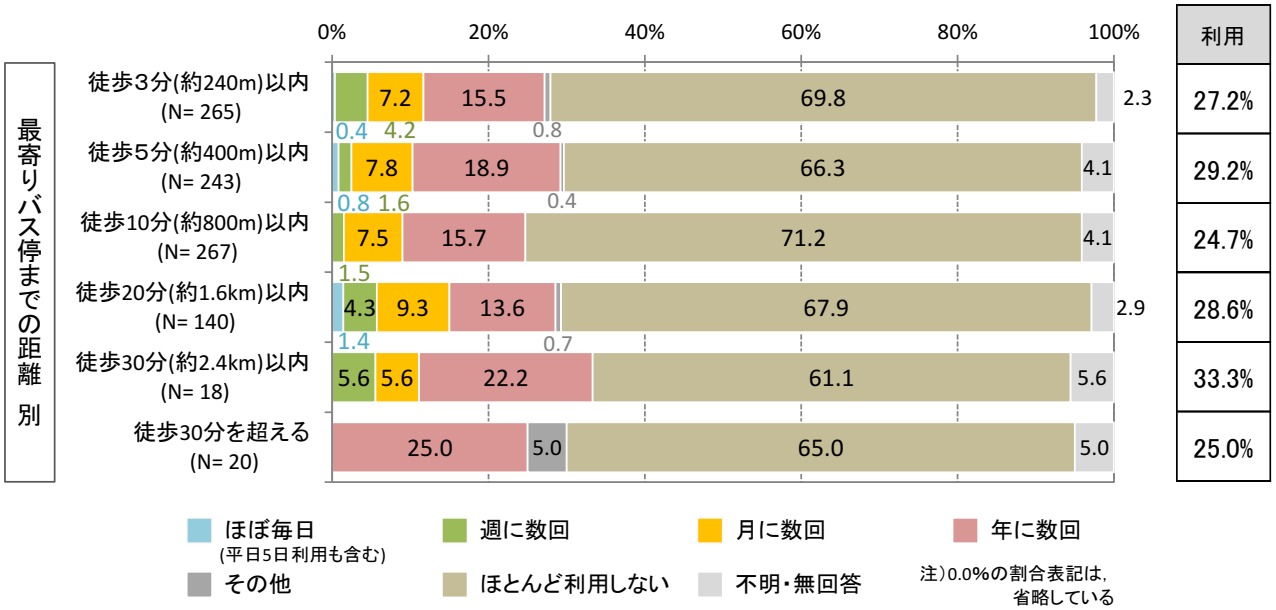


図　こいこいバスの利用頻度（最寄り「バス停」までの距離別）

②こいこいバスの満足度

質問３⑵②「こいこいバス」の満足度は（１つに○）

○「やや満足」が 29.0%で最も多く、「満足」（20.5%）と合わせると『満足』が 49.5%となっている。一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は 17.0%である。前回調査と比べると、『満足』の割合は 3.3 ポイント増加している。

○居住地域別にみると、すべての地域で『満足』が『不満』を上回っている。

○性別にみると、『満足』の割合は、男性 52.0%、女性 48.0%となっている。

○年齢別にみると、すべての年齢で『満足』が『不満』を上回っており、20 歳代では約 67%、80 歳以上では約 59%が『満足』と回答している。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 30 分を超える人を除き、『満足』が『不満』を上回っている。特に、徒歩３分以内では「満足」が約３割を占めており、他の距離と比べてその割合が高い。

○こいこいバスの利用頻度別にみると、ほぼ毎日の人を除き、利用頻度が高いほど『満足』の割合が高い。

※居住地域別の小瀬川沿岸地域、栗谷地域、年齢別の 10 歳代、最寄りバス停までの距離別の徒歩 30 分以内、徒歩 30 分を超える、利用頻度別のほぼ毎日は、母数が 10 件未満と少ないため注意

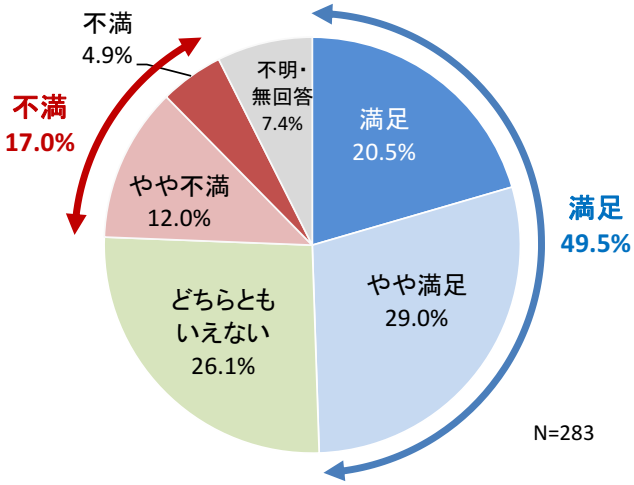
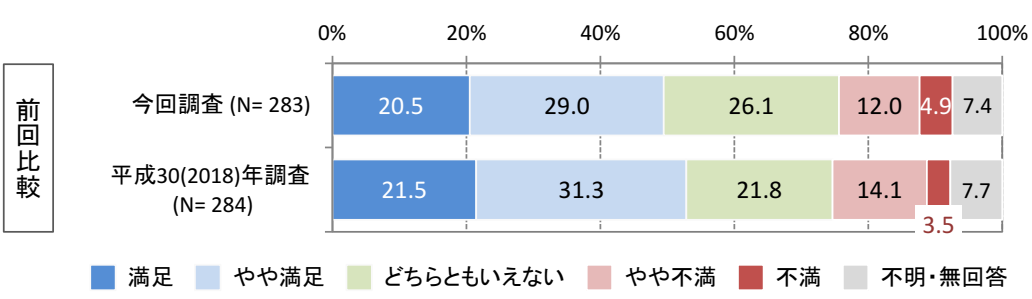
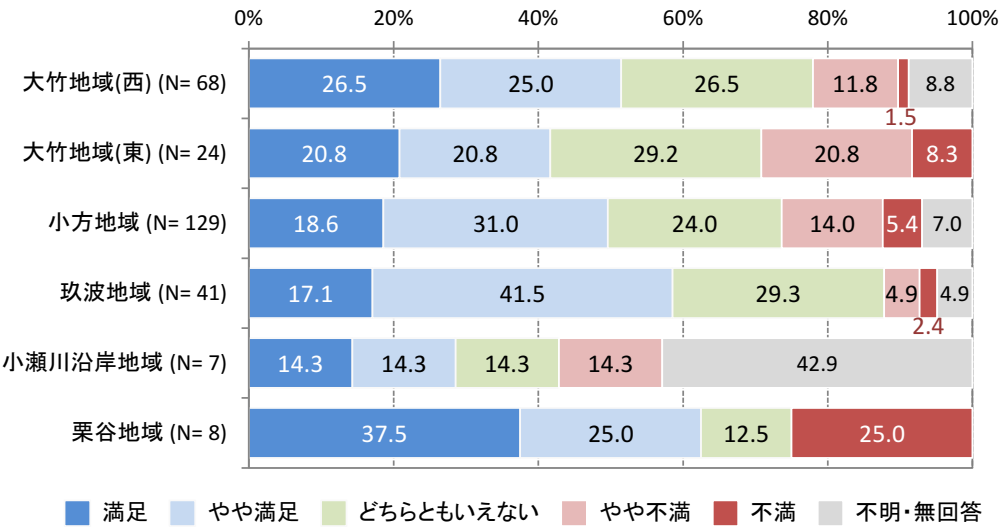


図　こいこいバスの満足度



満足	不満
49.5%	17.0%
52.8%	17.6%

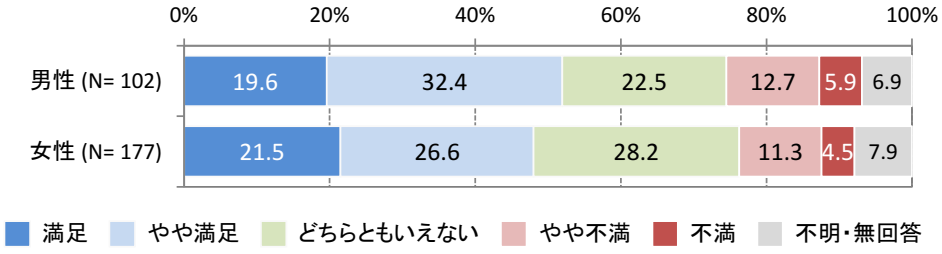
図　こいこいバスの満足度［前回比較］



満足	不満
51.5%	13.2%
41.7%	29.2%
49.6%	19.4%
58.5%	7.3%
28.6%	14.3%
62.5%	25.0%

注）0.0%の割合表記は，省略している

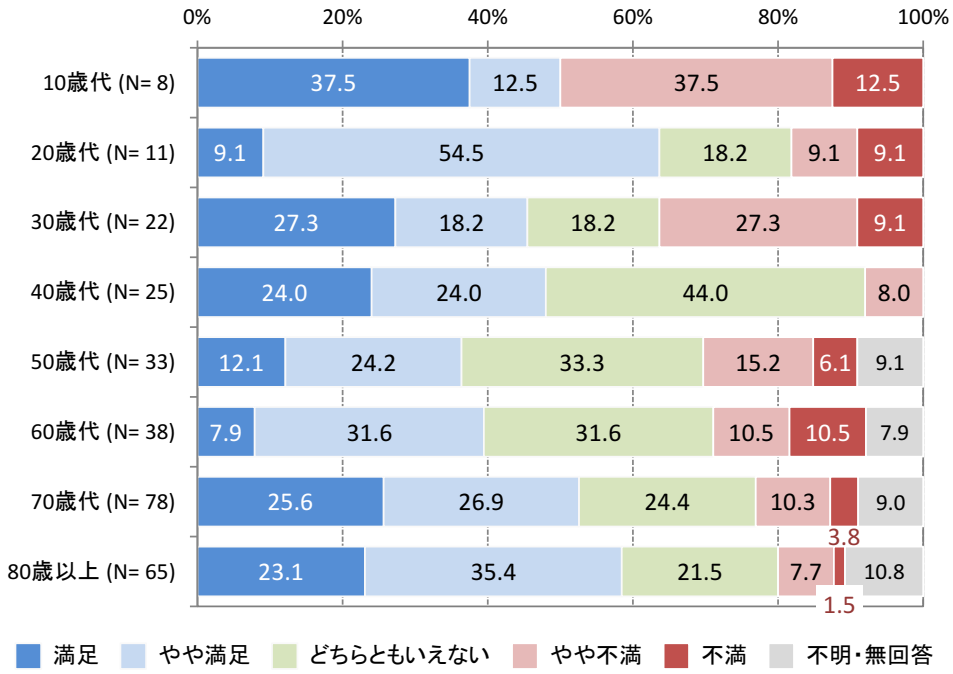
図　こいこいバスの満足度（居住地域別）



満足	不満
52.0%	18.6%
48.0%	15.8%

注）0.0%の割合表記は，省略している

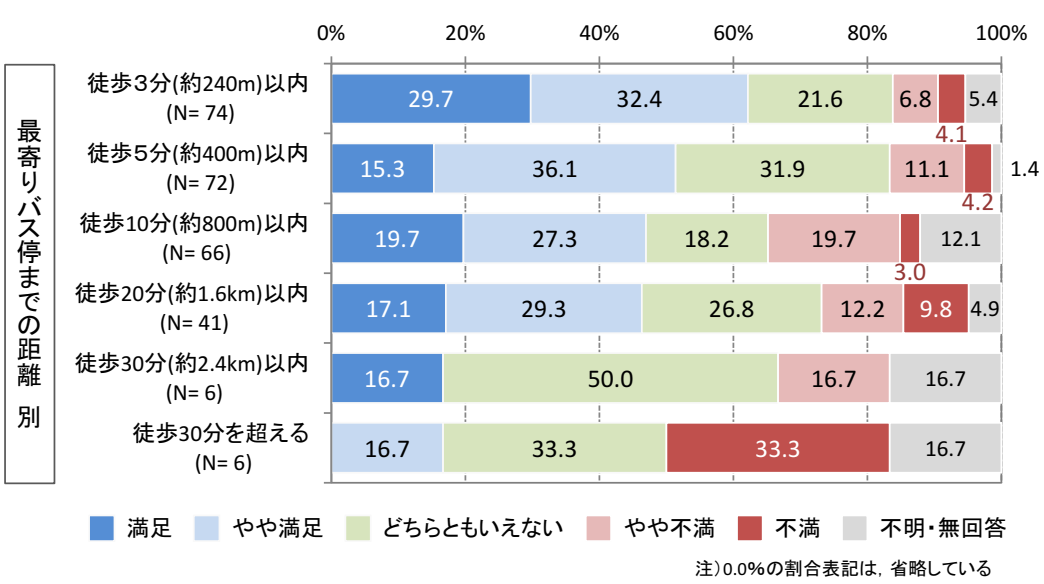
図　こいこいバスの満足度（性別）



満足	不満
50.0%	50.0%
63.6%	18.2%
45.5%	36.4%
48.0%	8.0%
36.4%	21.2%
39.5%	21.1%
52.6%	14.1%
58.5%	9.2%

注）0.0%の割合表記は，省略している

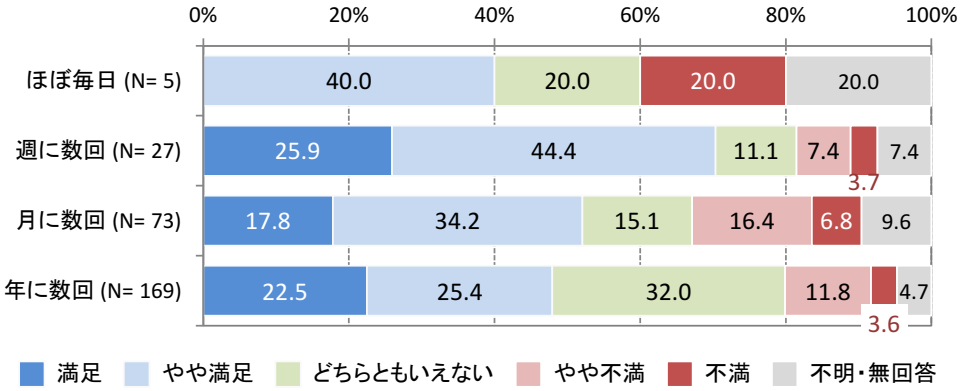
図　こいこいバスの満足度（年齢別）



満足	不満
62.2%	10.8%
51.4%	15.3%
47.0%	22.7%
46.3%	22.0%
16.7%	16.7%
16.7%	33.3%

注）0.0%の割合表記は，省略している

図　こいこいバスの満足度（最寄り「バス停」までの距離別）



満足	不満
40.0%	20.0%
70.4%	11.1%
52.1%	23.3%
47.9%	15.4%

注）0.0%の割合表記は，省略している

図　こいこいバスの満足度（こいこいバスの利用頻度別）

③こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由（複数回答）

質問３⑵③「こいこいバス」の利用しづらい点、利用しない理由を教えてください（いくつでも）

○「車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない」が 51.1%で最も多く、以下「最寄りのバス停が遠い」（16.3%）、「便数が少ない」（15.1%）と続いている。

○居住地域別にみると、すべての地域で「車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない」が最も多く、次いで、小方地域と小瀬川沿岸地域では「便数が少ない」、他の地域では「最寄りのバス停が遠い」となっている。

○性別にみると、男女ともに「車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない」が最も多く、次いで「最寄りのバス停が遠い」となっている。

○年齢別にみると、すべての年齢で「車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない」が最も多くなっている。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 20 分以内～徒歩 30 分を超える人では「最寄りのバス停が遠い」が最も多くなっており、特に、徒歩 30 分以内の人では約 56%、徒歩 30 分を超える人では 65%と過半数を占めている。一方、徒歩 10 分より近い人では「車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない」が最も多くなっている。

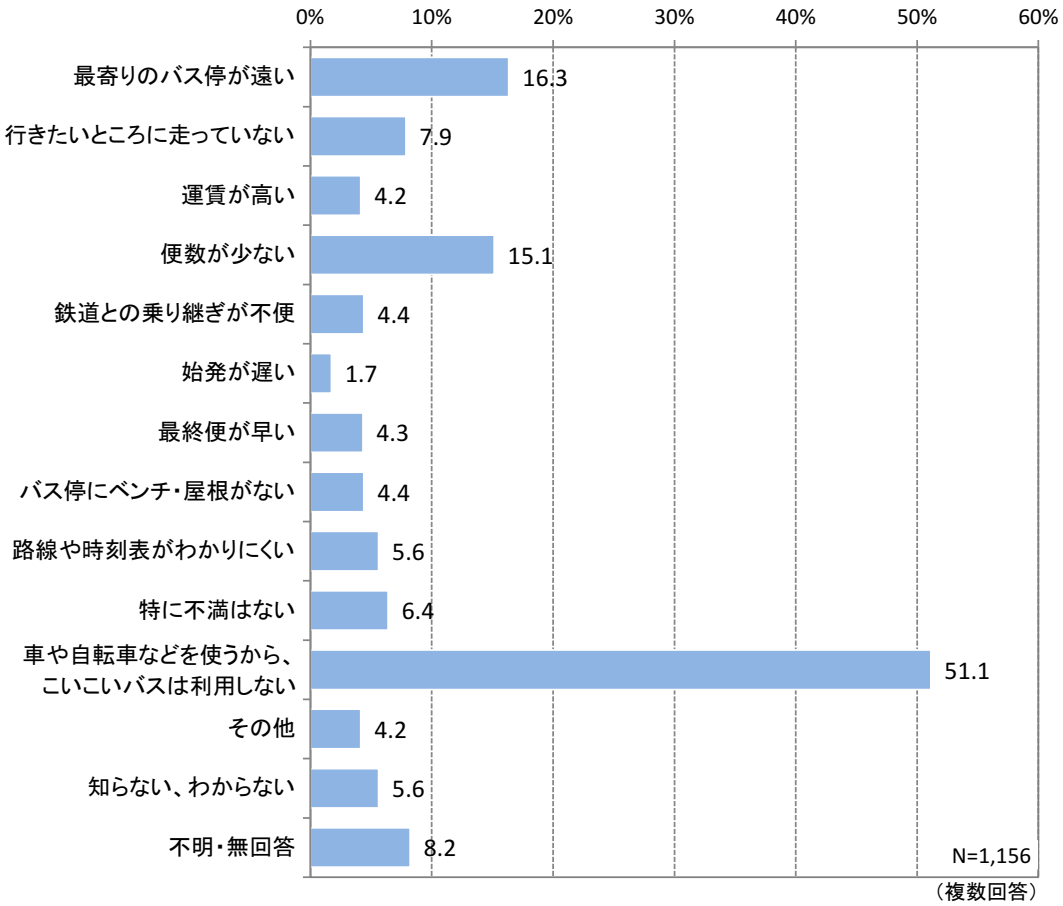


図　こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	大竹地域(西)	大竹地域(東)	小方地域	玖波地域	小瀬川 沿岸地域	栗谷地域
（件数）	（N= 328）	（N= 178）	（N= 312）	（N= 171）	（N= 46）	（N= 98）
最寄りのバス停が遠い	**14.6**	**15.2**	**15.1**	**21.6**	8.7	**24.5**
行きたいところに走っていない	8.2	7.3	7.4	7.6	**10.9**	**8.2**
運賃が高い	3.4	2.2	4.8	5.3	4.3	7.1
便数が少ない	**14.0**	**9.0**	**20.5**	**15.8**	**19.6**	**8.2**
鉄道との乗り継ぎが不便	0.6	1.1	12.5	2.9	0.0	2.0
始発が遅い	0.6	0.0	5.4	0.6	0.0	0.0
最終便が早い	2.4	1.1	10.6	1.8	2.2	1.0
バス停にベンチ・屋根がない	2.7	1.7	7.4	7.6	2.2	2.0
路線や時刻表がわかりにくい	5.8	6.7	5.4	7.0	6.5	1.0
特に不満はない	7.6	7.9	6.1	5.8	2.2	4.1
車や自転車などを使うから、利用しない	**55.5**	**59.0**	**38.8**	**52.0**	**56.5**	**57.1**
その他	4.0	3.9	3.5	4.7	6.5	4.1
知らない、わからない	6.1	11.2	3.5	3.5	2.2	5.1
不明・無回答	7.3	4.5	11.2	6.4	10.9	10.2

図　こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由（居住地域別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	男性	女性
（件数）	（N= 526）	（N= 609）
最寄りのバス停が遠い	**14.3**	**18.1**
行きたいところに走っていない	7.6	8.4
運賃が高い	4.2	3.9
便数が少ない	**12.9**	**17.1**
鉄道との乗り継ぎが不便	4.0	4.8
始発が遅い	1.3	2.0
最終便が早い	4.2	4.4
バス停にベンチ・屋根がない	3.2	5.6
路線や時刻表がわかりにくい	5.5	5.6
特に不満はない	6.7	6.2
車や自転車などを使うから、利用しない	55.1	47.8
その他	3.6	4.8
知らない、わからない	5.7	5.4
不明・無回答	7.4	9.0

図　こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由（性別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
（件数）	（N= 34）	（N= 60）	（N= 94）	（N= 127）	（N= 150）	（N= 187）	（N= 301）	（N= 192）
最寄りのバス停が遠い	2.9	**20.0**	**14.9**	**18.1**	**20.7**	**17.1**	**15.9**	**14.6**
行きたいところに走っていない	5.9	8.3	10.6	9.4	9.3	7.0	7.6	6.3
運賃が高い	0.0	0.0	2.1	2.4	2.7	3.2	7.0	6.3
便数が少ない	**14.7**	**21.7**	**22.3**	**14.2**	**16.7**	**17.1**	**13.3**	**10.9**
鉄道との乗り継ぎが不便	0.0	10.0	3.2	2.4	9.3	4.3	3.7	3.1
始発が遅い	0.0	1.7	2.1	0.8	4.7	2.1	1.0	1.0
最終便が早い	0.0	6.7	8.5	3.9	7.3	6.4	2.0	2.1
バス停にベンチ・屋根がない	0.0	3.3	4.3	1.6	4.7	5.9	5.0	5.2
路線や時刻表がわかりにくい	5.9	5.0	5.3	7.9	4.0	4.8	7.0	4.7
特に不満はない	**14.7**	11.7	8.5	4.7	4.7	4.3	5.6	7.3
車や自転車などを使うから、利用しない	44.1	41.7	52.1	61.4	56.0	53.5	53.2	39.1
その他	8.8	5.0	4.3	2.4	6.0	3.2	3.0	5.7
知らない、わからない	5.9	10.0	10.6	7.9	2.0	7.0	2.0	7.3
不明・無回答	5.9	0.0	2.1	2.4	2.7	10.2	10.0	16.7

図　こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由（年齢別）

単位：%

（複数回答） ※**太字**は上位3つ、 赤字は最上位	バス停まで徒歩3分以内	バス停まで徒歩5分以内	バス停まで徒歩10分以内	バス停まで徒歩20分以内	バス停まで徒歩30分以内	バス停まで徒歩30分を超える
（件数）	（N= 265）	（N= 243）	（N= 267）	（N= 140）	（N= 18）	（N= 20）
最寄りのバス停が遠い	6.0	6.6	**19.5**	41.4	55.6	65.0
行きたいところに走っていない	**9.4**	8.2	6.7	8.6	5.6	15.0
運賃が高い	4.9	4.5	4.9	3.6	5.6	0.0
便数が少ない	**18.9**	**14.4**	**16.5**	**16.4**	**16.7**	**20.0**
鉄道との乗り継ぎが不便	7.9	6.6	2.6	2.1	5.6	0.0
始発が遅い	2.3	2.5	2.6	0.0	0.0	0.0
最終便が早い	5.7	6.2	4.9	2.9	0.0	0.0
バス停にベンチ・屋根がない	3.0	4.5	6.0	7.9	5.6	0.0
路線や時刻表がわかりにくい	4.5	5.3	6.4	5.0	11.1	5.0
特に不満はない	6.8	**8.6**	7.5	3.6	0.0	5.0
車や自転車などを使うから、利用しない	57.0	50.2	52.8	**37.9**	**27.8**	**30.0**
その他	4.2	2.9	3.7	6.4	11.1	0.0
知らない、わからない	2.6	4.5	3.7	3.6	0.0	0.0
不明・無回答	8.3	9.9	7.9	6.4	16.7	5.0

図　こいこいバスの利用しづらい点、利用しない理由（最寄り「バス停」までの距離別）

（３）その他の公共交通について

①利用したことがあるその他の公共交通手段

質問３(3)①利用したことがある手段は（回数が多いもの、１つだけに○）

○「全く利用したことない」が 71.3%を占めている。いずれかの交通手段を『利用』したことがある割合（「路線バス　大竹・栗谷線」～「あじさいタクシー(御園台)」の合計）は 15.2%で、そのうち「路線バス大竹・栗谷線」が 8.6%、「路線バス　坂上線」が 4.2%となっている。

○『利用』の割合を居住地域別にみると、小瀬川沿岸地域が 52.2%で最も多く、次いで、栗谷地域が 38.8%となっている。一方、大竹地域(東)（3.9%）では１割未満にとどまっている。

○『利用』の割合を年齢別にみると、80 歳以上が 22.9%で最も多く、以下、20 歳代（16.7%）、70 歳代（15.9%）と続いている。一方、10 歳代と 40 歳代では１割未満にとどまっている。

○『利用』の割合を自宅から最寄り駅までの距離別にみると、徒歩 30 分を超える人では 29.0%であるのに対し、徒歩 10 分より近い人では１割未満にとどまっている。

○『利用』の割合を自宅からバス停までの距離別にみると、徒歩 30 分を超える人が 30.0%、次いで、徒歩３分以内の人が 25.7%となっている。

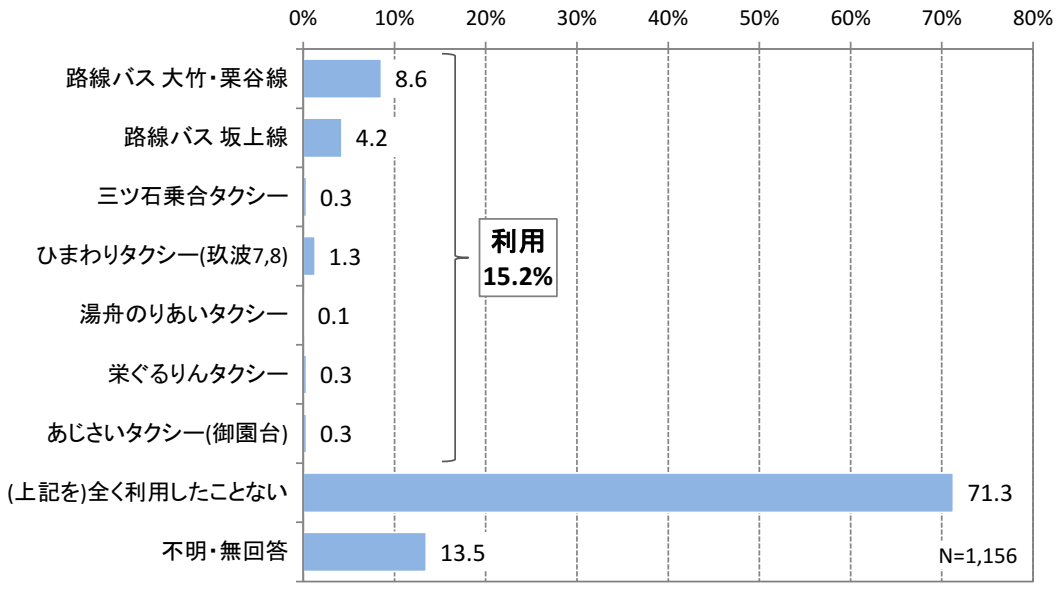
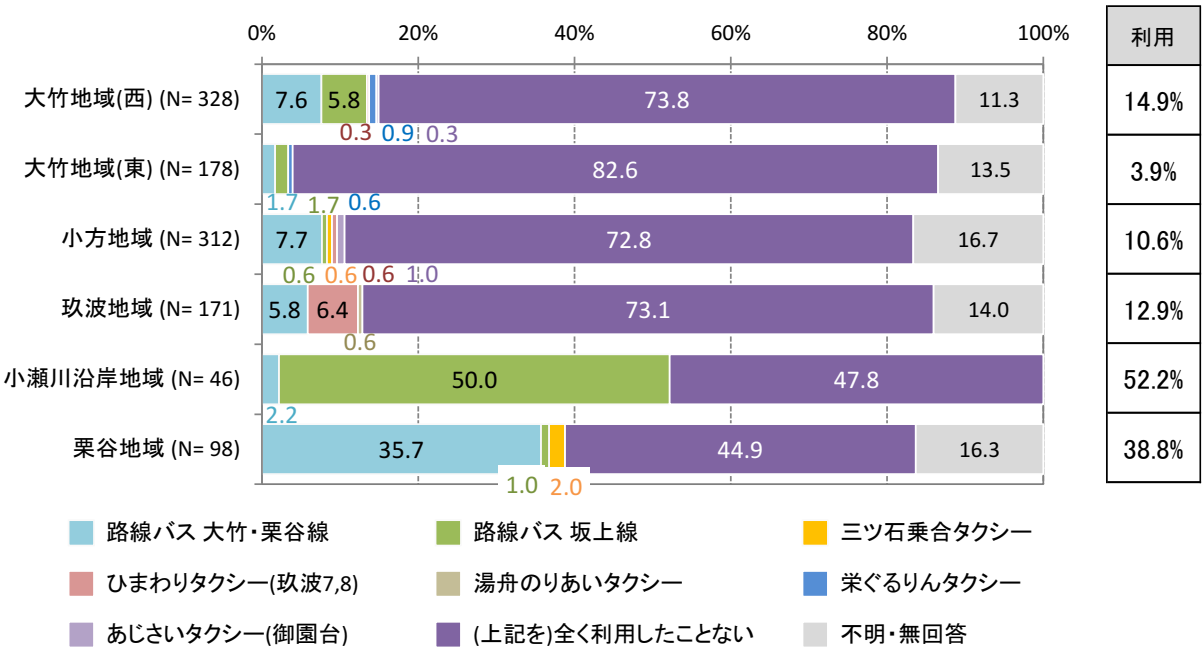
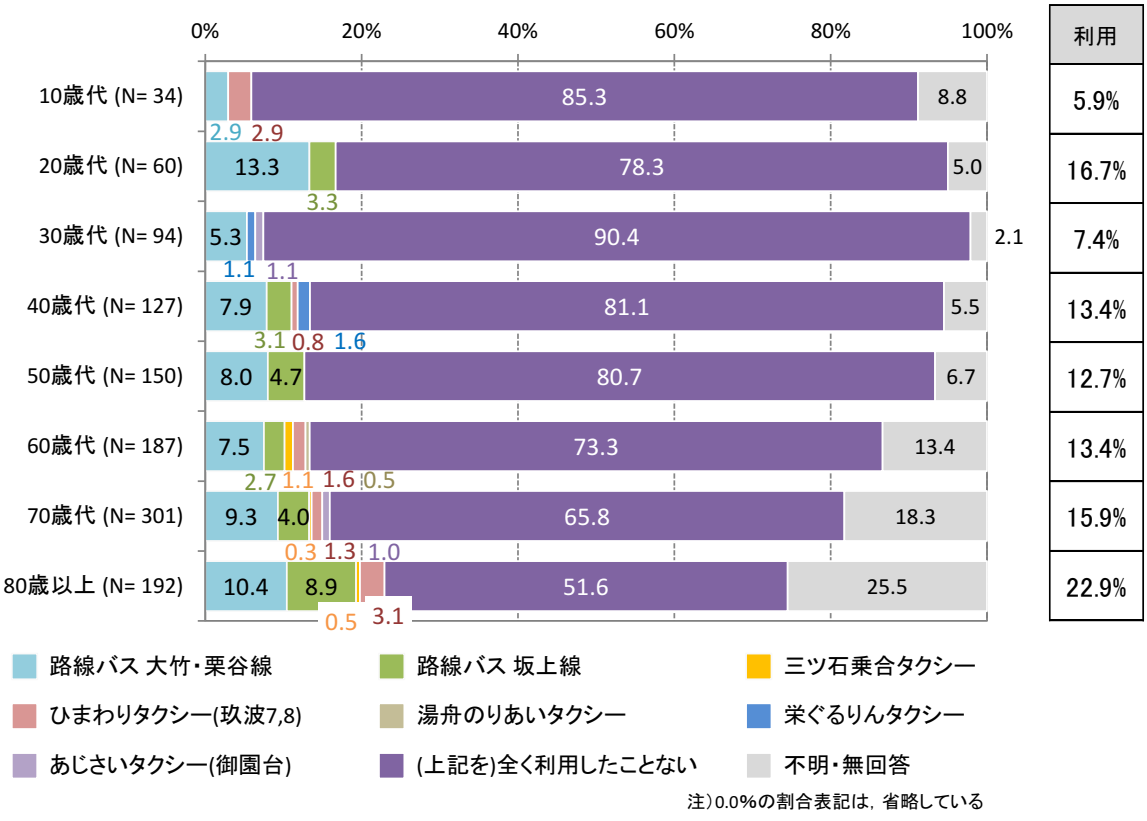


図　利用したことがあるその他の公共交通手段



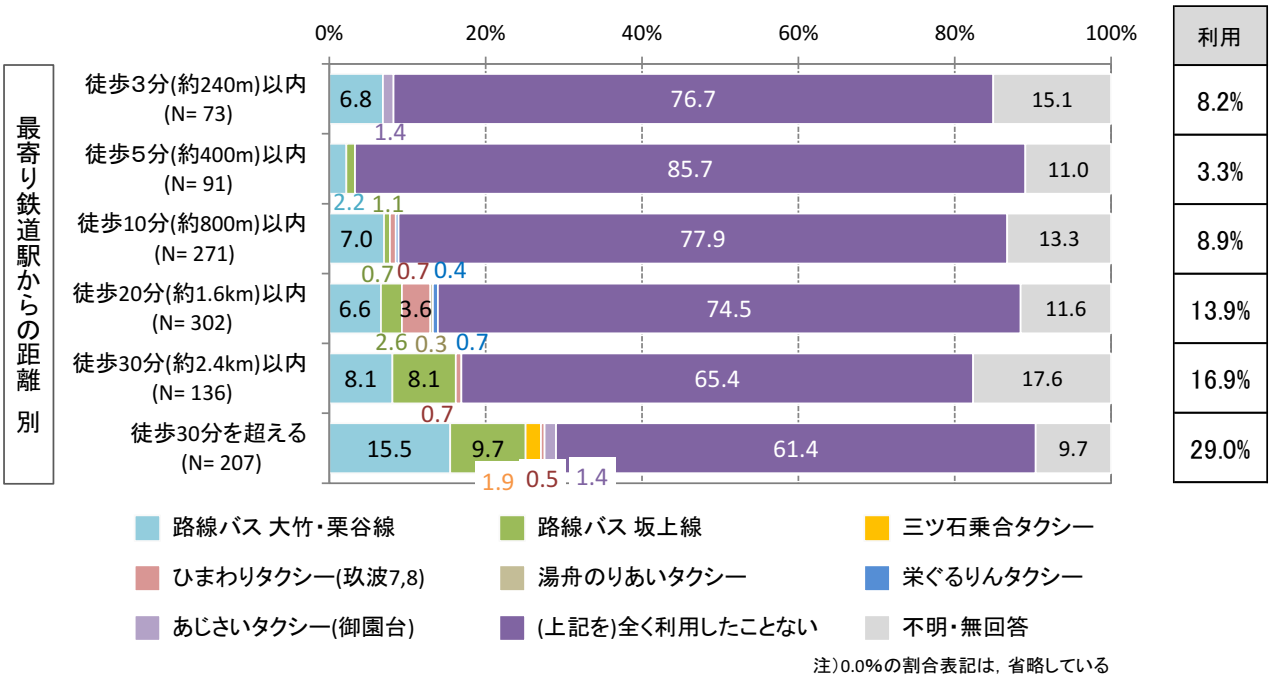
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　利用したことがあるその他の公共交通手段（居住地域別）



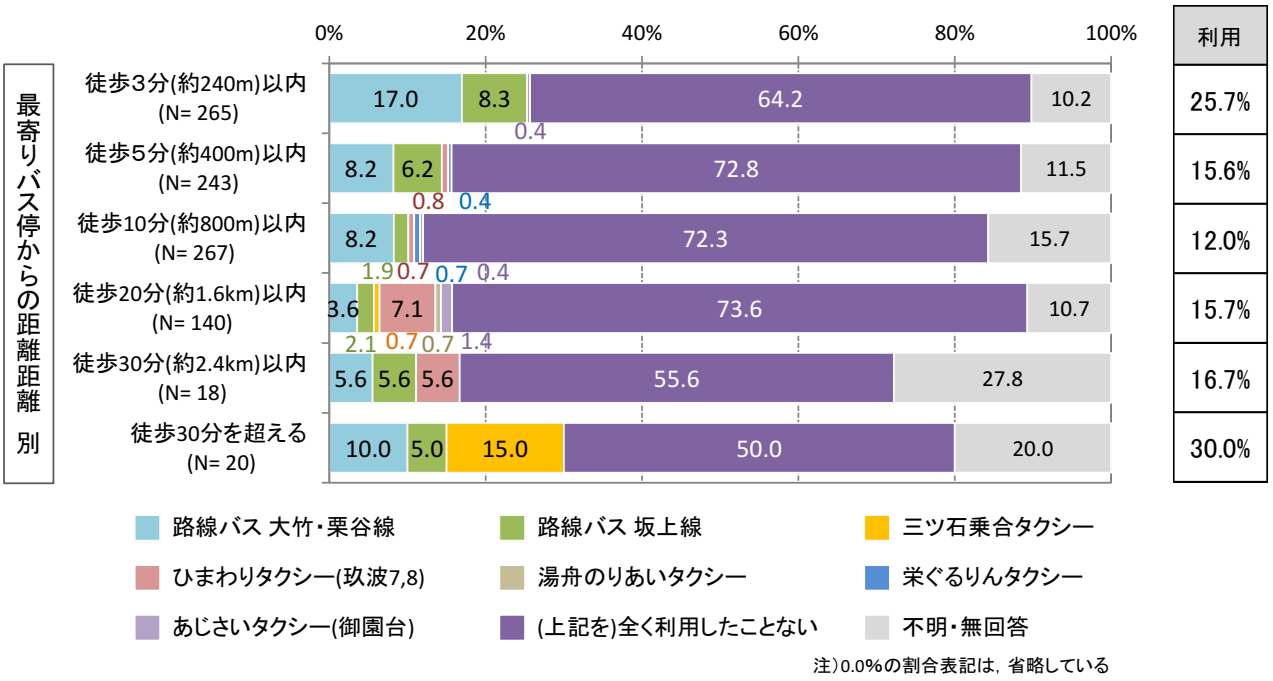
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　利用したことがあるその他の公共交通手段（年齢別）



注)0.0%の割合表記は，省略している

図　利用したことがあるその他の公共交通手段（最寄り「鉄道駅」までの距離別）



注)0.0%の割合表記は，省略している

図　利用したことがあるその他の公共交通手段（最寄り「バス停」までの距離別）

②その他の公共交通手段の利用頻度

質問３ (3)②その手段の利用頻度は（１つに○）

○「ほとんど利用しない」が 45.5%で最も多く、次いで「年に数回」が 30.1%となっている。『利用』（「ほぼ毎日」～「年に数回」の合計）している人が 51.1%を占めているが、『週１回以上』（「ほぼ毎日」と「週に数回」の合計）利用している人は 5.6%にとどまっている。前回調査と比べると、『利用』している人の割合は 3.7 ポイント減少している。

○利用したことがある交通手段別にみると、『利用』の割合は、路線バス 坂上線では 61.2%、路線バス 大竹・栗谷線では 39.4%となっている。

※利用したことがある交通手段別は、母数が 20 件以上の項目のみ示している。

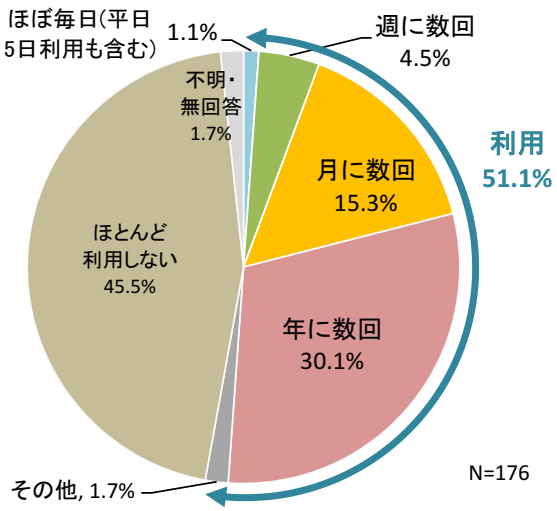


図　その他の公共交通手段の利用頻度

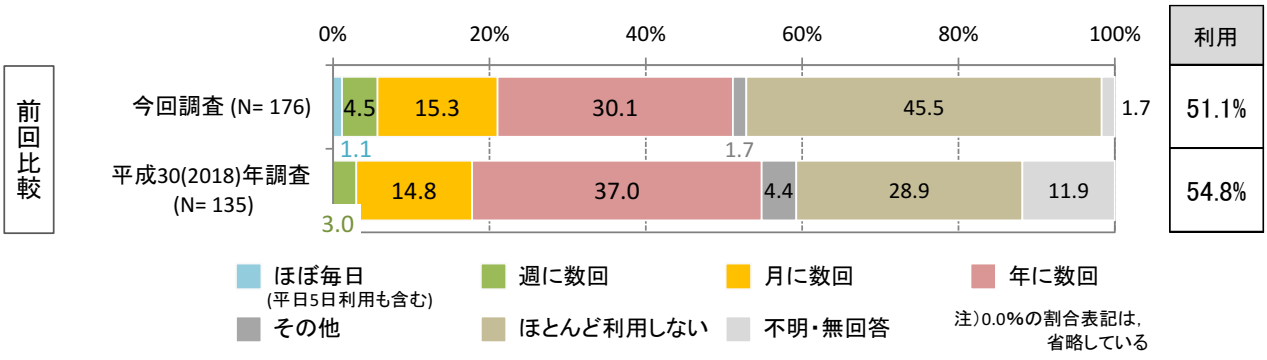


図　その他の公共交通手段の利用頻度［前回比較］

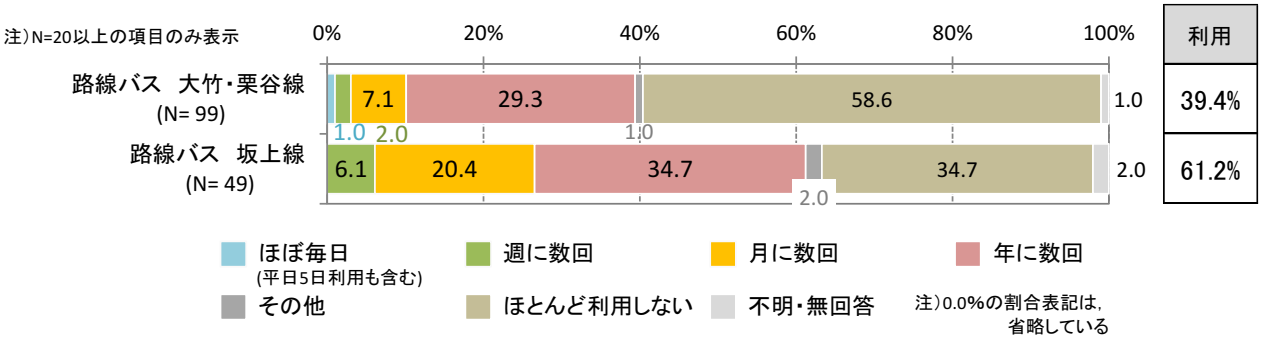


図　その他の公共交通手段の利用頻度（利用したことがある交通手段別）

③その他の公共交通手段の満足度

質問３⑶③その手段の満足度は（１つに○）

○「どちらともいえない」が 23.7%で最も多くなっている。『満足』（「やや満足」と「満足」の合計）は 35.5%、一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は 32.3%である。前回調査と比べると、『満足』の割合が 2.0 ポイント減少し、4.8 ポイント増加している。

○利用したことがある交通手段別にみると、路線バス 大竹・栗谷線では『満足』（47.5%）が『不満』（25.0%）を上回っている一方で、路線バス 坂上線では『不満』（51.6%）が『満足』（12.9%）を大きく上回っている。

※利用したことがある交通手段別は、母数が 20 件以上の項目のみ示している。

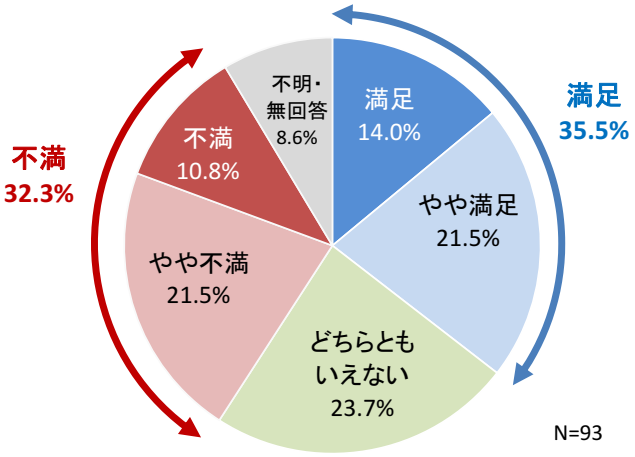
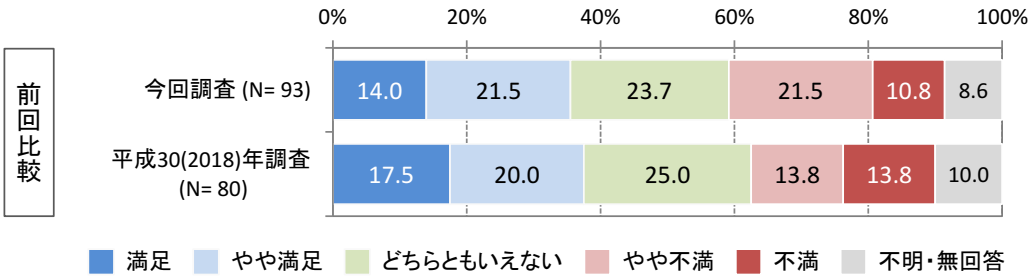
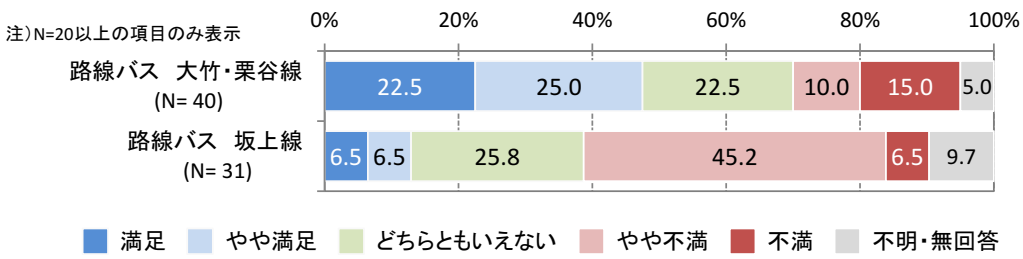


図　その他の公共交通手段の満足度



満足	不満
35.5%	32.3%
37.5%	27.5%

図　その他の公共交通手段の満足度［前回比較］



満足	不満
47.5%	25.0%
12.9%	51.6%

図　その他の公共交通手段の満足度（利用したことがある交通手段別）

④その他の公共交通手段の利用しづらい点、利用しない理由（複数回答）

質問３⑶④その手段が利用しづらい点を教えてください（いくつでも）

○「車や自転車を使うからバス等は利用しない」が 34.1％で最も多く、次いで「便数が少ない」が 32.4％となっている。

○利用したことがある交通手段別にみると、路線バス 大竹・栗谷線では「車や自転車を使うからバス等は利用しない」（43.4％）、路線バス 坂上線では「便数が少ない」（57.1％）が最も多くなっている。

※利用したことがある交通手段別は、母数が 20 件以上の項目のみ示している。

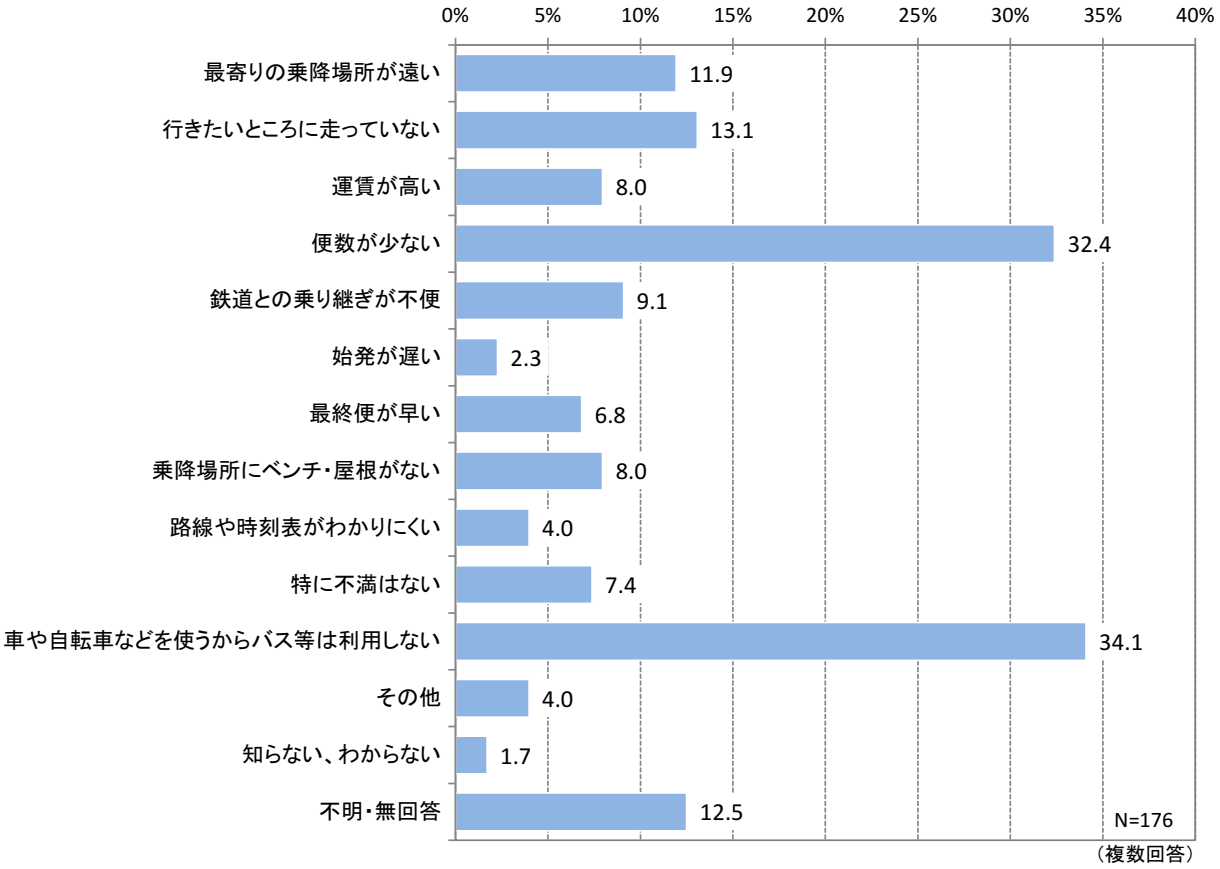


図　その他の公共交通手段の利用しづらい点、利用しない理由

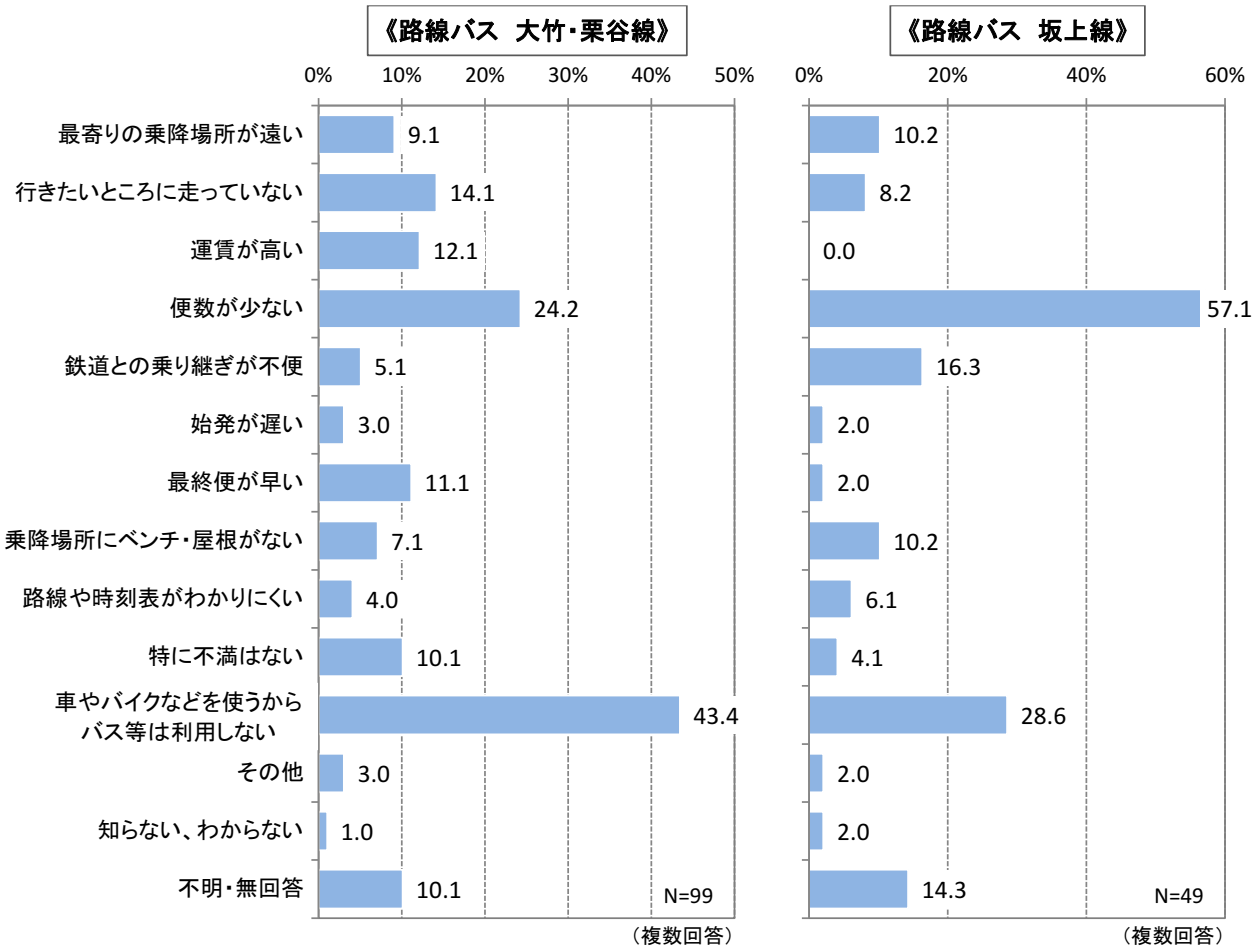


図　その他の公共交通手段の利用しづらい点、利用しない理由（利用したことがある交通手段別）

質問４　暮らしにおける移動環境の満足度について

①普段の暮らしの移動環境の満足度

質問４①普段の暮らしの移動環境（マイカー、公共交通の利用のしやすさ）に関して、満足していますか。
（１つに○）

○「満足」が 29.3%で最も多く、「やや満足」（27.9%）と合わせると『満足』が 57.2%となっている。一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は 15.2%である。前回調査と比べると、『満足』が 1.9 ポイント増加しているが、『不満』も 3.3 ポイント増加している。

○居住地域別にみると、すべての地域で『満足』が『不満』を上回っており、『満足』の割合が最も高いのは大竹地域(東)（65.7%）となっている。一方、『不満』の割合が最も高いのは小瀬川沿岸地域（23.9%）である。

○性別にみると、『満足』の割合は、男性 59.1%、女性 56.2%となっている。

○年齢別にみると、すべての年齢で『満足』が『不満』を上回っており、『満足』の割合は、40 歳代(66.1%)と 20 歳代（61.7%）で６割以上となっている。一方、『不満』の割合は、30 歳代で 21.3%となっており、他の年代と比べて不満の割合がやや高い。

○運転免許の保有状況別にみると、『満足』の割合は、自動車運転免許があり、適度に運転する人が 64.1%で最も高くなっている。一方、『不満』の割合は、自動車運転免許があるが、ほとんど運転しない人（25.0%）で最も高くなっている。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、距離が近いほど『満足』の割合が高く、徒歩３分以内では 76.7%であるのに対し、徒歩 30 分を超える人では 45.9%と低くなっている。

○最寄りバス停までの距離別にみると、『満足』の割合は、徒歩３分以内（61.1%）と徒歩５分以内（62.6%）では６割台であるのに対し、20 分以内では 43.6%と低くなっている。

○市内でよく使う移動手段別にみると、『満足』の割合は、自動車(自分で運転)する人では 63.7%であるのに対し、こいこいバスの人では 42.9%と低くなっている。自分で自動車を運転する人では『満足』の割合が６割以上と高いが、自分では運転できないが自家用車で送迎あり、自動車以外の自力手段あり、公共交通のみ、自由に使える手段はないの順で『満足』の割合は低くなっており、自由度が低いほど移動の満足度が低いことがうかがえる。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

※不満の内容（自由記述）は整理作業中

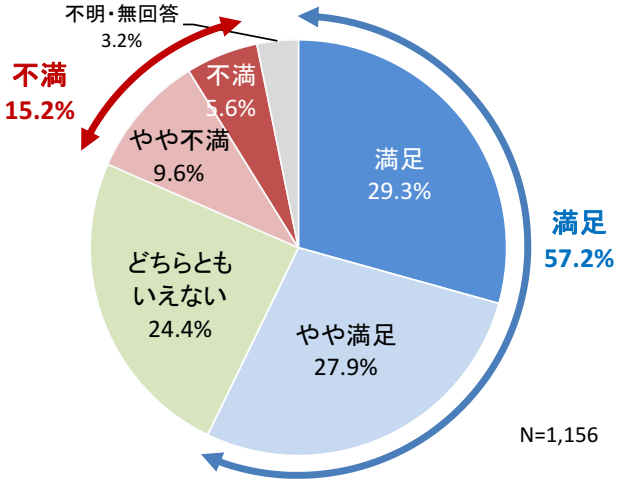
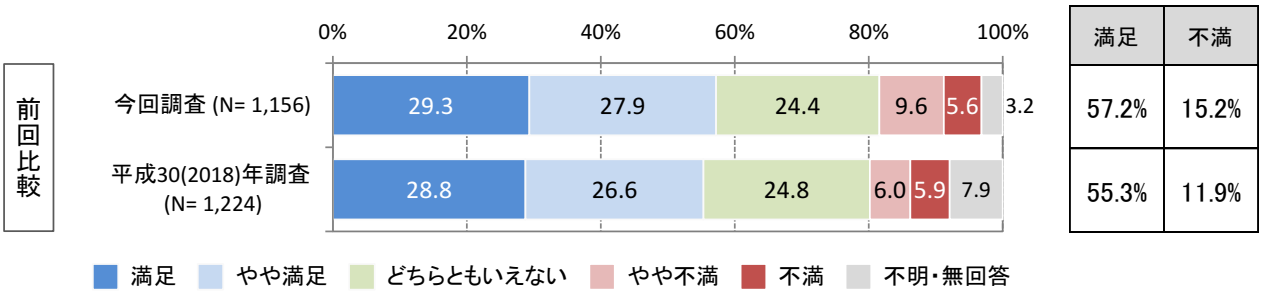
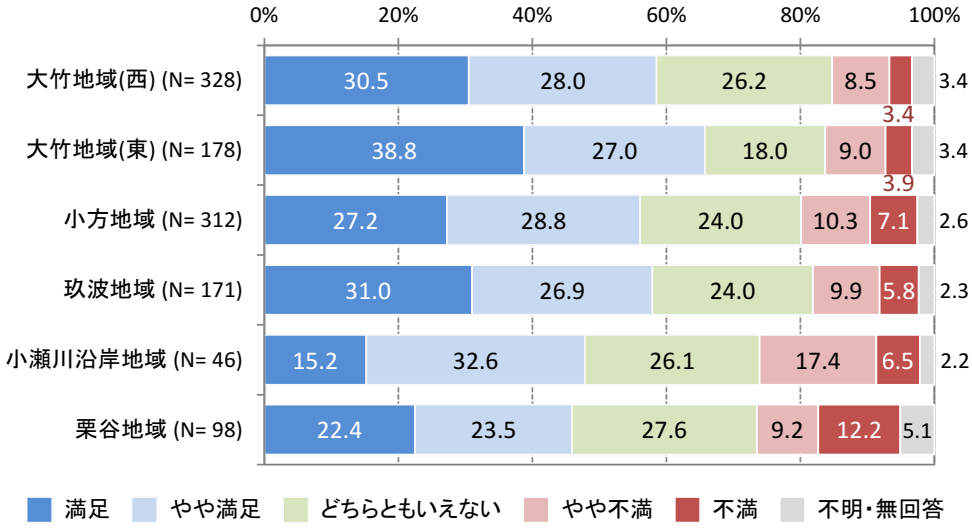


図　暮らしにおける移動環境の満足度



満足	不満
57.2%	15.2%
55.3%	11.9%

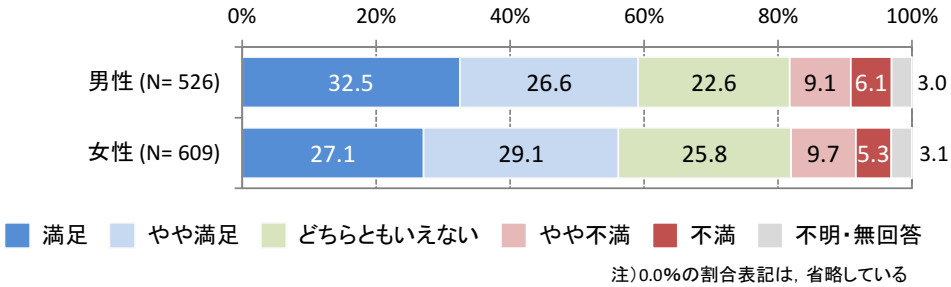
図　暮らしにおける移動環境の満足度［前回比較］



満足	不満
58.5%	11.9%
65.7%	12.9%
56.1%	17.3%
57.9%	15.8%
47.8%	23.9%
45.9%	21.4%

注）0.0%の割合表記は，省略している

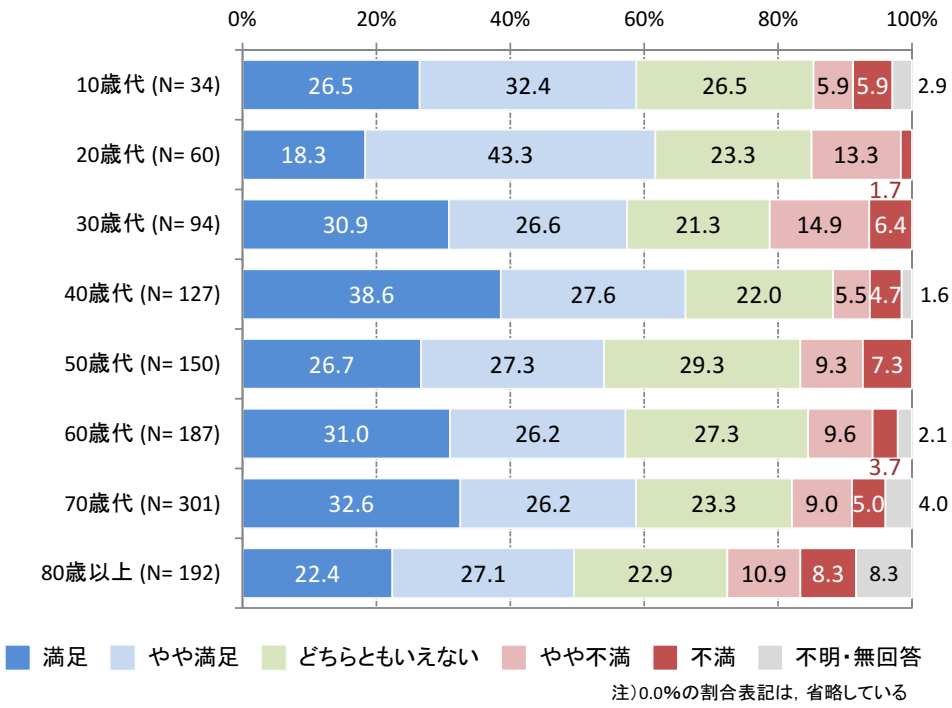
図　暮らしにおける移動環境の満足度（居住地域別）



満足	不満
59.1%	15.2%
56.2%	14.9%

注）0.0%の割合表記は，省略している

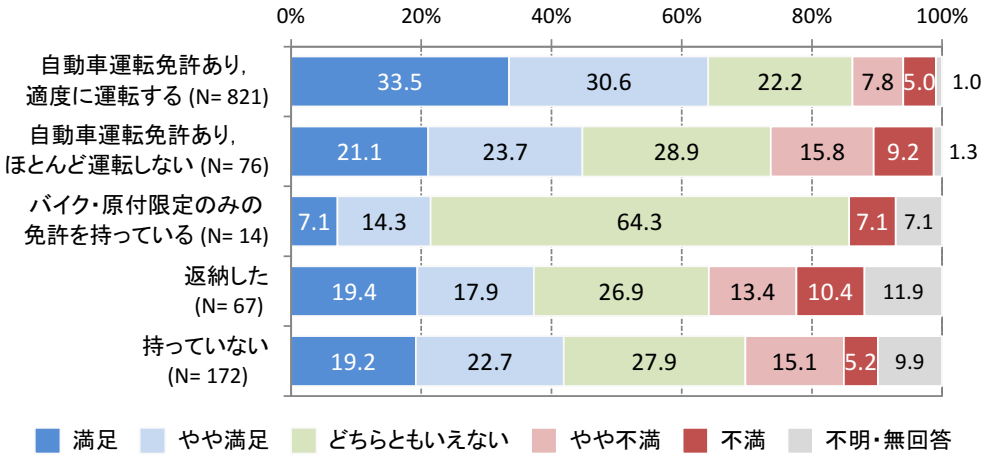
図　暮らしにおける移動環境の満足度（性別）



満足	不満
58.8%	11.8%
61.7%	15.0%
57.4%	21.3%
66.1%	10.2%
54.0%	16.7%
57.2%	13.4%
58.8%	14.0%
49.5%	19.3%

注）0.0%の割合表記は，省略している

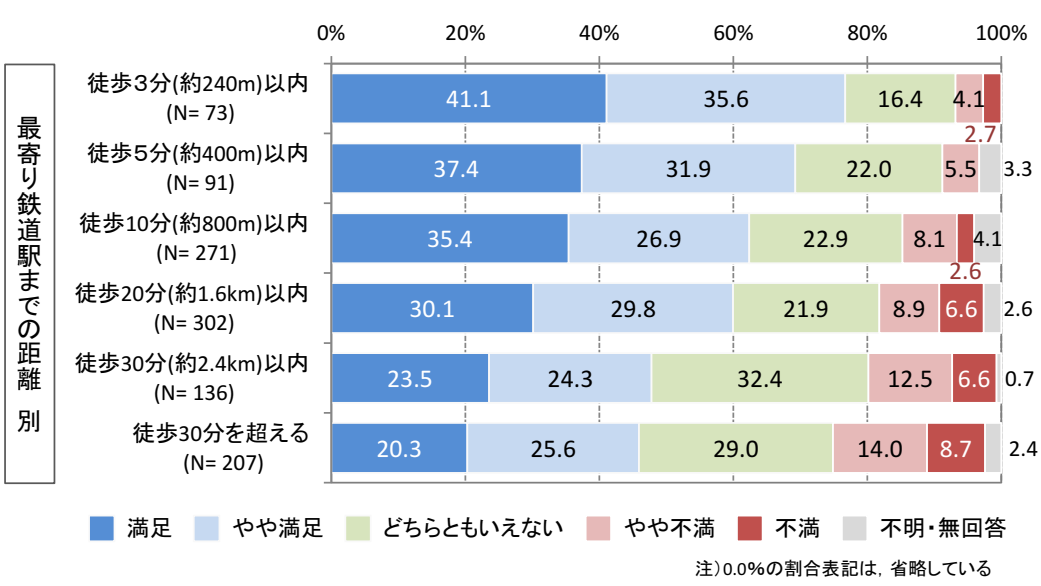
図　暮らしにおける移動環境の満足度（年齢別）



満足	不満
64.1%	12.8%
44.7%	25.0%
21.4%	7.1%
37.3%	23.9%
41.9%	20.3%

注）0.0%の割合表記は，省略している

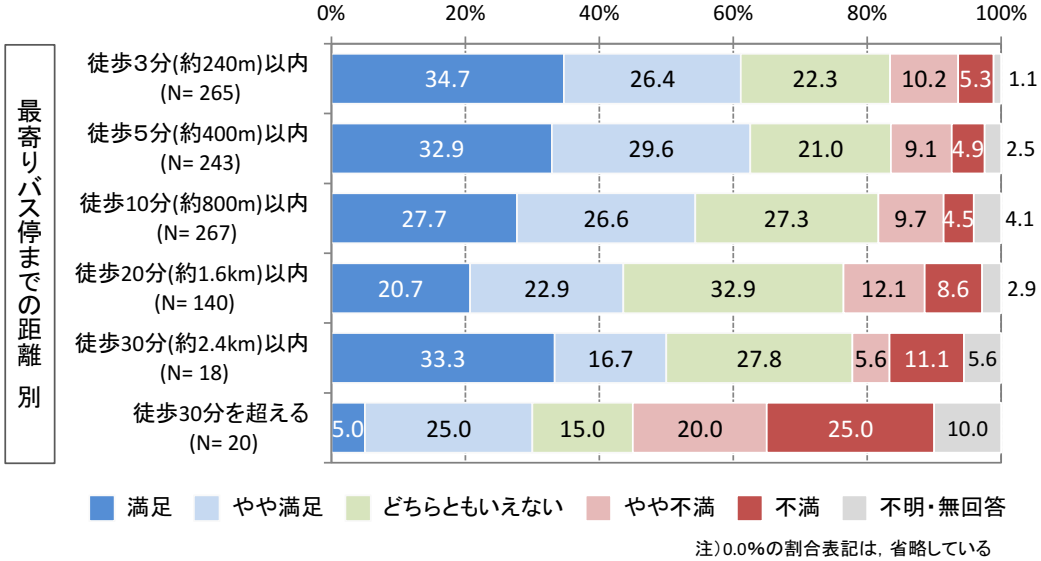
図　暮らしにおける移動環境の満足度（運転免許の保有状況別）



満足	不満
76.7%	6.8%
69.2%	5.5%
62.4%	10.7%
59.9%	15.6%
47.8%	19.1%
45.9%	22.7%

注）0.0%の割合表記は，省略している

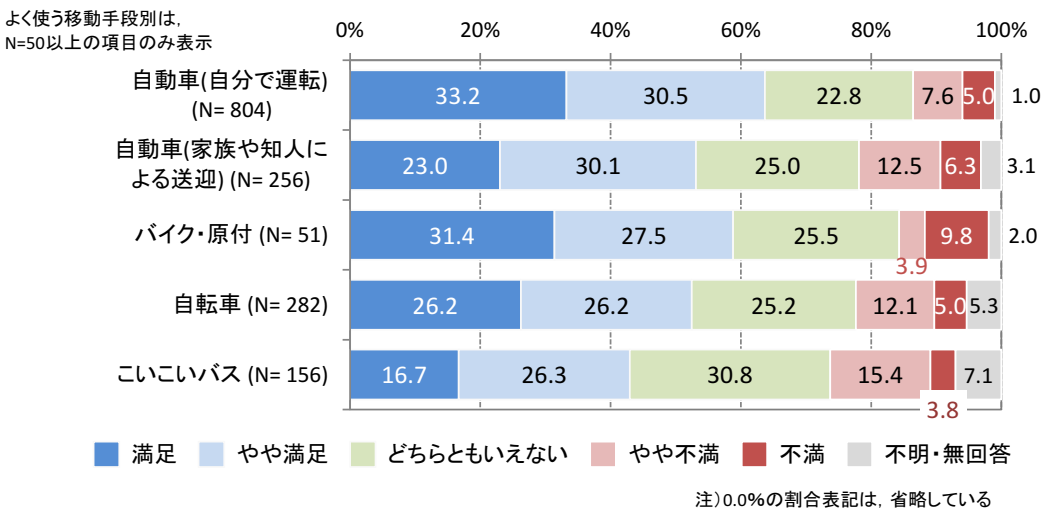
図　暮らしにおける移動環境の満足度（最寄り「鉄道駅」までの距離別）



満足	不満
61.1%	15.5%
62.6%	14.0%
54.3%	14.2%
43.6%	20.7%
50.0%	16.7%
30.0%	45.0%

注）0.0%の割合表記は，省略している

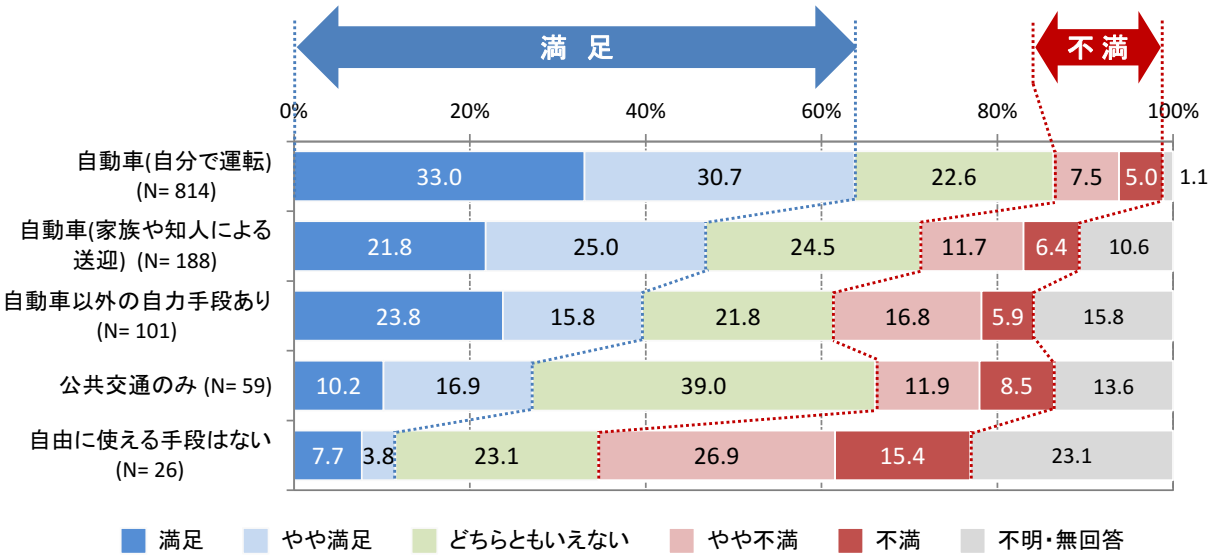
図　暮らしにおける移動環境の満足度（最寄り「バス停」までの距離別）



満足	不満
63.7%	12.6%
53.1%	18.8%
58.8%	13.7%
52.5%	17.0%
42.9%	19.2%

注）0.0%の割合表記は，省略している

図　暮らしにおける移動環境の満足度（市内でよく使う移動手段別）



※「自動車(家族や知人による送迎)」には，自分で運転できる人を含まない
「自動車以外の自力手段あり」「公共交通のみ」には，自動車が使える人（自分で運転または送迎）を含まない

※集計の考え方

①「自動車（自分で運転）」は、該当する回答者の集計結果

②「自動車（家族や知人による送迎）」は、①の回答者を除いた回答者の集計

③「車以外の自力手段あり」（バイク・原付、自転車、電動カート・シニアカー利用者）は、①②の回答者を除いた集計

④「公共交通のみ」は、①②③の回答者を除いた回答者の集計

⑤「自由に使える手段はない」は、該当する回答者の集計結果（①②③④の回答者とは重複しないため）

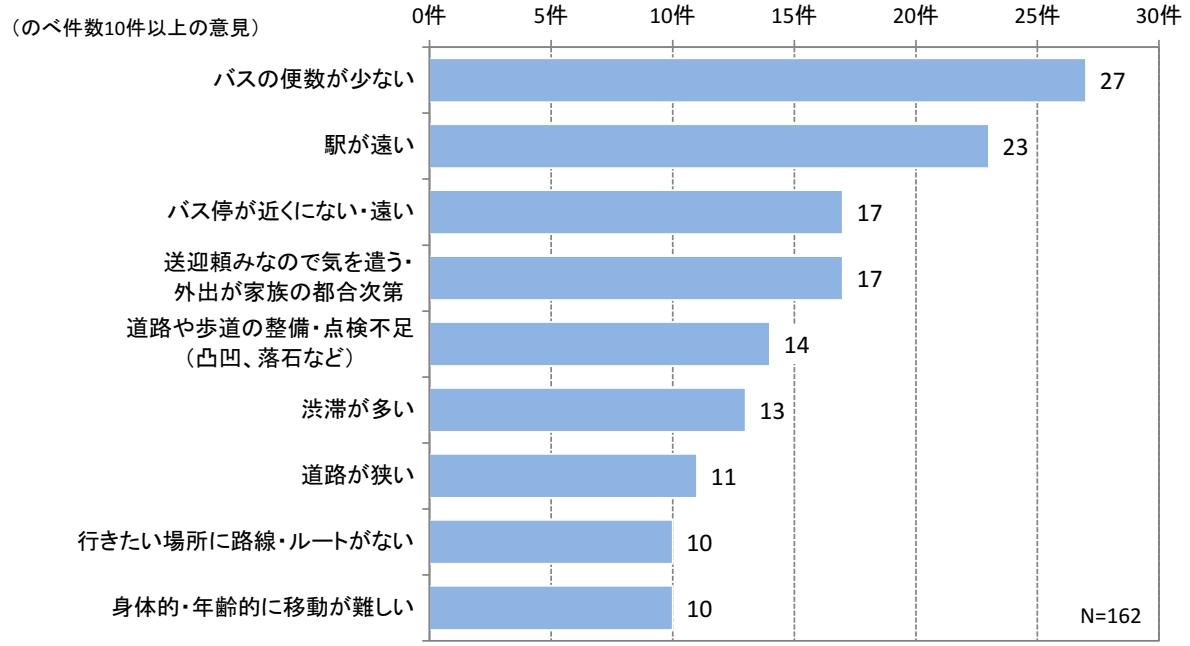
※なお、手段の回答が「その他」「不明・無回答」は除いている。

図　暮らしにおける移動環境の満足度（市内でよく使う移動手段別を再集計）

◆普段の暮らしの移動環境を『不満』に感じる理由

質問４①（副問）　①で「4. やや不満」「5. 不満」の方におたずねします。
その理由（不便な状況など）を具体的に教えてください。

○バスの便数が少ないことの不満の理由とする意見が最も多く、その他、駅が遠い、バス停が近くにない・遠い、送迎頼みなので家族などに気を遣うなどの意見も多かった。



のべ件数	その他の意見内容 （のべ件数9件以下）	
8件	・車以外の選択肢が無い・車以外の移動が不安	
7件	・バスとJRの接続が悪い	・駅周辺に駐車場がない・少ない
	・全般的に公共交通が不便	
6件	・バスの運賃が高い	・JRの本数が少ない
	・買い物・通院・勤務先等が遠い	・タクシーが少ない
5件	・免許返納・免許返納後の不安	
4件	・乗合タクシーの便数が少ない	・タクシーの料金が高い
	・自動車・自転車・歩行者の交通マナーが悪い	
3件	・JRの大野浦止まりが多い・不便	
2件	・バスは目的地まで時間がかかる	・ガソリン代・駐車場代が高い
	・JRの運休や遅延時に困る	・駅の形状（橋上）が利用しにくい
	・フェリーの料金が高い	・買い物の荷物を持って帰るのが大変
	・目的地の施設（病院等）に駐車場が少ない	
1件	・バス車両のバリアフリー化	・バス停環境の向上
	・バスの最終便が早すぎる	・バスが定時運行されない
	・バスの出発定時にならないと乗せてもらえない	・バスの車体が大きすぎる
	・無人バスの導入を	・駅がバリアフリーでない
	・駅の駐輪場の料金が高い	・駅利用者のマナーが良くない
	・駅前の自家用車の待機場が狭い	・異常気象による公共交通運休等の不安
	・乗合でない定期タクシーがほしい	・タクシー運転手の運転が荒い
	・乗合タクシーの使い勝手が悪い	・乗降自由の乗合タクシーがほしい
	・道路の通行表示が分かりにくい場所がある	・車の騒音が気になる
	・国からの交付金を阿多田に還元してほしい	

図　普段の暮らしの移動環境を『不満』に感じる理由（自由記述）

②数年後の暮らしの移動環境への不安

質問４②数年後の、暮らしの移動環境に不安を感じていますか。（１つに○）

○「不安を感じていない」が 43.3%で最も多くなっている。一方、『不安』（「やや不安」と「とても不安（困ることが見込まれる）」の合計）は 51.6%である。

○居住地域別にみると、玖波地域（62.0%）、小瀬川沿岸地域（67.4%）、栗谷地域（67.3%）では『不安』の割合が６割以上となっている。一方、大竹地域(東)では「不安を感じていない」が 59.6%と他の地域と比べてその割合が高い。

○『不安』の割合を性別にみると、男性 48.3%、女性 54.5%となっており、女性の方が不安を感じている割合が高い。

○年齢別にみると、年齢が上がるほど『不安』の割合が高くなっており、60 歳代以上で６割以上となっている。特に、80 歳以上では約 34%が「とても不安（困ることが見込まれる）」と回答している。

○運転免許の保有状況別にみると、免許の有無に関わらず『不安』の割合が過半数を占めている。

○運転免許返納予定別（運転免許を保有している人のみ）にみると、数年のうちに返納予定の人では約 79%が『不安』と回答しており、しばらく返納しない人（47.8%）よりも不安感が強い。

○市内でよく使う移動手段別にみると、こいこいバスを使う人では『不安』の割合が６割以上と高くなっている。

※市内でよく使う移動手段別は、母数が 50 件以上の項目のみ示している。

○最寄り鉄道駅までの距離別にみると、徒歩 30 分より遠い人では『不安』の割合が６割以上と高くなっている。一方、徒歩 10 分以内より近い人では「不安を感じていない」が過半数を占めている。

○最寄りバス停までの距離別にみると、徒歩 20 分より遠い人では『不安』の割合が６割以上と高く、特に徒歩 30 分を超える人では８割が「とても不安（困ることが見込まれる）」と回答している。

※不安を感じる理由（自由記述）は整理作業中

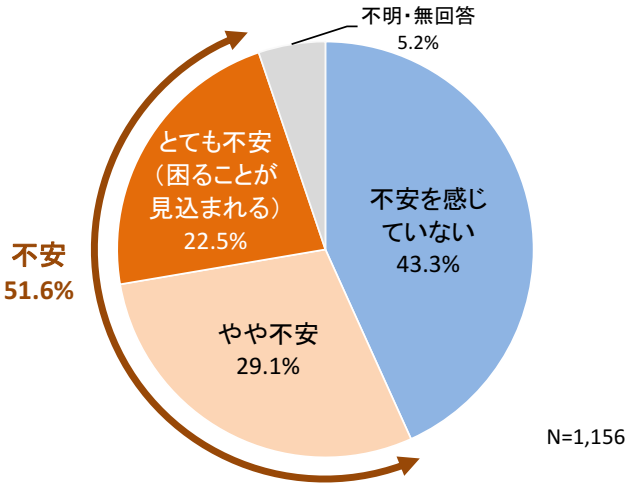
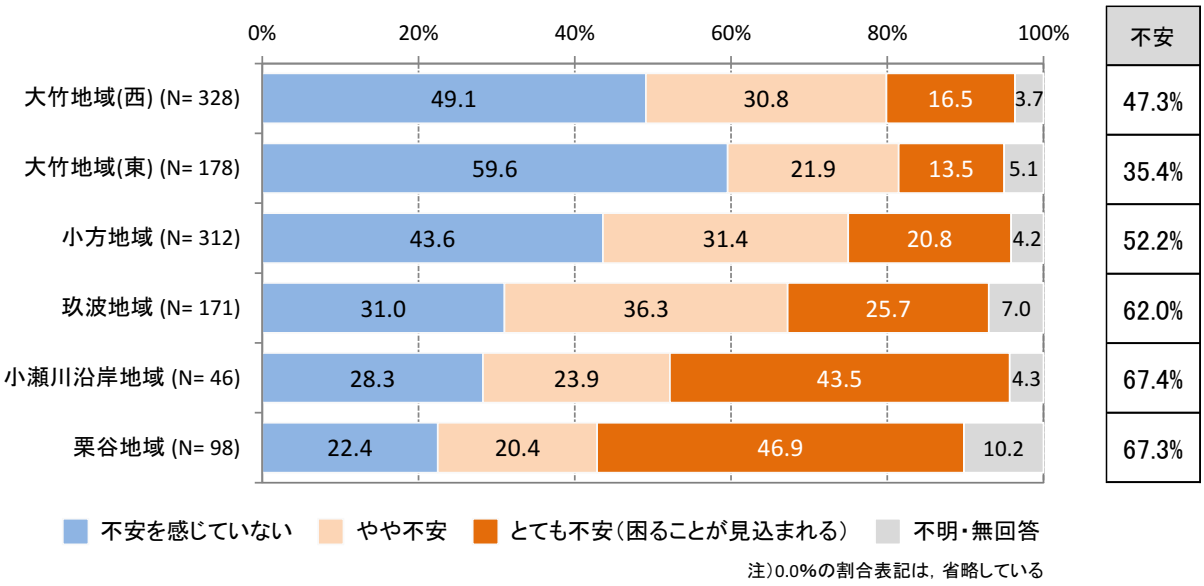
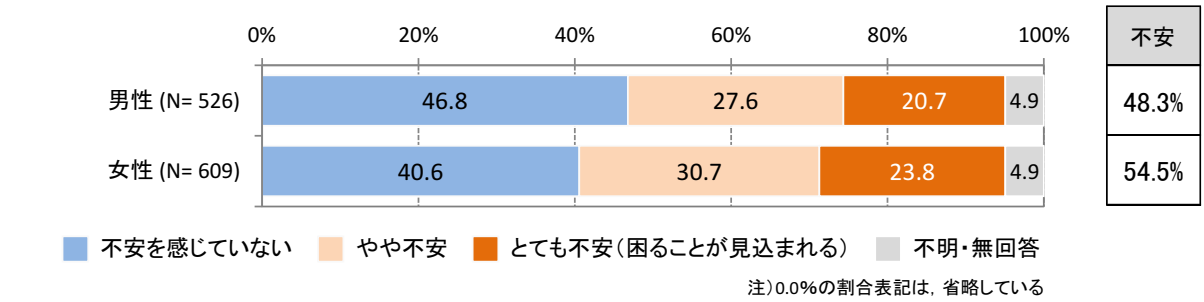


図　数年後の暮らしの移動環境への不安



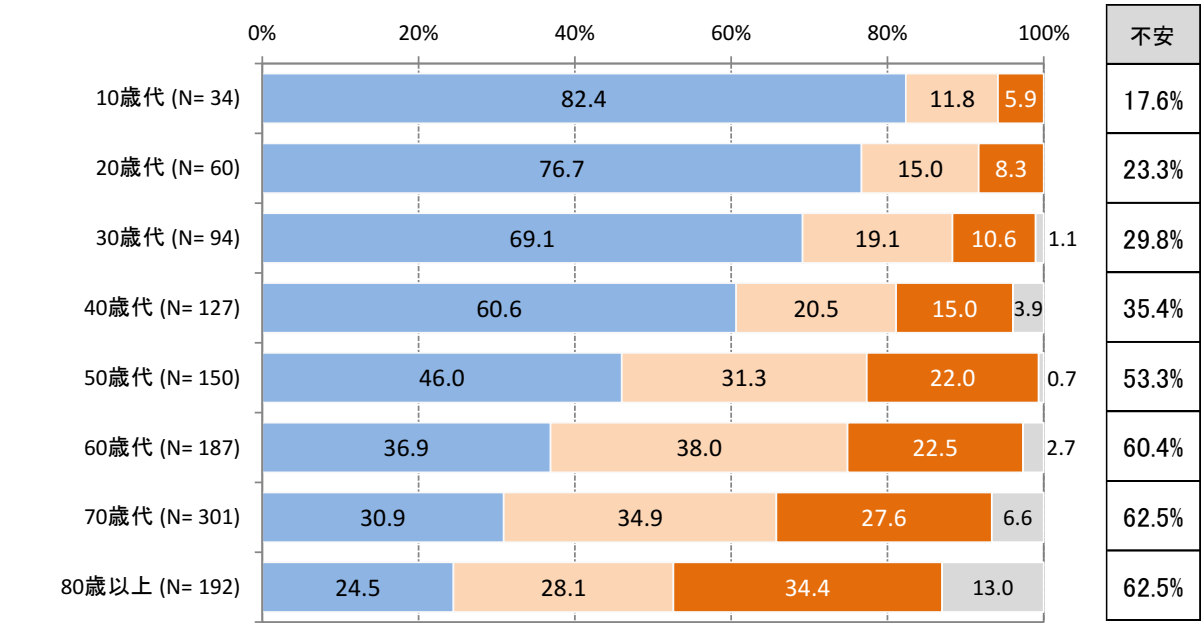
注)0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（居住地域別）



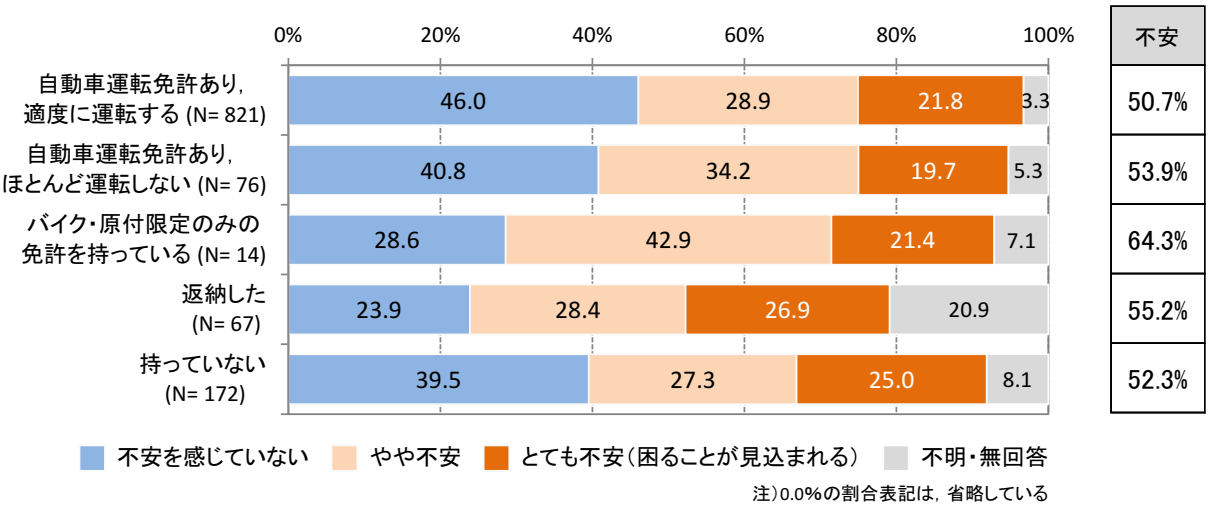
注)0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（性別）



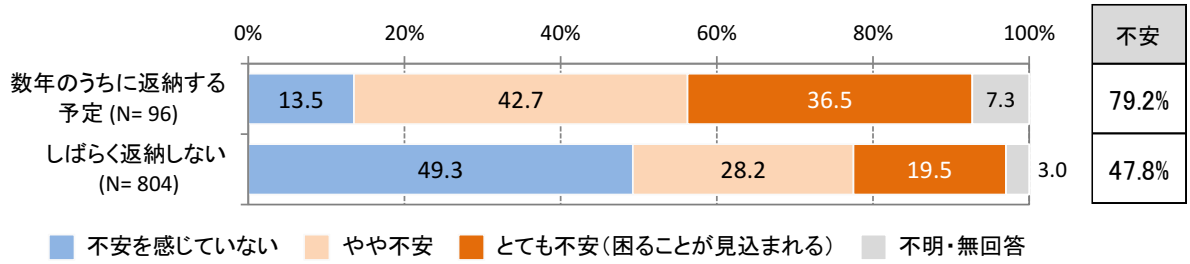
注)0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（年齢別）



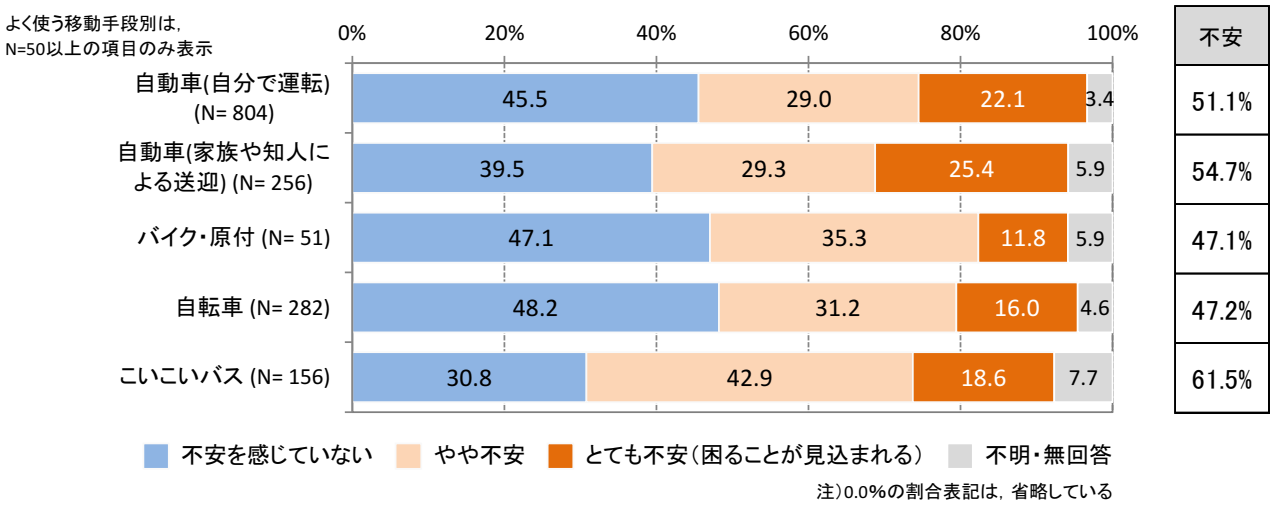
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（運転免許の保有状況別）



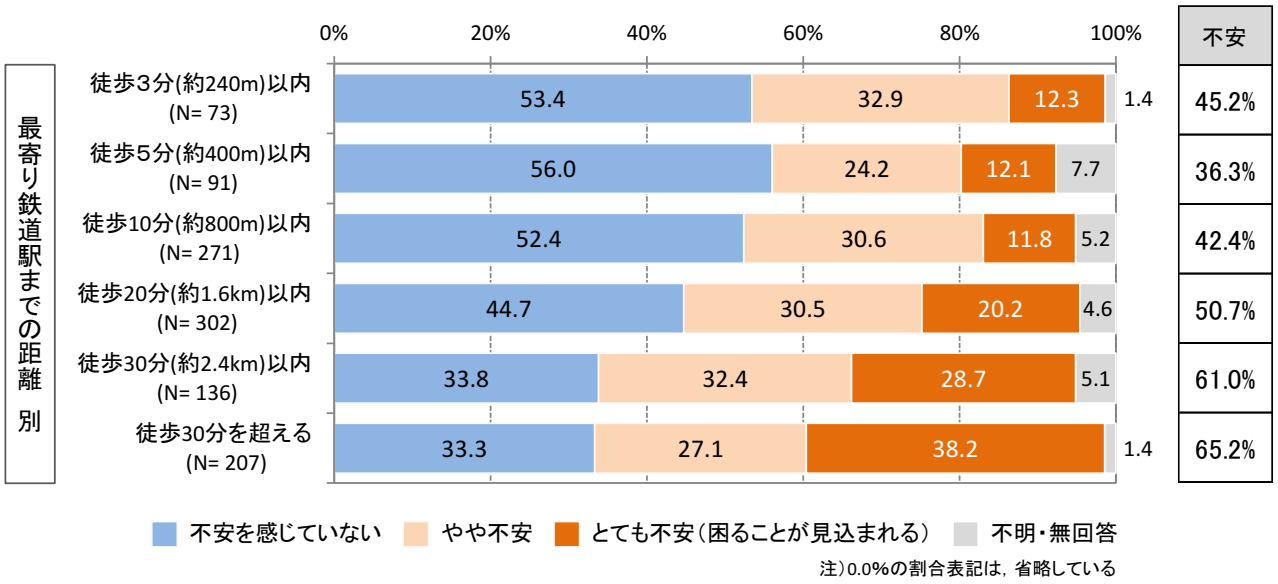
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（運転免許返納予定別）



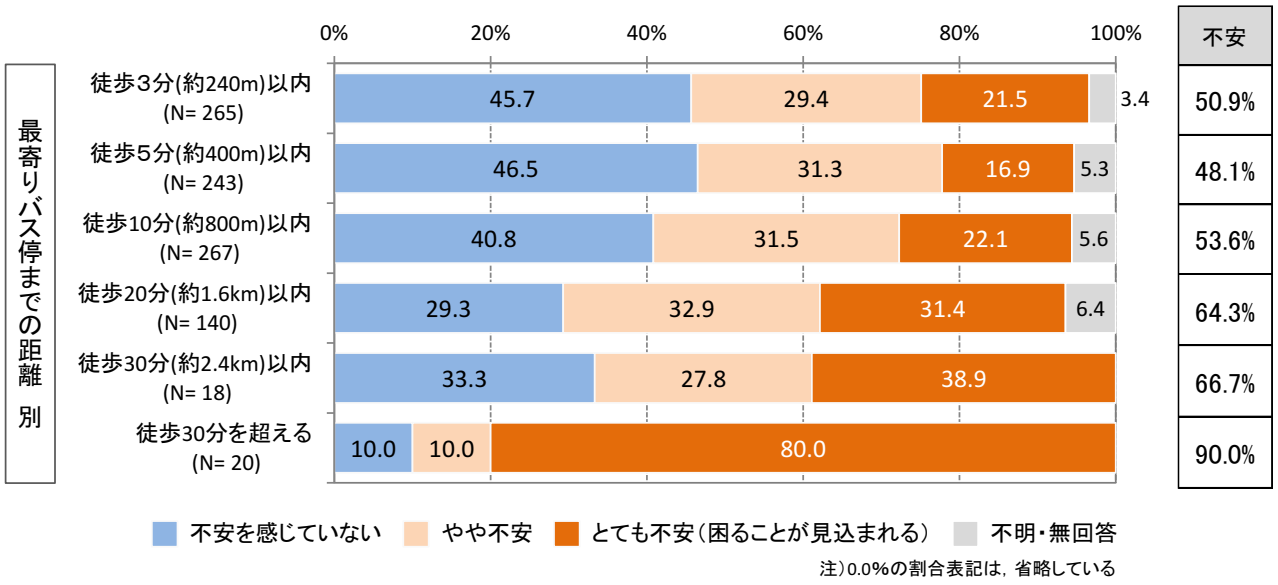
注）0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（市内でよく使う移動手段別）



注)0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（最寄り「鉄道駅」までの距離別）



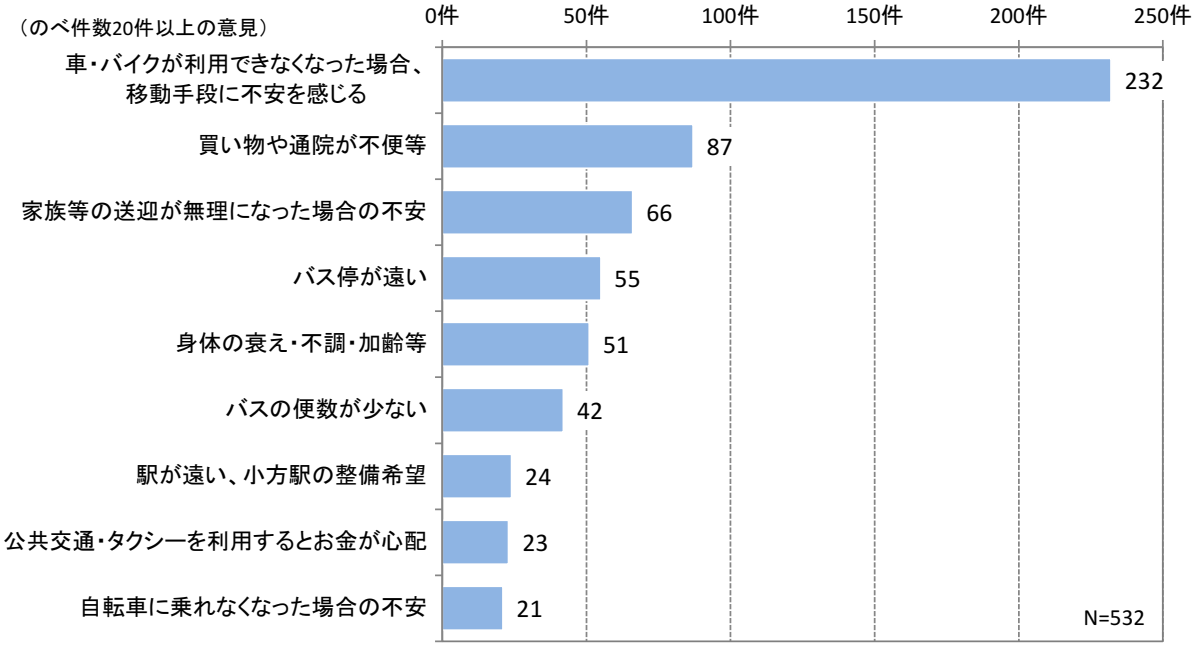
注)0.0%の割合表記は，省略している

図　数年後の暮らしの移動環境への不安（最寄り「バス停」までの距離別）

◆数年後の、暮らしの移動環境に『不安』に感じる理由

質問４②（副問）　②で「2. やや不安」「3. とても不安（困ることが見込まれる）」の方におたずねします。
不安に感じる理由を具体的に教えてください。

○車・バイクが利用できなくなった場合の移動手段への不安が最も多く、その他、買い物や通院が不便（近くにない含む）、家族等の送迎が無理になった場合の不安などの意見も多かった。



のべ件数	その他の意見内容 （のべ件数19件以下）	
19件	・移動手段がない	
17件	・バス停や駅まで歩くのが大変（加齢）	・運賃が高い、高齢者にタクシー券を希望
14件	・頼れる人がいない（一人暮らし等）	
12件	・こいこいバスを継続・拡充してほしい	
10件	・バス路線がない	・タクシーの台数が少ない、迎車に時間がかかる
	・自動車による事故が心配（自分の運転）	・自宅の立地環境に不安（高台、坂道等）
9件	・数年先（将来）も公共交通機関があるかどうか不安、維持希望	
7件	・バスの運賃が高い、割引がほしい	・バスは目的地まで時間がかかる
	・乗合タクシーが利用しにくい（エリア、運行日時等）	
6件	・将来的に電車の本数・駅が減るのでは	
5件	・全般的に不安を感じる	
4件	・歩道がない・狭い	
3件	・バスの始発が遅い、最終便が遅い	・駅施設が使いにくい（バリアフリーでない等）
	・自動車が危ない（高齢者など自分以外）	・道路が狭い・ない
2件	・バスの運転が荒い	・公共交通機関の情報を把握できていない
	・バスの情報提供（バス停位置、時刻表等）が不足	・JRの本数が少ない
	・渋滞が多い	・道路の舗装状態が良くない
	・駐車場が少ない・ない（駅周辺等）	・移動に関する以外の不満（まちのあり方、議員）
1件	・バス停環境が良くない（椅子・屋根がない）	・バスの乗り降りに不安（段差）
	・JRは各駅停車で時間がかかる	・JRとバスとの乗り継ぎが不便
	・乗合タクシーが継続されるか不安	・乗合タクシーの利用方法がわからない
	・フェリーの便数が少ない	・高齢者福祉が不十分

図　数年後の、暮らしの移動環境に『不安』に感じる理由（自由記述）

質問５　公共交通の改善アイデアなどついて

◎普段の暮らしをより便利にするために、どのような公共交通（バス、鉄道、フェリー）の取組があればいいと思いますか。改善のアイデア、今の問題点などのご意見をおきかせください。

〇486 名からのべ 655 件の意見があげられた。

〇自宅付近などの場所やルートを記載してバスルートの延伸やバス停の増設を求める意見が最も多く、この内容の回答者の居住地は、小方地域が最も多い。

〇その他、バスや乗合タクシーの増便要望、高齢者等への運賃補助・無償化、小方駅の整備要望、乗合タクシーやライドシェア等の導入要望などの意見があげられている。

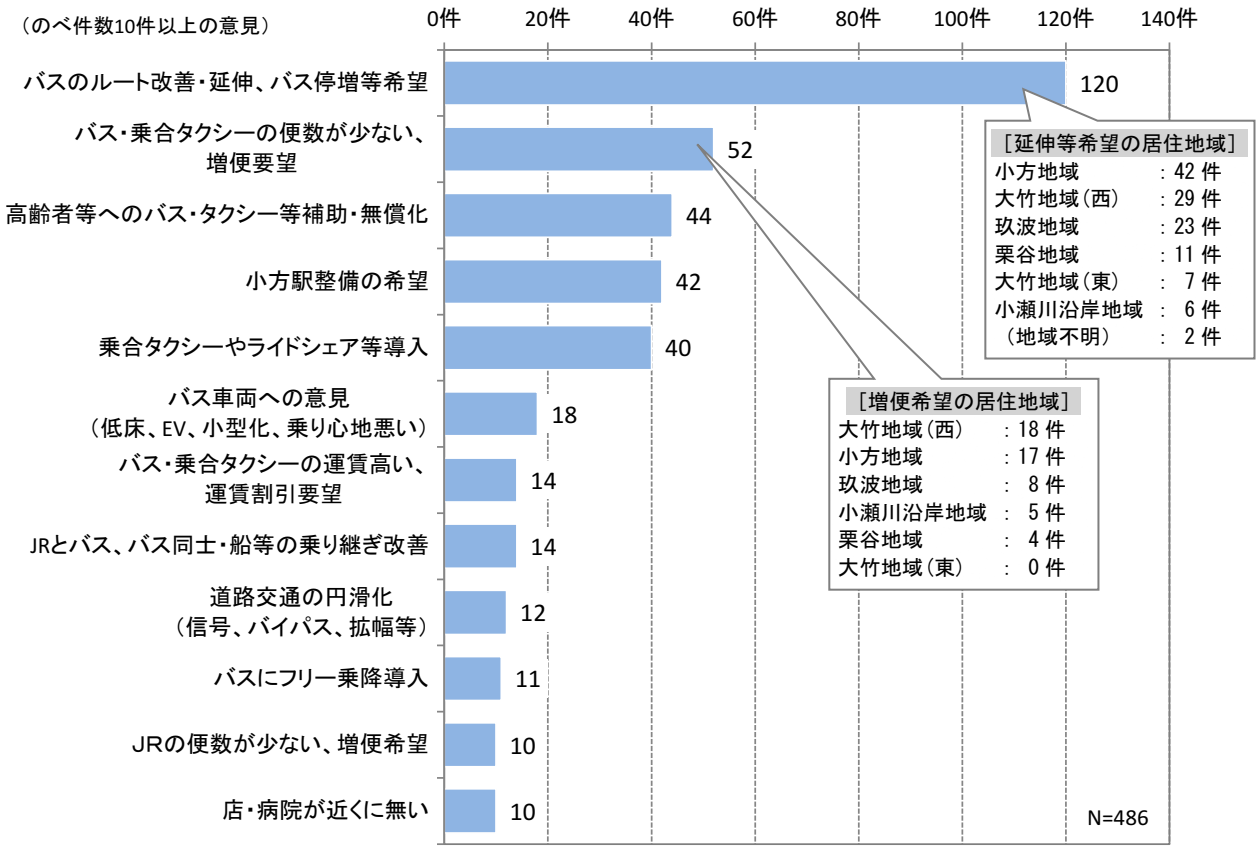


図　公共交通の改善アイデアなど（自由記述）

のべ件数	その他の意見内容 （のべ件数19件以下）	
9件	・乗合タクシーの利便性向上（便数増、1人利用）	・バスの維持
	・駅をバリアフリーに（エスカレーター設置、段差解消）	・大竹市から広島市方面への交通整備（市電含む）
	・AI・アプリ・自動運転等を活用したシステム導入	・道路や歩道の整備・点検不足（凸凹など）
8件	・バス情報提供の充実	・福祉・介護タクシーの充実
	・駅周辺に駐車場がない・少ない、料金高い	・JR下りの大野浦止まりが不便
	・フェリーの利便性向上（増便、航路増設等）	
7件	・バス待合（バス停）環境改善	・公共交通の拡大・充実、新しい仕組み導入
	・乗り継ぎ割引の導入（公共交通相互、買い物施設連携）	・観光・イベント等の企画、観光客の呼び込み
6件	・バス停が遠い、場所が問題	・ICカードを使えるように（バス・フェリー）
5件	・駅員がいない・みどりの窓口が少ない・切符等が買いにくい	
	・フェリーの料金が高い	・人口を増やすしかない、現状で仕方がない
4件	・快速・直通バスの導入要望	・小方駅は不要
	・駅の駐輪場が少ない・料金高い・少ない	・カーシェア・レンタバイク・自転車等の導入
	・タクシー運賃が高い	・タクシーの台数が少ない
	・家事（買い物）代行サービス、移動販売の充実	
3件	・バスの始発を早く、最終便を遅く	・岩国方面へのバス希望
	・バスの安全運転を	・バスは時間がかかる、利用しづらい
	・バスに荷物・シニアカー等を乗せやすく	・JR運休時の代替手段がない
	・踏切が閉まるのが早すぎる、待ち時間が長い	・フェリーの情報提供の充実
	・コンパクトシティ・スマートシティ	
2件	・バスの時刻表の見直し（遅延対策）	・公平性担保のためバス利用者負担増
	・JRの車両を増やしてほしい	・JRの始発を早く、最終便を遅く
	・駅待合環境の改善（清掃、時刻表掲示、温かみ）	・駅構内の通路が使いにくい
	・将来の移動手段への不安	・街灯を増やしてほしい
	・できることに取り組んでいない、意見を言っても何も変わらない	
1件	・バス停の名前がわかりにくい	・子どもだけでも安心してバスに乗れるように
	・バスの便数を減らす	・市が運営するものは収益は度外視で
	・JR時刻表等の情報提供をしてほしい	・JR定期料金を安くしてほしい
	・可部線の複線化	・新幹線駅整備の希望
	・貨物の入れ替えは岩国で	・鉄道騒音
	・フェリーの廃止	・夜間の移動手段がない
	・インターチェンジの設置	・自転車ヘルメットへの補助
	・駅・バス停近辺に住宅開発を	・高齢者が歩きやすいまちづくりを
	・若者・子育て世帯の意見を優先すべき	・魅力あるまちにしてほしい
	・思いやりが大事	・アンケートへの意見

＊その他、お礼・現状満足・問題はない（22件）、外出しない・公共交通を使わない（4件）

図　公共交通の改善アイデアなど（つづき）（自由記述）

（資料）調査票

大竹市の生活交通に関するアンケート調査

※あてはまる番号に○をつけるか、（　）や［　　］に必要な記入をお願いします。

問１　あなた自身のことについておたずねします

①性別（1つに○）	1．男性　　2．女性　　3．無回答
②年齢（1つに○）	1．10 歳代　　2．20 歳代　　3．30 歳代　　4．40 歳代 5．50 歳代　　6．60 歳代　　7．70 歳代　　8．80 歳以上
③ご自宅の郵便番号 ※送付封筒にも記載しています	〒 7 3 9 -［　］［　］［　］［　］ または「町名」をお書きください　※○○町○丁目など　（　　）
④運転免許を保有していますか。（1つに○）	1．自動車運転免許を持っていて、適度に運転する 2．自動車運転免許は持っているが、ほとんど運転しない（※年に数回程度以下） 3．バイク・原付限定のみの免許を持っている 4．返納した 5．持っていない
⑤免許返納を予定していますか。（1つに○）	※運転免許を持つ方にお聞きします 1．数年のうちに返納する予定　　2．しばらく返納しない
⑥大竹市内でよく使う移動手段は何ですか。（いくつでも）	1．自動車（自分で運転）　　2．自動車（家族や知人による送迎） 3．バイク・原付　　4．自転車 5．電動カート・シニアカー※　　6．こいこいバス 7．坂上線バス　　8．大竹・栗谷線バス 9．デマンド型乗合タクシー　　10．フェリー 11．自由に使える交通手段はない　　12．その他（　　） ※シニアカー：高齢者向けの三輪または四輪のひとり乗り電動車両
⑦自宅から最寄りの「鉄道駅」「バス停」までの距離はどれくらいですか。	【自宅から鉄道駅まで】（1つに○） 1．徒歩３分（約 240m）以内　　2．徒歩５分（約 400m）以内 3．徒歩 10 分（約 800m）以内　　4．徒歩 20 分（約 1.6km）以内 5．徒歩 30 分（約 2.4km）以内　　6．徒歩 30 分を超える 7．わからない 【自宅からバス停（こいこいバス、路線バス）まで】（1つに○） 1．徒歩３分（約 240m）以内　　2．徒歩５分（約 400m）以内 3．徒歩 10 分（約 800m）以内　　4．徒歩 20 分（約 1.6km）以内 5．徒歩 30 分（約 2.4km）以内　　6．徒歩 30 分を超える 7．わからない
⑧おひとりで外出することは可能ですか。（1つに○）	1．ひとりで外出できる　　2．介助があれば外出できる 3．外出できない ----→「3」の方は、最後の“問5”へ進んでください

1

問２　あなたの普段の買い物、通院などの移動についておたずねします

①日常の買い物（食料品など）で、交通手段に困ることはありますか（1つに○）

1．困ることが多い　2．たまに困る　3．困ることはない　4．買い物には行かない

②通院で、交通手段に困ることはありますか（1つに○）

1．困ることが多い　2．たまに困る　3．困ることはない　4．病院には行かない

③買い物・通院以外の外出について

ア．どこに出かけることが多いですか（回数が多いもの、1つだけに○）

1．職場　2．学校　3．公共施設　4．銀行・郵便局　5．その他（具体的に　　）

イ．その行き先への外出で、交通手段に困ることはありますか（1つに○）

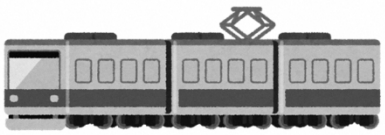
1．困ることが多い　2．たまに困る　3．困ることはない

④上記の移動（①②③）で、交通手段に困る場合は、どのように対応していますか。（いくつでも）

1．家族や知人に送迎してもらう　2．一般タクシーを利用する　3．徒歩または自転車で移動する
4．公共交通のダイヤに合わせて行動する　5．近場などの、違う施設を利用する
6．外出することをあきらめる　7．その他（具体的に　　）

問３　大竹市内の公共交通の利用についておたずねします

(1)　「鉄道（ＪＲ）」について



①市内でよく利用する鉄道駅は、どちらですか（1つに○）

1．大竹駅　2．玖波駅

②市内における鉄道の利用頻度は（1つに○）

1．ほぼ毎日（平日５日利用も含む）　2．週に数回　3．月に数回
4．年に数回　5．その他（　　）　6．ほとんど利用しない**→右上の④へ**

③市内における鉄道の満足度は（1つに○）

1．満足　2．やや満足　3．どちらともいえない　4．やや不満　5．不満

④市内における鉄道の利用しづらい点、利用しない理由を教えてください（いくつでも）

1．最寄りの駅が遠い　2．行きたいところに走っていない　3．運賃が高い
4．便数が少ない　5．バスとの乗り継ぎが不便　6．始発が遅い
7．最終便が早い　8．駅の段差・階段が大変　9．路線や時刻表がわかりにくい
10．駅に駐車場が少ない　11．特に不満はない　12．車やバイクなどを使うから鉄道は利用しない
13．その他（　　）　14．知らない、わからない

(2) 「こいこいバス」について

①「こいこいバス」の利用頻度は（1つに○）

1．ほぼ毎日（平日5日利用も含む）　2．週に数回　3．月に数回
4．年に数回　5．その他（　　）　6．ほとんど利用しない→③へ

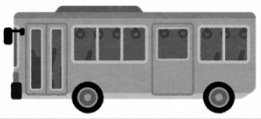
②「こいこいバス」の満足度は（1つに○）

1．満足　2．やや満足　3．どちらともいえない　4．やや不満　5．不満

③「こいこいバス」の利用しづらい点、利用しない理由を教えてください（いくつでも）

1．最寄りのバス停が遠い　2．行きたいところに走っていない　3．運賃が高い
4．便数が少ない　5．鉄道との乗り継ぎが不便　6．始発が遅い
7．最終便が早い　8．バス停にベンチ・屋根がない　9．路線や時刻表がわかりにくい
10．特に不満はない　11．車や自転車などを使うから、こいこいバスは利用しない
12．その他（　　）　13．知らない、わからない

(3) その他の交通手段



①利用したことがある手段は（回数が多いもの、1つだけに○）

1．路線バス　大竹・栗谷線　2．路線バス　坂上線　3．三ツ石乗合タクシー
4．ひまわりタクシー(玖波7、8)　5．湯舟のりあいタクシー　6．栄ぐるりんタクシー
7．あじさいタクシー(御園台)　8．（1～7を）全く利用したことない→**「8」の方は次ページの問4へ**

②その手段の利用頻度は（1つに○）

1．ほぼ毎日（平日5日利用も含む）　2．週に数回　3．月に数回
4．年に数回　5．その他（　　）　6．ほとんど利用しない→④へ

③その手段の満足度は（1つに○）

1．満足　2．やや満足　3．どちらともいえない　4．やや不満　5．不満

④その手段が利用しづらい点を教えてください（いくつでも）

1．最寄りの乗降場所が遠い　2．行きたいところに走っていない　3．運賃が高い
4．便数が少ない　5．鉄道との乗り継ぎが不便　6．始発が遅い
7．最終便が早い　8．乗降場所にベンチ・屋根がない　9．路線や時刻表がわかりにくい
10．特に不満はない　11．車や自転車などを使うからバス等は利用しない
12．その他（　　）　13．知らない、わからない

ウラにつづきます

問４　あなたの暮らしにおける移動環境の満足度についておたずねします

①普段の暮らしの移動環境（マイカー、公共交通の利用のしやすさ）に関して、満足していますか。（1つに○）

1．満足　　2．やや満足　　3．どちらともいえない　　4．やや不満　　5．不満

「4」「5」の方におたずねします。 その理由（不便な状況など）を具体的に教えてください。

※記入例: 買い物や通院は、家族に送迎をお願いしているが、気を使う など

②数年後の、暮らしの移動環境に不安を感じていますか。（1つに○）

1．不安を感じていない　　2．やや不安　　3．とても不安（困ることが見込まれる）

「2」「3」の方におたずねします。 不安に感じる理由を具体的に教えてください。

※記入例: 今は家族が送迎してくれているが、免許返納するとバス乗り場まで遠いので移動手段がなくなる など

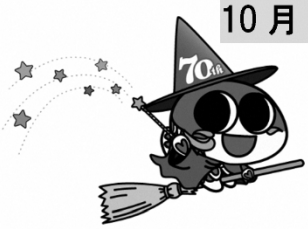
問５　公共交通の改善アイデアなどについておたずねします

◎普段の暮らしをより便利にするために、どのような公共交通（バス、鉄道、フェリー）の取組があればいいと思いますか。改善のアイデア、今の問題点などのご意見をおきかせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は、返信用封筒（切手不要）にて、

10 月 15 日（火）までにポストへ投函をお願いします。



4